※入札公告を必ず確認してください。（海老名市ホームページに掲載しています）

入札案件概要書（工事）

契約番号：8171

件　名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）
履行場所	海老名市河原口字中河原 272-1 ほか
工　期	令和 8 年 12 月 11 日～令和 9 年 6 月 18 日（190 日）
工事の内容等	別紙　仕様書等　のとおり ○複数年契約　○入札は期間全体の税抜金額 ○令和8年度の支払限度額（上限）は 58,229,600 円（税込）です。 ○週休2日制確保工事（現場閉所）の対象案件
予定価格	72, 787, 000 円（税込）　66, 170, 000 円（税抜）
最低制限価格	有り（開札後算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。
落札候補者の入札金額が、調査基準価格（70%）未満の場合 ※ただし、予定価格（税込）100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 契約締結にあたっての制限等 ○　技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B（75 点）」以上である場合は除く。 ○　技術者及び現場代理人の他案件（本市入札案件）との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可 ○　前払金の制限（金額上限、中間前払金の制限など） **契約金額の 20%以内（海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。）** **※前払金の上限金額は 5, 000 万円以下。中間前払金の支払いはありません。** 契約保証 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 **※現金納付及び実績による免除はありません。** （ア）金融機関又は保証事業会社の保証 （イ）公共工事履行保証証券による保証　（履行ボンド） （ウ）履行保証保険契約の締結　（定額てん補）
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。

参加条件	営業種目	020　建築一式 経審　－　点以上　－　点未満	**○下請契約の請負代金の合計の額が５千万円（建築一式工事の場合は８千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。**
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	**第　4　区分**	第 1・第 2 区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。　※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く **本市発注の建築一式工事において、過去５年間、工事評定で６５点未満の工事がないこと。**	
	落札件数制限	なし	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	

事前提出書類 **（システム添付）**	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 **ファイルは一つにまとめてください。** ○告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 （2）（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3）（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書
入札時提出 **（システム添付）**	**○入札金額積算内訳書** 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。**システムへはPDF化して添付してください。**
落札候補者が提出する書類 **（FAX046-232-6574）**	開札後、落札候補者は次の書類をＦＡＸで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類

河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）

内容説明事項書

海　老　名　市

1. 工事名称　河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

2. 工事場所　海老名市河原口字中河原272-1ほか

3. 工事概要　（仮称）スポーツ・コミュニティ広場の供用開始に向けて管理棟の建設を行うもの。

■工事内容

・管理棟の建設

・倉庫棟の建設

・外構工事

・上記に伴う、電気設備・機械設備工事

■建物概要

管理棟：軽量鉄骨造平屋建て　建築面積：60.49㎡　延床面積：60.49㎡

倉　庫：軽量鉄骨造平屋建て　建築面積：10.00㎡　延床面積：10.00㎡

4. 工事期間　令和8年12月11日　から　令和9年6月18日　まで

5. 設計図書　上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする

(1)設　計　図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43 枚

(2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 枚

6. 数量書　(1)数　量　書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29 枚

※数量書は、発注者の積算の透明性、客観性、妥当性を確保し、入札参加者等の積算、工事費内訳書作成の効率化を図ることを目的に参考数量として公表するものである。

7. 法令の遵守　本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則等を確実に遵守すること。

8. 官公署手続　官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと

9. その他の事項

項　目	適　用		内　容	備　考
(1)事業区分				
①事業区分	■ 補助事業 □ 市単事業		地域未来交付金	
(2)工事監理体制				
②工事監理体制	■ 市担当者 ■ 外部委託者			
(3)工程関係				
①週休二日制	■ 対象	□ 対象外	■ 現場閉所による週休2日制確保工事 □ 交代制による週休2日制確保工事	
②工期内施設利用	□ 有	■ 無		
③関連工事、その他工事	■ 有	□ 無	別途工事として前面道路での上下水道の引込工事が発注される。	工事範囲が輻輳するため、別途工事受注者と調整の上、施工すること
④施工時期の制限	□ 有	■ 無		土曜日、日曜日は原則休工とする
⑤施工時間の制限	□ 有	■ 無		
⑥協議未成立事項	■ 有	□ 無	道路区域内工事のため、中日本高速道路へ施工協議書の提出が必要となる。	書類作成は受注者が行い、提出は市で行う。書類提出から承認までの期間は１ヶ月程度かかる見込み。現場施工着手は中日本の承認後から可能となる。

項　　目	適　　用		内　容　等	備　考
(4)仮設関係				
①仮設計画	■ 有	□ 無	図示 （仮設計画図による）	受注者において、発注図の仮設計画図を参考に作成し、事前に市担当者等の承諾を受けること
②交通誘導員	■ 有	□ 無		
③工事用電力、水の利用	□ 有	■ 無	受注者対応	
④濁水・湧水処理における特別な対策等	□ 有	■ 無		
(5)支給品				
①支給品について	□ 有	■ 無		
(6)建設副産物関係				
①建設発生土	□ 有	■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■ 有	□ 無		
③その他 （特別産業廃棄物等）	□ 有	■ 無		
(7)各種調査、使用制限				
①各種調査	■ 有	□ 無	特記仕様書による	
②使用制限 関係法令、規則等を遵守するのは当然のこと右記事項にも配慮すること	■ 有	□ 無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること （Ｆ☆☆☆☆使用）
(8)現場対応				
①現場照査等	事前調査を十分に行い、不明確な部分は工事打合簿により施工前に監理受託者及び市監督員と協議し、確認をとること			
②公衆災害	本工事における振動・騒音・粉塵・悪臭等については、特に注意し、付近住民とのトラブルについては、受注者の責任において解決すること			
③原形復旧	工事範囲内の備品類の移動及び養生、清掃については、受注者の責任において実施し、工事後は原形に復すること			
(9)その他				
①適用基準等 （海老名市ホームページ）	■ 「海老名市公共工事共通事項書」による ■ 「海老名市公共建築工事積算要領」による ■ 「海老名市公共建築工事積算要領の運用（令和８年９月改定）」による □			
②工事完成図書	■ 海老名市ホームページ－検査担当からのお知らせ 「18 工事関係様式」内、工事提出書類チェックリストによる ■ 海老名市ホームページ－営繕課担当事務 「海老名市営繕工事　工事提出書類作成等の手引き」による			
③海老名環境マネジメントシステム	市では、海老名環境マネジメントシステムの運用に伴い、「公共工事環境配慮マニュアル」が適用となった。よって本工事では、その環境配慮マニュアルに基づき別紙の項目で対象となる作業について環境配慮に努めること			
④法定外の労災保険の加入	本工事において、受注者は法定外労働災害補償制度（法定外の労災保険）に加入すること。また、受注者は保険契約を締結したときは、発注者にその証券等を提示すること			
⑤出来高検査	本工事は国庫補助事業に該当かつ複数年度にわたる工事であり、年度ごとの出来高確認が必要となるため、令和９年３月中旬までに出来高検査を実施する。 受注者は、当該年度までに完成した部分の出来高検査に対応するものとし、出来高検査の対象となる工事部分は、別途監督職員と協議の上、決定する。			

公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類
1 地域の自然環境・景観	(1)緑	①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑
		②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ緑
	(2)地形・地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系
	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等
		②埋蔵文化財
	(6)景観	①その土地の現在の景観
		②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観
		③道路等、都市基盤施設がもたらす景観
2 地球環境	(1)資源	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源
		②木材等の森林資源
	(2)大気	①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境
		②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮すべき地域的な大気環境
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の大気環境
	(3)水質	①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系
		②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系
		③土木工事により影響を受ける地下水
	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面
	(5)建設副産物	①排出土
		②コンクリートガラ
		③アスファルトガラ
		④伐採材
		⑤まだ使用可能な製品
		⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず
		⑦不要木材
		⑧PCB等の毒性物質
		⑨その他の建設廃材
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源
3 生活環境	(1)騒音	①工事作業機械の稼動による騒音
		②工事用車両走行による騒音
		③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音
		④施設の空調機等電気・機械設備の騒音
	(2)振動	①工事作業機械の稼動による振動
		②工事用車両走行による振動
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響
	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響
	(6)地域生活環境	①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境
		②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断
		③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境
		④大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全性
		⑤工事車両の出入りにより影響を受ける交通の安全性

□ 設計･施工時に配慮する事項

3. 建物建築･改修工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
掘　削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
搬出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
地　業	砂利地業では再生砕石を使用する。	2-(5)-②③
型　枠	鋼製型枠の使用を検討する。	2-(6)
鉄骨･鉄筋	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
金属類	切りくず等のリサイクルに努める。	2-(5)-⑥
木　材	集成材の使用を検討する。	2-(1)-②
雨水排水	雨水の集水桝に浸透型を使用する。	2-(3)-③
内　装	石膏ボードはリサイクル製品を使用しない（廃棄処分時に有害物質が発生する）。	2-(5)-⑧
	壁紙等はリサイクル製品を使用する。	2-(1)-②
	ホルムアルデヒド等の低使用製品を使用する。	2-(5)-⑧
断　熱	冷暖房施設の省エネのため、断熱構造とする。	2-(1)-① 2-(2)-③
工事作業機械･車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計･施工時に配慮する事項

6. 機械設備工事

作業	配慮事項	環境要素
機械設備	低騒音・省エネ型のものを採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③ 3-(1)-④
掘　削	排出土の発生を抑える設計を行う。	2-(5)-①
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
排出土処理	極力現場内での利用を図る。	2-(5)-①
	搬出する場合は他の市内工事での有効利用を図る。	2-(5)-①
	排出土中に他の廃棄物が混入しないよう分別する。	2-(5)-①
埋め戻し	現場内排出土及び再生砕石を使用する。	2-(5)-①②③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	フロン等の適切な管理・処分を行う。	2-(2)-③
工事作業機械･車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

□ 設計･施工時に配慮する事項

7. 電気設備工事

作業	配慮事項	環境要素
電気設備	省エネ型機器を採用する。	2-(1)-① 2-(2)-③
排出物	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①～⑨
	廃棄物の適正処理（マニフェスト管理）	2-(5)-①～⑨
	ＰＣＢ等の適切な管理・処分を行う。	2-(5)-⑧
工事作業機械･車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両（ディーゼルエンジン）を使用する。	2-(2)-②
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和8・9年度

数 量 書

工事名称　河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

工事場所　海老名市河原口字中河原272-1ほか

工　　期　令和8年12月11日から令和9年6月18日まで

工事概要　（仮称）スポーツ・コミュニティ広場の供用開始に向けて管理棟の建設を行うもの。

■工事内容

・管理棟の建設

・倉庫棟の建設

・外構工事

・上記に伴う、電気設備・機械設備工事

■建物概要

管理棟：軽量鉄骨造平屋建て　建築面積：60.49㎡　延床面積：60.49㎡

倉　庫：軽量鉄骨造平屋建て　建築面積：10.00㎡　延床面積：10.00㎡

工事費内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
機械設備工事	1	式		
計				

建築工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
管理棟	1	式		
倉庫棟	1	式		
外構工事	1	式		
計				

電気設備工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
管理棟	1	式		
倉庫棟	1	式		
屋外	1	式		
計				

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
管理棟	1	式		
屋外	1	式		
計				

管理棟

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接仮設	1	式		
基礎工事	1	式		
ｽﾛｰﾌﾟ工事	1	式		
本体工事	1	式		
ユニット及びその他	1	式		
計				

建築工事　科目別内訳

倉庫棟

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
直接仮設	1	式		
基礎工事	1	式		
本体工事	1	式		
計				

外構工事

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
外構工事	1	式		
計				

電気設備工事　科目別内訳

管理棟

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
電灯設備	1	式		
計				

倉庫棟

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
電灯設備	1	式		
計				

電気設備工事　科目別内訳

屋外

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
構内配電線路	1	式		
計				

管理棟

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
空気調和設備	1	式		
衛生器具設備	1	式		
計				

機械設備工事　科目別内訳

屋外

名　称	数　量	単位	金　額	備　考
給水設備	1	式		
排水設備	1	式		
雨水設備	1	式		
撤去工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

管理棟	直接仮設					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
墨出し		1	式			別紙 00-0002
養生		1	式			別紙 00-0003
整理整頓		1	式			別紙 00-0004
計						

建築工事　細目別内訳

管理棟	基礎工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	小規模土工 -	16.4	m3			
床付け	つぼ,布掘り	68.7	㎡			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	12.7	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	1.5	m3			
床下防湿層敷き	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚0.15	54.1	㎡			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	0.1	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D13	0.2	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -　　-	0.3	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車　ｽﾛｰﾌﾟ分共	1	式			
ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	5φ-150□	0.8	㎡			
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ （普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ）	厚木地区　S=18 呼び強度18	0.8	m3			
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ （普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ）	厚木地区　S=18 呼び強度24	6.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0005
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 - -	23.2	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車　ｽﾛｰﾌﾟ分共	1	式			

建築工事　細目別内訳

管理棟		基礎工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	65.5	㎡			
計						

建築工事　細目別内訳

管理棟		ｽﾛｰﾌﾟ工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	小規模土工 -	2.6	m3			
床付け	つぼ,布掘り	48.9	㎡			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	1.8	m3			
盛土(B種)	発生土	2.5	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	4.9	m3			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	0.1	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D13	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 -　　-	0.2	t			
ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	5φ-150□	46.5	㎡			
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ（普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ）	厚木地区　S=18 呼び強度18	0.2	m3			
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ（普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ）	厚木地区　S=18 呼び強度24	7.8	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0006
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 - -	18.1	㎡			
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上	金鏝仕上	1	式			別紙 00-0007
ｱﾙﾐ手摺	H750～850程度 端部点字付	34.9	m			

建築工事　細目別内訳

管理棟		スロープ 工事				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
点字ﾌﾟﾚｰﾄ（点状）	300×300 樹脂製	2.4	㎡			
計						

建築工事　細目別内訳

管理棟		本体工事				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
管理棟ユニット	鉄骨造平屋建　工事一式 （外装、建具、内装、ﾌﾞｰｽ、内部配線、換気、運搬共）	1	個			
計						

建築工事　細目別内訳

管理棟	ユニット及びその他					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ	W1700×H1300　設置共	2	か所			
ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ	W2000×H2400　設置共	1	か所			
ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ	W1820×H2400　設置共	1	か所			
ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ	W900×H2400　設置共	2	か所			
ﾛｰﾙｽｸﾘｰﾝ	W950×H2400　設置共	1	か所			
ﾄｲﾚﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	木目調ｼｰﾄ　設置共	1	式			
消火器（10型）	鋼製格納箱共	1	か所			
点字ﾌﾟﾚｰﾄ（点状）	300×300 樹脂製	1.1	㎡			
計						

建築工事　細目別内訳

倉庫棟	直接仮設					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0008
墨出し		1	式			別紙 00-0009
養生		1	式			別紙 00-0010
整理整頓		1	式			別紙 00-0011
計						

建築工事　細目別内訳

倉庫棟	基礎工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
根切り	つぼ,布掘り 深さ2.5m程度	3.6	m3			
床付け	つぼ,布掘り	12.6	㎡			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	2.1	m3			
砂利地業	再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ	0.5	m3			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D10	0.1	t			
鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295　D13	0.1	t			
鉄筋加工組立	小型構造物 －　　－	0.2	t			
鉄筋運搬費	4ｔ車	1	式			
ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	5φ-150□	1.6	㎡			
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ (普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ)	厚木地区　S=18 呼び強度18	0.1	m3			
ﾚﾃﾞｨｰﾐｸｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ (普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ)	厚木地区　S=18 呼び強度24	0.9	m3			
防湿ｺﾝｸﾘｰﾄ	呼び強度24　S＝18	0.5	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0012
型枠	小型構造物用型枠 擁壁、囲障の基礎等 － －	4.9	㎡			
型枠運搬費	4ｔ車	1	式			

建築工事　細目別内訳

倉庫棟	基礎工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	12.6	㎡			
計						

倉庫棟	本体工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
倉庫棟ユニット	鉄骨造平屋建築工事一式 （外装、内装、建具、換気、盤、配線、照明、ｽｲｯﾁ類、運搬共）	1	式			
計						

建築工事　細目別内訳

外構工事	外構工事				外構工事	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
【園路広場整備工】						
場内ﾚﾍﾞﾙ調整	場内発生土整正 建築工事発生土の敷均し共	252	㎡			
ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	再生密粒度ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物ｔ50 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ(PK-3) 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40　ｔ150	252	㎡			
ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装	ｺﾝｸﾘｰﾄ舗装版18N　ｔ100　刷毛引き仕上 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40　ｔ50 伸縮目地　ｴﾗｽﾀｲﾄｔ9	30	㎡			
点字ﾌﾞﾚｰﾄ（点状）	300×300 樹脂製	5.2	㎡			
点字ﾌﾞﾚｰﾄ（線状）	300×300 樹脂製	5.6	㎡			
歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ（橋脚廻り）	歩車境界ﾌﾞﾛｯｸA型150/170×200×600 据付ﾓﾙﾀﾙ1:3,ｺﾝｸﾘｰﾄ18-8-BBｔ100 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40　ｔ50	26.5	m			
【ｻｰﾋﾞｽ施設整備工】						
手洗場	W2100×D800×H1300 ｺﾝｸﾘｰﾄ製（石調吹付仕上）、水栓 排水桝、SUS製ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ、配管、基礎共	1	基			
総合看板	W1710×H2100　基礎共 ｱﾙﾐ製	2	基			
【管理施設整備工】						
転落防止柵-1 手摺付	H1100	7.8	m			

建築工事　細目別内訳

外構工事		外構工事		外構工事		
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
車止め（脱着式）	STK製　基礎共	3	基			
PC　L型擁壁 H1000	基礎共、排水層	2	m			
PC　L型擁壁 H1100	基礎共、排水層	2	m			
PC　L型擁壁 H1200	基礎共、排水層	2	m			
PC　L型擁壁 H1300	基礎共、排水層	2	m			
計						

電気設備工事　細目別内訳

管理棟		電灯設備				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
照明器具	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ 4000lm 直付 人感ｾﾝｻｰ付	8	個			
照明器具	LEDｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ	24	個			
ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ本体	2m　ｷｬｯﾌﾟ共	8	本			
分電盤	L-1	1	面			
ﾕﾆｯﾄ内配線	配管配線・ｺﾝｾﾝﾄ・ｽｲｯﾁ類共	1	式			
計						

倉庫棟		電灯設備				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｹｰﾌﾞﾙ接続費	30AF/20AT	1	か所			
計						

電気設備工事　細目別内訳

屋外		構内配電線路			低圧	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
保護管		1	式			別紙 00-0013
電線		1	式			別紙 00-0014
ｹｰﾌﾞﾙ		1	式			別紙 00-0015
ﾎﾞｯｸｽ類		1	式			別紙 00-0016
労務費		1	式			別紙 00-0017
計						

機械設備工事　細目別内訳

管理棟	空気調和設備			機器設備		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
AW-1 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	冷房能力：8.0kW 屋内機：壁掛形　ﾘﾓｺﾝ共	1	組			
AW-2 空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟｴｱｺﾝ	冷房能力：2.8kW 屋内機：壁掛形　ﾘﾓｺﾝ共	3	組			
計						

機械設備工事　細目別内訳

管理棟	空気調和設備			配管設備		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
冷媒用 断熱材被覆銅管	6.35外径(　1/4B) 液管 厚10mm以上	12	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	9.52外径(　3/8B) ｶﾞｽ管 厚20mm以上	9	m			
冷媒用 断熱材被覆銅管	12.7 外径(　1/2B) ｶﾞｽ管 厚20mm以上	3	m			
ﾄﾞﾚﾝﾎｰｽ	φ16	12	m			
保温化粧ｹｰｽ (樹脂製)	100 × 70	12	m			
600Vﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁 耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝｼｰｽ ｹｰﾌﾞﾙ平形 EM-EEF	2.0mm- 3C 管内	12	m			
浸透桝	塩ﾋﾞ　150φ	4	か所			
計						

管理棟	衛生器具設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
洗面器	ｶｳﾝﾀｰW=1700、ﾎﾞｳﾙ2組 自動水栓　電気温水器共	2	組			
手すり	洗面器用	2	組			
小便器	ｾﾝｻｰ一体型	3	か所			
手すり	小便器用	1	組			
洋風便器	温水洗浄便座共	5	組			
紙巻器	1連	5	個			
化粧鏡	400×600	4	枚			
化粧鏡	450×1000	1	枚			
ｵｽﾄﾒｲﾄﾊﾞｯｸ	電気温水器、その他付属品共	1	か所			
洗面器	車椅子対応　水栓、電気温水器共	1	組			
手すり	L形	3	個			
手すり	跳ね上げ	1	個			
おむつ交換台	縦型	1	台			
ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ		1	台			
ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙｼｰﾄ	横型	1	台			

機械設備工事　細目別内訳

管理棟	衛生器具設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ﾕﾆｯﾄ内配管	給排水・屋外貫通処理共	1	式			
計						

屋外		給水設備				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　16A	3	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　20A	41	m			
給水・耐衝撃性ﾎﾟﾘ塩ﾋﾞ管(HIVP)	地中配管　40A	12	m			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	40A	1	か所			
散水栓ﾎﾞｯｸｽ	13A 水栓共	1	組			
仕切弁	13A 樹脂蓋ﾎﾞｯｸｽ150A共	3	組			
仕切弁	20A 樹脂蓋ﾎﾞｯｸｽ150A共	5	組			
地中埋設標	鉄 製	9	個			
埋設標識ﾃｰﾌﾟ	150幅	55	m			
土工事		1	式			別紙 00-0018
計						

機械設備工事　細目別内訳

屋外		排水設備				
名　　称	摘　　要	数　　量	単位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VU)	地中配管　75A	2	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VU)	地中配管 100A	11	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VU)	地中配管 150A	39	m			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径150φ 最大排水管径100φ 90L､45L　塩ﾋﾞふた付 ～500	1	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径150φ 最大排水管径100φ 90Y､45Y､45YS 塩ﾋﾞふた付 ～500	2	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径150φ 最大排水管径100φ 90Y､45Y､45YS 塩ﾋﾞふた付 501～800	1	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径200φ 最大排水管径150φ 90L､45L　塩ﾋﾞふた付 501～800	1	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径200φ 最大排水管径150φ 90Y､45Y､45YS 塩ﾋﾞふた付 501～800	2	組			
ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ桝	桝径200φ 最大排水管径150φ 90L､45L　塩ﾋﾞふた付 801～1200	5	組			
土工事		1	式			別紙 00-0019
計						

屋外	雨水設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VU)	地中配管　50A	19	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VU)	地中配管 100A	9	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VU)	地中配管 300A	6	m			
集水桝	500□　GR蓋 T-2 現場打ち H0.75m	1	組			
集水桝	500□ GR蓋 T-2 現場打ち H1.15m	1	組			
集水桝	500□ GR蓋 細目T-6 現場打ち H0.8m	1	組			
浸透桝	300φ 500H	7	組			
掃除口	65A 立上り管共	5	組			
土工事		1	式			別紙 00-0020
計						

機械設備工事　細目別内訳

屋外	撤去工事					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
CON桝撤去	500□ 400H 蓋無	1	組			
CON桝撤去	500□ 600H GR蓋	1	組			
側溝撤去	U300 蓋無	4	m			
側溝撤去	落ち蓋U300 CON蓋	2	m			
計						

屋外		発生材処理				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材積込		1	式			
運搬	2tﾀﾞﾝﾌﾟ	1	式			
ｺﾝｸﾘｰﾄ処分	有筋	1	t			
ｺﾝｸﾘｰﾄ処分	無筋	1	t			
金属くず処分		1	m3			
計						

管理棟		直接仮設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0001
遣方	小規模	60.5	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0002
墨出し	小規模 S造 地上階	60.5	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0003
養生	小規模 S造 地上階	60.5	㎡			
計						
整理整頓		1	式			別紙 00-0004
整理清掃 後片付け	小規模 S造 地上階	60.5	㎡			
計						

建築工事　別紙明細

管理棟		基礎工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0005
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 －　S15～S18 －　－	0.8	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 －　圧送費､基本料別途	6.4	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
計						

管理棟		ｽﾛｰﾌﾟ 工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0006
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 －　S15～S18 －　－	0.2	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 －　圧送費､基本料別途	7.8	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
計						
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上	金鏝仕上	1	式			別紙 00-0007
床ｺﾝｸﾘｰﾄ直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	34.3	㎡			
計						

建築工事　別紙明細

倉庫棟		直接仮設				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
遣方		1	式			別紙 00-0008
遣方	小規模	10	㎡			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0009
墨出し	小規模 S造 地上階	10	㎡			
計						
養生		1	式			別紙 00-0010
養生	小規模 S造 地上階	10	㎡			
計						
整理整頓		1	式			別紙 00-0011
整理清掃後片付け	小規模 S造 地上階	10	㎡			
計						

倉庫棟		基礎工事				
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間		1	式			別紙 00-0012
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	基礎部　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回未満　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	0.9	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	土間　ﾎﾟﾝﾌﾟ打設 50m3/回程度　S15～S18 -　圧送費､基本料別途	0.5	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄ打設手間	捨てｺﾝｸﾘｰﾄ　人力打設 -　S15～S18 -　-	0.1	m3			
ｺﾝｸﾘｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ圧送基本料金	30m3以上 50m3/回未満	1	回			
計						

電気設備工事　別紙明細

屋外		構内配電線路			低圧	
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
保護管		1	式			別紙 00-0013
厚鋼電線管(G)	露出配管　36mm	6	m			
異種管接続材	(40)	2	個			
計						
電線		1	式			別紙 00-0014
600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE)	5.5mm2	14	m			
600V耐燃性ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ絶縁電線(EM-IE)(PF管内)	5.5mm2	32	m			
計						

電気設備工事　別紙明細

屋外	構内配電線路			低圧		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
ｹｰﾌﾞﾙ		1	式			別紙 00-0015
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	14mm2- 2C 管内	15	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	14mm2- 2C FEP内(PF･CD)	27	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	22mm2- 3C 二重天井･床内､ﾋﾟｯﾄ･ﾄﾗﾌ内	5	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	22mm2- 3C 管内	19	m			
EM-CEｹｰﾌﾞﾙ	22mm2- 3C FEP内(PF･CD)	32	m			
計						
ﾎﾞｯｸｽ類		1	式			別紙 00-0016
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形 屋外(溶融亜鉛めっき)	SS200×200×150 WP 指定色塗装	2	個			
計						

電気設備工事　別紙明細

屋外	構内配電線路			低圧		
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
労務費		1	式			別紙 00-0017
FEP40	別途工事分敷設	17	m			
ｹｰﾌﾞﾙ接続費	100AF/75AT	1	か所			
ｹｰﾌﾞﾙ接続費	50AF/30AT	1	か所			
計						

機械設備工事　別紙明細

屋外	給水設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
土工事		1	式			別紙 00-0018
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	16	m3			
山砂		5	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	11	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	5	m3			
計						

機械設備工事　別紙明細

屋外	排水設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
土工事		1	式			別紙 00-0019
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	45	m3			
山砂		15	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	30	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	15	m3			
計						

屋外	雨水設備					
名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
土工事		1	式			別紙 00-0020
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	7	m3			
山砂		6	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	1	m3			
建設発生土処理	人 力 構内敷ならし	6	m3			
計						

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
仮囲い	B型ﾊﾞﾘｹｰﾄﾞ	77.6	m			
ｹﾞｰﾄ	ｱﾙﾐｷｬｽﾀｰｹﾞｰﾄ	1	か所			
交通誘導員		10	人			
VOC測定費		1	検体			
敷地測量	境界点位置出	1	式			
計						

河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

図 面 目 録

図面番号	図　面　名　称	縮尺	
		A1	A3
A-00	図面目録	N/S	
A-1～4	特記仕様書(1)～(4)	N/S	
A-5	位置図・区域図	図示	
A-6	求積図	1/50	1/100
A-7	現況平面図	1/200	1/100
A-8	配置図	1/100	1/200
A-9	求積図・法規チェック【管理棟】	1/50	1/100
A-10	仕様表【管理棟】	N/S	
A-11	平面図・建具表【管理棟】	1/50	1/100
A-12	立面図・断面図【管理棟】	1/50	1/100
A-13	屋根伏図【管理棟】	1/50	1/100
A-14	仕様表・平面図・立面図・断面図・建具表・求積図【倉庫】	1/50	1/100
A-15	仮設平面図（参考）	1/100	1/200
S-1	構造特記仕様書	N/S	
S-2	配筋基準図	N/S	
S-3	基礎伏図	1/50	1/100
S-4～5	基礎リスト-1～2	図示	
S-6	スロープ伏図	1/25	1/50
S-7	1階床梁・R1階屋根梁伏図	1/50	1/100
S-8	軸組図・部材リスト	1/50	1/100
S-9	基礎伏図・基礎リスト	1/25	1/50
S-10	構造標準図	1/50	1/100

図面番号	図　面　名　称	縮尺	
		A1	A3
G-1	外構図	1/100	1/200
G-2	造成計画平面図	1/100	1/200
G-3	造成計画断面図	1/200	1/400
G-4	施設構造図-1	図示	
G-5	施設構造図-2	図示	
G-6	施設構造図-3	図示	
G-7	撤去平面図・撤去構造図	図示	
E-1	電気設備工事特記仕様書	N/S	
E-2	屋外電気設備平面図	1/100	1/200
E-3	屋内電気設備平面図・分電盤図	1/40	1/80
M-1	機械設備工事特記仕様書	N/S	
M-2	機器表	N/S	
M-3	屋外給水設備平面図	1/100	1/200
M-4	屋内空調設備・給排水設備平面図【管理棟】	1/40	1/80
M-5	給水設備構造図	図示	
M-6	屋外排水設備平面図	1/100	1/200
M-7	排水設備構造図	図示	

海老名市
Ebina City

図面名称	図面目録	図面番号	A-00
縮尺	N/S		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		

特　記　仕　様　書

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　　河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
2　工　事　場　所　　海老名市河原口字中河原272-1ほか
3　用途地域
　都市計画区域（・ (内) ・ 外）　用途地域（ 第一種住居地域 ）
　防火地域等（・ 防火 ・ [準防火] ・ 指定なし ・ ２２条 ）
　その他の地域・地区（
4　主　要　用　途　　事務所、倉庫
5　敷　地　面　積　　437㎡
6　工事の概要　　河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」へ事務所、倉庫を新築する。
　上記に伴う、建築工事、機械設備工事、電気設備工事、外構工事ほか

7　別　途　工　事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
　特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
　(・) 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書
　・ 解体工事特記仕様書　・ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書
　・　　・

Ⅱ　建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。ただし、標準仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共 通仕様書」という。）による。
　なお、その他施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。
2．特記仕様
　1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
　2）特記事項は、(・)印のついたものを適用する。・印のつかない場合は[×]※印のついたものを適用する。(・)印と※印のついた場合は、共に適用する。
　3）特記事項に記載の（ ）、< >及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「標準仕様書」、「改修標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	(・) 一般事項	(・) 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合は、監督職員に報告の上，指示に従うこと。 (・) 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 (・) 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に，以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤，擁壁，内外壁，床，建具等）を調査・記録し，報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲　※ 図示
	(・) 適用基準等	(・) 工事写真の撮り方（国土交通省大臣官房営繕部監修　最新版） (・) 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房営繕部監修　最新版） (・) 海老名市公共工事共通事項書 ・ ・ ・
	(・) 工事実績情報(CORINS)の登録	※ 適用する（請負金額が 500万円以上の場合） 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	(・) 発生材の処理等	発生材の処理 ・引渡しを要するもの（　　） ・特別管理産業廃棄物（　　） 受入れ施設名・所在地(km) ・再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地(Km)	備　考
・ セメントコンクリート塊			
(・) アスファルトコンクリート塊			
・ 建設発生木材			
・ 建設汚泥			

・現場において再利用を図るもの（　　）
・その他の廃棄物（安定型）（　　）
受入れ施設名・所在地(km)
・その他の廃棄物（管理型）（　　）
受入れ施設名・所在地(km)

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること。

	5．電気保安技術者	・ 適用する　※ 適用しない
	(・) 事故報告	工事の施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	(・) 建築材料等	材料の品質等 本工事に使用する材料は，設計図書に定める品質及び性能を有するものとし，その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は，設計図書に規定するもの又は，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受ける。
		環境への配慮 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
		ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド放散量は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の該当する建築材料 1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品 2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品 3）次の表示のあるＪＡＳ適合品 a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b．接着剤等不使用 c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用
	(・) 室内の空気中の化学物質濃度の測定	※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 測試料採取及び測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と定方法」の新築住宅の例に準拠するほか，拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。 測定対象物質　※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm） ※ ｽﾁﾚﾝ　（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm） ※ ﾄﾙｴﾝ　（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm） ※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｿﾞﾝ（濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm） ※ ｷｼﾚﾝ　（濃度指針値　870μg/m3 ・ 0.20ppm） ※ ﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　240μg/m3 ・ 0.04ppm） 測定する室等：（ 管理棟事務室、トイレ ） 採取方法：吸引方式又は拡散方式とし，拡散方式では８時間採取する。 測定結果等報告書の提出 次の事項を記載した報告書を２部提出する。 a 測定結果 b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内），天候，風の状況，日射進入状況，測定年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成時から測定日までの日数） c 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器 測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は，引渡は受けない。 ・ 総揮発性有機化合物の測定 測定方法，測定物質及び測定か所等については，別図に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。 ※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への掲示については，施設管理者に依頼する。
	9．特別な材料の工法	「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。
	10．建築基準法による風圧力等の指定	

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
・ 金属板葺　・ 折板葺	風速(V0)　※３４　・
・ 粘土瓦葺　・ アルミニウム笠木	地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ
・ ガラスブロック　・ ＡＬＣ外壁パネル	多雪地域の指定　・有　・無
・ 押出成形セメント板外壁パネル	

	(・) 設計G.L.	※ 図　示　・ 現状平均地盤高
	12．技　能　士	・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。 ※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。 ・ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
鉄筋工事	・鉄筋施工
コンクリート工事	・型枠施工（型枠工事作業）
鉄骨工事	・とび
コンクリートブロック・ALCパネル	ブロック建築
・押出成形セメント板工事	・ＡＬＣパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・塗膜防水工事作業 ・シート防水工事作業 ・シーリング防水工事作業 ・ ・
石工事	・石材施工（石張り作業）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）
金属工事	・内装仕上施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	・左官

	建具工事	・サッシ施工 ・ガラス施工 ・自動ドア施工
	ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
	塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
	内装工事	・プラスチック系床仕上工事作業 ・カーペット系床仕上作業 ・ボード仕上工事作業 ・表装（壁装作業） ・畳工
	植栽工事	・造園（造園工事作業）
	(・) 完成時提出書類	※ 見開きＡ３（製本Ａ４判）　竣工図、施工図（検査後提出）　2部 ※ 完成図面電子データ（JWW形式及びPDF形式）（検査後提出）　1式 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類　1式 ※ 建築物等の維持・保全に関する資料（検査後提出）　1式 ※ その他監督職員が指示したもの　1式
	(・) 工事写真	※ 作成する　・ 作成しない 工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。
	15．設備工事との取合い	施工範囲　各工事の区分表による。 施 工 図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。
	(・) 火災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険 保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡し日まで
2 仮設	(・) 仮囲い	※ 設ける　・ 設けない 仮囲いの位置及び延長は図示による。 ・アルミキャスターゲート (H=1500, W=6000) ×　1　箇所
	2．危害防止	※ シート張り　・ 金網養生
	(・) 交通誘導員	※ 配置する　・ 配置しない
	4．監督職員事務所	※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） ・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同様　・可　・否） 備品（　　）
	(・) 工事表示板	※ 設置する　・ 設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
	(・) 工事用水	構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
	(・) 工事用電力	構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
	(・) 工事用通路	※ 指定しない　・ 指定する（図示）
	10．足場等	足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
	11．その他の仮設	（図示による）
3 土工	(・) 埋戻し及び盛土の種別	種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種 Ｃ種の場合　建設発生土受入数量　㎥ 発生場所
	(・) 建設発生土の処理	(・) 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。　指定先：愛川町田代処分場 愛甲郡愛川町田代1951番地 (・) 構内指示の場所に散きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。
	3．山　留　め	・

4 杭地業	1．既製コンクリート杭・鋼杭事業	■ 記載及び指示なき事項は構造設計標準仕様書、特記仕様書(管理棟)及び特記仕様書(倉庫)による 杭の種類 ・ プレストレストコンクリート杭（JIS表示承認製品） ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種 ・

	記号	杭径（mm）	長さ(m)及び種別	設計支持力	セット数	備　考
試験杭	⊗					
本　杭	○					

継　手　※ アーク溶接継手又は建築基準法の規定に基づき認定された無溶接継手
先端部形状　・閉塞平坦型　・開放型
杭の施工法
・ 掘削打撃併用工法　プレボーリングの掘削深さ
杭先端予定レベルの上方　mのレベルまで
オーガー径　杭径－５０mm程度
・ セメントミルク工法
・ 特定埋込杭工法
（旧建築基準法第３８条の規定に基づき認定された工法）
杭打機の種類
ハンマーの種別　※ 油圧パイルハンマー　・ ドロップハンマー
パイルドライバー　※ 三点支持式クローラークレーン
騒音・振動の測定　・ 行う　※ 行わない

	2．場所打ちコンクリート杭地業	コンクリートの種別　・Ａ種　・Ｂ種 掘削工法　・ アースドリル工法　※ 安定液使用 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 孔内の水張り　※ 行う　・ 行わない
	3．地盤改良	工　法（・　　）
	(・) 床下防湿層	※ 設ける　低密度ポリエチレンシート t=0.03mm ・ 設けない
	(・) 土間スラブ（土間コン）下断熱材	※ 設ける　ネオマフォーム t20　JIS A9521フェノールフォーム断熱材1種2号C2 ポリエチレンフォーム t30　JIS A9521ポリエチレンフォーム断熱材1種b ・ 設けない
	(・) 砂利地業	※ 再生クラッシャラン　・ （　　）
5 鉄筋工事	1．鉄筋の種別	■ 記載及び指示なき事項は構造設計標準仕様書、特記仕様書(管理棟)及び特記仕様書(倉庫)による

規　格　名　称	種　類　の　記　号	径　(mm)
鉄筋コンクリート用棒鋼	※ ＳＤ２９５Ａ	※ Ｄ１６以下
	※ ＳＤ３４５	※ Ｄ１９以上

鉄筋はJIS G 3112を使用のこと。施工はJASS5による。

	2．溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm)　6.0　×　網目(mm)　100 使用箇所（　　）
	3．鉄筋の継手	

接　合　方　法	径(mm)	施　工　箇　所
※ 重ね継手	Ｄ１６以下	
※ ガス圧接	Ｄ１９以上	はり　柱の主筋

	4．耐久上不利な箇所の鉄筋のかぶり厚さ	

施　工　箇　所　等	表5.3.5の値に加える寸法(mm)

	(・) 各部配筋	各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書 末尾資料の「各部配筋　参考図」による。
	6．柱の帯筋	※ Ｈ形　・ Ｗ－１形　・ＳＰ形
	7．耐震壁を除く壁の開口部補強	・ Ａ形　※ Ｂ形
	8．はり貫通孔の補強	補強形式　※Ｈ３形以上　・Ｍ型　・ＭＨ型
	9．圧接完了後の抜取試験	試験方法　※ 超音波探傷試験　・ 引張り試験
6 コンクリート工事	(・) 設計基準強度	■ 記載及び指示なき事項は構造設計標準仕様書、特記仕様書(管理棟)及び特記仕様書(倉庫)による 普通コンクリート（JIS A5308のJIS表示認証製品）

Ｆｃ（N/mm2）	適　用　箇　所
・ ２４	
※ ２１	
(・) １８	

	(・) レディーミクスコンクリート	種　別　※ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ・コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造体コンクリートのみ) （アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験） ・コンクリート単位水量測定を実施する。
	(・) スランプ	基礎，基礎梁，土間スラブ　※ １５cm　(・) １８cm 柱，梁，スラブ，壁　※ １８cm
	4．打放し仕上げの種類	

種　別	施　工　箇　所
・ Ａ 種	
※ Ｂ 種	
・ Ｃ 種	

	(・) セメントの種類	※ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種

6 コンクリート工事

⑥ 型枠

せき板の種類	板　厚(mm)	適　用　箇　所
※ 合　板	※１２　・	
・ 床型枠用鋼製デッキプレート		
・ 断熱材兼用型枠		

MCR工法用シート　※ 適用しない　・ 適用する

・ ひび割れ誘発目地
　目地寸法　※ 図示
　位　置　※ 図示

7. 軽量コンクリート

種　別	適　用　箇　所	所要気乾単位容積質量（t／m3）

8. 寒中コンクリート

適用期間　コンクリート圧縮強度が５N/mm2に達するまで行うこと。

9. 無筋コンクリート

適用箇所は(6.14.1)による他、下記による。

適　用　範　囲

10. 流動化コンクリート

種　別	ベースコンクリートのスランプ(cm)	流動化コンクリートのスランプ(cm)	使用箇所
普通コンクリート	・１０ ・１２ ・１５	・１８ ・２１	

7 鉄骨工事

■ 記載及び指示なき事項は構造設計標準仕様書、特記証書(管理棟)及び特記証書(倉庫)による

① 鉄骨の製作工場

※ 指定性能評価機関の性能評価を受けて、国土交通大臣の認定を受けた下記のグレード以上の工場
　・Ｓ　・Ｈ　・Ｍ　・Ｒ　・Ｊ

⊙ 鉄骨製作工場は自社工場で行う。

2. 施工管理技術者

※ 適用する　・ 適用しない

3. 鋼材の種別

材　質	規　格
・SS400 ・SSC400 ・STK400 ・STKR400	JIS表示認証製品
・SM400B,C ・SM490B,C ・SM400 ・SM490	

4. 高力ボルト

※ トルシア形高力ボルト　セットの種類 ※ ２種(S10T)　・
・ ＪＩＳ形高力ボルト　セットの種類 ※ ２種(F10T)　・
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト　セットの種類 ※１種(F8T相当)　・

5. 溶接部の試験

完全溶込溶接部の試験は超音波探傷試験とし、下表による。

溶接の区分	A0QL(%)	検査水準	備　考
工場溶接	・2.5 ※4.0	※6 ・	
現場溶接			

⑥ 錆止め塗装

※ 適用する(　　)
・ 適用しない

7. 耐火被覆

種　別	材料及び工法製造所	備　考
・ラス張モルタル	標準仕様書15章2節による建築基準法に基づく指定又は認定を受けたもの	
・耐火材吹付け		※半乾式　・湿式
・耐火板張り		
・耐火材巻付け		

8. アンカーボルトの保持及び埋込み工法

種　別	適　用　箇　所
・ Ａ　種	
※ Ｂ　種	
・ Ｃ　種	

9. 柱底均しモルタル

種　別	適　用　箇　所	柱底均しモルタル
※ Ａ　種		※無収縮モルタル
・ Ｂ　種		※無収縮モルタル

10. 溶融亜鉛めっき

亜鉛めっき	適　用　箇　所
※ Ａ　種	

8 ルネバCLA・クロプトリクコ事工板トンメセ耐成出押

1. 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類
※ 空洞ブロック １６　・

2. コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類
※ 空洞ブロック １６（ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック ０８とすることができる）

3. ＡＬＣパネル

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種		
・屋根及び床パネル工法				※Ｆ種		

4. 押出成形セメント板

工　法	パネル種類	厚さ	幅	取付工法種別	施工箇所	耐火指定
・外壁パネル工法				・Ａ種 ・Ｂ種		
・間仕切壁パネル工法				・Ｂ種 ・Ｃ種		

9 防水工事

1. アスファルト防水・改質アスファルトシート防水

種　別	施　工　箇　所	種　別	施　工　箇　所
・ Ａ－		・ ＡＩ－	
・ Ｂ－		・ ＢＩ－	
・ Ｄ－		・ ＤＩ－	
・ Ｅ－	室内(便所・浴室)	・	
・		・	

アスファルトの種類　JIS K2207のJIS表示認証製品　※ ３種

押さえ金物　(※アルミ製Ｌ－30×15×2.0　・　　)
・ 断熱材　※ Ａ種押出法ポリスチレンフォーム３種ｂスキン層付き

・ 脱気装置(材質　・　数量・　　)
・ 溶接金網（規格　　）
　適用防水種別（・　　）
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地　・　　)

2. 改質アスファルトシート防水

種　別	施　工　箇　所	シートの厚さ
・ AS－T		
・ AS－J		
・ ASI－T		
・ ASI－J		

改質アスファルトシートの種類　JIS A6013のJIS表示認証製品
・ 押さえ金物　(材質及び形状：　　)
・ 断熱材　※ Ａ種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温板２種１号又は２号(透湿係数を除く規格に適合するもの)
・ 脱気装置　(種類・数量：改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ製造所の指定とする)

3. 合成高分子系ルーフィングシート防水

種　別	厚さ (mm)	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・Ｓ－Ｆ１	※1.2　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｆ２	※2.0　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ１	※1.5　・		
・Ｓ－Ｍ２	※1.5　・		※カラー　・シルバー
・Ｓ－Ｍ３	※1.2　・		

ルーフィングシートの種類　JIS A6008のJIS表示認証製品
・ 脱気装置　(材質：　　)
・ 絶縁シート　(発泡ポリエチレンシート　　)
・ その他の材料（　　）

4. 塗膜防水

	種　別	施　工　箇　所	保護塗料（露出）
・ウレタン系	・Ｘ－１	バルコニー	※カラー　・シルバー
	・Ｘ－２	ひさし	※カラー　・シルバー
・ゴムアスファルト系	・Ｙ－１	地下外壁	
	・Ｙ－２	室内（便所・浴室）	

・ 脱気装置（材質：ステンレス製又はアルミ製　・　　）
（設置数量：　　箇所）

5. ケイ酸質系塗布防水

種　別	施　工　箇　所
※Ｃ－ＵＩ ・Ｃ－ＵＰ	

6. シーリング

※ 被着体との組み合わせは（表9.7.1）による。

7. 防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より１０年間とし施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間とし、作成し提出する。

10 ＩＬＨ 等

1. 石　材

石材の種類	品　質	施工箇所	工法	産地・名称	仕上の種類

2. 流れ防止

床のワックスかけ　・ 行う　・行わない

11 タイル工事

1. タイル

タイルの種類

施工箇所	形状寸法 (mm)	き　じ			うわ薬		役物			色	
		磁器	せっ器	陶器	無釉	施釉	あり	なし	標準	注文
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

タイルの見本焼き　※ 行わない　・ 行う

2. タイル下地コンクリート

後張りタイル下地コンクリート素地面の処理　(11.3.3)
・ 行う（下記のいずれかとする）　・ 行わない

素地表面処理の工法	下地モルタル	適　用　箇　所
ＭＣＲ工法	(15.2.5(C)) による	
ＭＣＲ工法	ポリマーセメントモルタル	
目荒し工法（高圧水洗）	(15.2.5(C)) による	
目荒し工法（高圧水洗）	ポリマーセメントモルタル	

ＭＣＲ工法はせき板面にＭＣＲ工法用シート張りとし（6.9.3(e)）による。
目荒し工法の高圧水洗は（15.2.4(C)）による。
ポリマーセメントモルタルの調合は（15.2.3(b)）による。

3. 陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法
※ 改良積上げ張り　施工箇所（　　）
※ 接着剤張り　施工箇所（　　）
外装タイルの工法
※ 密着張り　施工箇所（　　）
・ 改良圧着張り　施工箇所（　　）
ユニットタイルの後張り工法
※ マスク張り

4. 接着剤による陶磁器質タイル張り

内装タイルの工法
・ 接着剤張り　施工箇所（　　）
接着剤はJIS A 5548のJIS表示認証製品

5. 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地

※ 図示

6. 接着力試験

※ (表11.1.2)による

12 木工事

1. 木　材

表面仕上げの程度　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種
含水率　下地材　※ Ａ種　・ Ｂ種
　　造作材　※ Ａ種　・ Ｂ種
造作材の材面の品質　※ Ａ種　・ Ｂ種
代用樹種を使用しない箇所
※ なし　・ あり（　　）

2. 集成材

造作集成材

等　級	JASによる集成材		その他	
	※ １等	・ ２等	※ １等	・ ２等
単材の樹種				
単材の厚さ(mm)	１０～１５		１０～１５	

3. 床張り用合板

床下貼り用合板
※ JASの構造用合板　特類　２等以上　C－D
・（　　）

4. 防腐・防蟻・防虫処理

薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理
適用部位（　　）　保存処理性能区分　・Ｋ２　・Ｋ３　・Ｋ４
薬剤の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。
防虫処理
ラワン材　保存処理性能区分　※Ｋ１

13 屋根及びとい工事

① 金属板葺

■ 記載及び指示なき事項は構造設計標準仕様書、特記証書(管理棟)及び特記証書(倉庫)による

材　種	規格	厚さ(mm)	屋根葺形式	備　考
・カラー亜鉛鉄板（※片面塗装　・両面塗装）	JIS G 3312	※0.4 ・	※瓦棒葺（心木なし）	
⊙ ガルバリウム鋼板（※無塗装　　）	JIS G 3321	※0.4 ⊙ 0.5	・	AL55%
※カラーガルバリウム鋼板（※カラー　　）	JIS G 3322	※0.4 ・	・	AL55%
・		・	・	

※監督員の承諾する業者とする。

2. 折板葺

JIS A 6514のJIS表示認証製品　詳細は特記仕様書参照

材　種	規格	厚さ	山高及びピッチの区分	断熱材	耐火性能
・カラー亜鉛鉄板（屋根用規格品）	JIS G 3312	※0.8 ・ 0.5	・ 0920 ・ 1525 ・ 1730 ・	・有 (20 mm) ・無	・有 (30分耐火) ・無
・カラーガルバリウム鋼板（屋根用規格品）	JIS G 3322				
・ポリ塩化ビニル被覆（SGのA種規格品）	JIS K 6744				
・					

・形　式（・ 重ね形　・ はぜ締め形）
・軒先面戸（　　）

3. 粘土瓦葺

JIS A 5208の表示認証製品

種　類	大きさ	産　地	役物瓦の種類	耐凍害性資料
				・ 提出する ・ 提出しない

④ とい

といの材質

材　種	防　露
・配管用鋼管（ＳＧＰ）	※ (表13.5.4) により行う　・ 行わない
・硬質塩化ビニル管（ＶＰ）	

鋼管製といの防露巻き工法
※ (表13.5.5)による
・ 樋受石（材質・規格　　）
※ 第一桝まで接続

5. ルーフドレン

※ 鋳鉄製
※ 縦型　・ 横型

14 左官工事

1. あと施工アンカー

引抜き耐力の確認試験　・ 行う　※ 行わない

2. ステンレス表面処理

※ ＨＬ　・ NO.2B

3. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理

種　類	施　工　箇　所	色　合
・ －　種		
・ －　種		

4. 鉄鋼の亜鉛めっき

種　類	施　工　箇　所
・　種	
・　種	

溶融亜鉛めっきの付着量試験　※ 行わない　・ 行う
電気亜鉛めっきの被膜厚さ及び塩水噴霧試験　※ 行わない　・ 行う

5. 軽量鉄骨天井下地

野縁などの種類
屋内　※ １９型　・ ２５型
屋外　・ １９型　※ ２５型
耐震性を考慮した補強
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）
耐風圧性を考慮した補強（ピロティ、屋外軒天井等）
※ 行わない　・ 行う（補強方法と補強箇所は図示による）
床版の断熱材打込部分は断熱用インサートを使用する。

6. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーなどの種類は、(表14.5.1)による。

7. 金属成形板張り

種　別
表面処理
※ 割付図を作成し監督職員の承諾を受ける。
伸縮調整継手　・ 設ける　・ 設けない

15 左官工事

1. モルタル塗り

既製目地材　・ 設ける（施工箇所：　形状：図示による）
　・ 設けない
床目地　・ 設ける（押し目地工法）・設けない

2. セルフレベリング材

種別　・ 石こう系　・ セメント系
塗厚　※ 10mm　・

3. 仕上げ塗材仕上げ

規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工　法	上塗り材
・薄付け仕上げ塗材	・外装薄塗材 E ・内装薄塗材 E ・	・砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・ゆず肌	※吹付け ・ローラー	
・厚付け仕上げ塗材	・外装厚塗材 C ・内装厚塗材 C ・外装厚塗材 E ・	・	※吹付け ・こて	
※複層仕上塗材	・複層塗材 CE ※複層塗材 E ・複層塗材 RS ・複層塗材 RE ・複層塗材 Si ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 RS ・	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凸凹模様	※吹付け ・ローラー	溶剤 ※水系　・溶剤系 ・弱溶剤系 外観 ※つやあり ・メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・シリカ系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系
・軽量骨材仕上塗材	・吹付用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材	・砂壁状 ・平たん状	・吹付け ・こて塗り	

複装仕上塗材の耐候性　・ １種　・ ２種　※ ３種

4. ロックウール吹付け（耐火被覆は、７章による）

吹付け厚さ（mm）　※ 図示による　・

16 建具工事

1. 一般事項

■ 記載及び指示なき事項は構造設計標準仕様書、特記証書(管理棟)及び特記証書(倉庫)による

防火戸の指定
・ 適用する（適用範囲は図示及び建具表による）
　※ 建築基準法第２条第九号のニの規定に定められたもの
　※ 認定を受けたもの(監督員の承認を受ける。)
※ 適用しない

防火戸との連動
・ 適用する(適用箇所は建具表及び図示による)
　・ 自動閉鎖機構　・ ヒューズ装置　・ 熱感知器　・ 煙感知器
※ 適用しない

見本の作成等
製　作　※ 行わない　・ 行う（建具表による）
仮　組　※ 行わない　・ 行う（建具表による）

防犯建物部品　※ 使用しない　・ 使用する（建具表による）

② アルミニウム製建具

外部に面する建具性能等級等

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ Ａ　種	Ｓ－４	Ａ－３	Ｗ－４	７０（引違い、片引き、上げ下げ窓で複層ガラスを使用する時で性能が確保できない場合は、１００）
・ Ｂ　種	Ｓ－５			
・ Ｃ　種	Ｓ－６	Ａ－４	Ｗ－５	１００

※ 適用箇所は図示による

表面処理		
	外部に面する建具	※ Ｂ－１種　・ Ｂ－２種
	内 部 建 具	※ Ｃ－１種　・ Ｃ－２種

Ｂ－２種，Ｃ－２種の場合　・ブロンズカラー（※標準色　・濃色）
　・ステンカラー

防音ドアセット，防音サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
　※ 適用しない
　適用する場合の遮音性の等級　・ Ｔ－１　・ Ｔ－２　・ Ｔ－３
断熱ドアセット，断熱サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
　※ 適用しない
　適用する場合の断熱性の等級　・ Ｈ－２　・ Ｈ－３
耐震ドアセット，耐震サッシ　・ 適用する（適用範囲は図示による）
　※ 適用しない
　適用する場合の面内変形追随性の等級　・ Ｄ－１　・ Ｄ－２

③ 網戸

使用方法による区分　※外面納まりの可動式
　・内部納まりの開き式

・防虫網（線径0.25mm 網目16-18メッシュ）
　・ガラス繊維入り合成樹脂　・ｽﾃﾝﾚｽ(SUS 316)　※合成樹脂
・防鳥網
　※ステンレス（SUS304）線径1.5mm ピッチ15mm

海老名市 Ebina City

図面名称	特記仕様書(2)	図面番号	A-2
縮尺	N/S		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		

16 建具工事

4．樹脂製建具

外部に面する建具性能等級等

種　別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込み寸法(mm)
・ A 種	S－4	A－4	W－4	※建具表による
・ B 種	S－5		W－5	
・ C 種	S－6			

※　適用箇所は図示による

防音ドアセット，防音サッシ
・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の遮音性の等級　・ T－A種　・ T－B種

断熱ドアセット，断熱サッシ
・ 適用する（適用範囲は図示による）　※ 適用しない
適用する場合の断熱性の等級　・ H－A種　・ H－B種

表面色
・標準色（白）　・特注色（・黒　・ブラウン　・シルバー）

5．鋼製建具

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用箇所は図示とする）
気密性　※ A－3　・
水密性　※ W－1　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ S－4　・ S－5　・ S－6

鋼　板
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・溶融亜鉛－５%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)

建具寸法が(16.4.4(a))を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ

区　分		使用箇所	厚さ (mm)
窓	枠類	枠，方立，無目	(表16.4.2)に同じ
出入口	枠類	一般部分	2.3
	戸	中骨	2.3
上記以外			(表16.4.2)に同じ

標準型鋼製建具　※ 使用する　・ 使用しない

6．鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセット
※　使用する(適用箇所は図示による)
気密性　※ A－3　・
・ 使用しない

戸の鋼板　※ 表面処理亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板

標準型鋼製軽量建具　※ 使用する　・ 使用しない

標準型鋼製軽量建具の小窓枠，がらり　※ 鋼製　・ アルミ製

7．ステンレス製建具

簡易気密型ドアセット
※　使用する（適用箇所は図示とする）
気密性　※ A－3　・
水密性　※ W－1　・
・ 使用しない

外部に面する建具の耐風圧性　※ S－4　・ S－5　・ S－6

表面処理　※ HL　・
鋼板の曲げ加工　※ 普通曲げ　・ かど出し曲げ

8．木製建具

建具材の加工、組立時の含水率　・A種　※B種　・C種
かまち戸の樹種　かまちは杉上小節程度　桟，鏡板はも杉無節程度
ふすまの上張り　※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度
ふすまの種類　※ 戸ぶすま　工法（・ 在来型　・ チップ型）

9．建具用金物

金 物 の 種 類	型　式	製 造 所
シリンダー箱錠		
本締り付きモノロック		
モノロック		
シリンダー本締り錠		
グレモン錠		
ドアクローザー		
フロアヒンジ		
ヒンジクローザー	ピボット形	
ピボットヒンジ		JIS表示認証製品
レバーハンドル	レバー長さ　L=130程度	錠前類と同一製造所
戸あたり	あおり止め付き	

標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー，
シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント取付位置は、建具表による。

マスターキーの作成　・ 要　・ 不要
・ 不要(既存マスターキーで施解錠可能とする。)

10．自動ドア開閉装置

性能　・ スライディングドア
・ スイングドア

センサーの種類　・ 光線（反射）スイッチ
・ マットスイッチ式
・ タッチスイッチ
◇センサーの種類によらず補助センサー併用とする

凍結防止装置　・ 要　※ 不要
全半開装置　※ 設ける（半開幅＝　）
・ 設けない

16 建具工事

11．重量シャッター

種　類	シャッターケース	耐風圧強度	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ 上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ・ 設けない
・ 防火シャッター ・ 外壁用 ・ 屋内用	※ 設ける ・		※ 上部電動式（手動併用）	障害物感知装置(自動閉鎖型)を設ける。
・ 防煙シャッター				

スラット及びシャッターケース用鋼板
※溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)
・塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)

詳細は特記仕様書(倉庫)参照

⑫ 軽量シャッター

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度	スラットの形状	保護装置
※ 手動式 ・ 上部電動式（手動併用）	※ 設ける ・ 設けない	建具表及び図示による	※ インターロッキング型 ※ オーバーラッピング型	障害物感知装置（自動閉鎖型） ※ 設ける ○ 設けない

スラットの材質
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)
・塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)

13．オーバーヘッドドア

材　質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式	※ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形	・ ５０ ・ ７５ ・１００ ・１２５ (JIS A4715による強さの区分)	※ 溶融亜鉛メッキ鋼板 ・ ステンレス鋼板

保護装置
障害物感知装置　※ 設ける　・ 設けない

⑭ ガラス

※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。

※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。

合わせガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅱ－１類　・ Ⅱ－２類　・ Ⅲ類

強化ガラスの特性
・ Ⅰ類　・ Ⅲ類

熱線吸収板ガラス
性能　・ １類　・ ２類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ

複層ガラス
性能　・ １種　・ ２種
・ ３種（・ U３－１　・U３－２）
・ ４種　・ ５種
封止の加速耐久性による区分
※ Ⅱ類

熱線反射ガラス
日射遮へい性　・ １種　・ ２種　・ ３種
耐久性　・ A類　・ B類
色調　・ ブルー　・ グレー　・ ブロンズ
・ シルバー
反射皮膜　・ 内側　・ 外側
映像調整　・ 行う　・ 行わない

ガラスの留め材
※ シーリング　・ ガスケット（可動アルミ製建具に限る）

防火戸のガラスの留め材は建築基準法の認定を受けたシーリング材とする。

ガラスの溝幅については、(表16.14.1)による。ただし強化ガラス、合わせガラス及び倍強度ガラスの溝幅は図示による。

複層ガラスの保証期間は引き渡し日から１０年間とし、メーカー保証書を提出する。

15．ガラスブロック（中空）

表面形状 (JIS A5212)	モジュール呼び寸法による区分（長さ×高さ）		厚さによる区分
正方形	・ １２５×１２５	・ １６０×１６０	・ ８０
	・ ２００×２００	・ ３２０×３２０	・ ９５
長方形	・ ２５０×１２５	・ ３２０×１６０	・ １２５

品質等

ガラスの種別	柄	目地色	金　属　枠	耐火性能
・ 一般ガラス ・ 乳白ガラス ・ カラーガラス ・ 熱線反射ガラス	・ 無 ・ 有	・ 白 ・ グレー	・ アルミニウム製（表面処理　） ・ ステンレス製（表面仕上　）	・ 規定しない ・ 有（　分間）

17 カーテンウォール工事

1．カーテンウォールの種別
・ メタルカーテンウォール
・ PCカーテンウォール

1．カーテンウォールの性能

カーテンウォール種別	メタルカーテンウォール	PCカーテンウォール
材　種		
耐風圧性		
耐 震 性		
水 密 性		
気 密 性		
耐 火 性		
耐温度差性		
遮 音 性		
断 熱 性		
材質等性能の確認方法		
シーリング材		
構通ガスケット		
ガ ラ ス		
断熱材料		
枠見込み		
表面仕上げ		

18 塗装工事

1．一般事項　屋内の壁及び天井の塗装の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定あるものとする。

2．素地ごしらえ

各部の素地ごしらえ		
木　部	※A種（不透明塗料塗）※B種（透明塗料塗）	
鉄鋼面	・A種	・B種　※C種
亜鉛めっき鋼面	・A種	※B種　・C種
モルタル・プラスター面	・A種	※B種
コンクリート・ALC面	※A種	・B種
ボード面	※A種（継目処理工法）※B種（その他）	

3．錆止め塗料塗り

塗料の種別		
鉄鋼面	※A種　※B種（標準仕様書8節の場合）	
亜鉛めっき鋼面	※A種　・B種　※C種（標準仕様書8節の場合）	
錆止め塗料塗り		
鉄鋼面	※A種（見え掛り）　※B種（見え隠れ）	
亜鉛めっき鋼面	※A種（鋼製建具等）・B種　※C種(その他)	

4．合成調合樹脂ペイント塗り（ＳＯＰ）

塗料の種別	※１種　・２種	
合成樹脂調合ペイント塗り		
鉄鋼面	・A種	※B種
木部	※A種（屋外）	※B種（屋内）

5．クリアラッカー塗り（ＣＬ）　木部のクリアラッカー塗り　・A種　※B種

6．アクリル樹脂非分散系塗料塗り(屋内)（ＮＡＤ）

アクリル樹脂非分散系塗料塗り		
コンクリート・モルタル面	・A種	※B種

7．耐候性塗料塗り(屋外)（ＤＰ）

上塗りの等級			
鉄鋼面	※１級	・２級	・３級
亜鉛めっき鋼面	※１級	・２級	・３級
コンクリート面及び押出成形セメント板面の種別			
	・A種	※B種	・C種

8．つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ－Ｇ）

つや有り合成樹脂エマルションペイント塗り		
コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面	・A種	※B種
木部（屋内）（多孔質広葉樹を除く）		
鉄鋼面（屋内）	・A種	※B種

9．合成樹脂エマルションペイント塗り（ＥＰ）　合成樹脂エマルションペイント塗り　コンクリート・モルタル・プラスター・石こうボード・その他のボード面　・A種　※B種

10．ウレタン樹脂ワニス塗り（ＵＣ）　木部のウレタン樹脂ワニス塗り　・A種　※B種

11．ステイン塗り　・ピグメントステイン　※オイルステイン

12．木材保護塗料塗り（ＷＰ）　木材保護塗料塗り　・A種　※B種

19 床仕上げ工事

①ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品

種　類	記号	色　柄	厚さ(mm)	特殊機能	工法
※ 発泡層のないもの	※ＦＳ ・ＴＳ	※無地 ・マーブル	※ 2.0 ○ 2.5（トイレ） ○ 3.0（事務所）	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け
・ 発泡層のあるもの	・ＨＳ ・ＫＳ	・	・	・	・

②化粧ビニル床シート

JIS A5705のJIS表示認証製品で、表面は印刷シートに透明表層を有した木目又は石目調のもの

種類の記号	色　柄	厚さ(mm)	特殊機能	工　法
ＦＳ	※ 木目調 ・ 石目調	※ 2.0 ・ 2.5	・帯電防止 ・帯動荷重	※熱溶接 ・突付け

上記以外はすべてビニル床シートに同じ

③ビニル床タイル

JIS A5705のJIS表示認証製品

種　類	記号	寸法	著さ(mm)	特殊機能
※ コンポジションビニル床タイル	・ＫＴ	※300×300	※ 2.0 ・	・帯電防止 ・帯動荷重
・ ホモジニアスビニル床タイル	・ＦＴ	・300×300 ・450×450	・ 2.0 ・	・帯電防止 ・帯動荷重

19 仕上げ工事

4．ビニル床シート・ビニル床タイルの特殊機能

帯電防止
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）1.2~3.1程度
又は耐電圧（JIS L 1023)3kV以下
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）3.2~5.1程度
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^10オーム未満
・ 帯電防止性能評価（JIS A 1455）5.2以上
又は漏えい抵抗値(JIS A 1454) 1×10^7オーム未満

耐動荷重
JIS A 1454によるへこみ試験、残留へこみ試験、滑り性試験、層間剥離強度試験(発泡層のあるビニルシートのみ)およびキャスター性試験等の試験後異常がないこと。

5．視覚障害者用床タイル

材　質			寸　法（mm）
・ 塩化ビニル系	・ せっ器質タイル系		３００×３００

6．ビニル幅木

材　種	※ 軟質	・ 硬質	・ 溶接		
高　さ（mm）	・ ６０	※ ７５	・ １００		
厚　さ（mm）	・ １．５	※ ２．０			

7．カーペット敷き

・ タフテッドカーペット

施工箇所	パイル形状	パイル長さ(mm)	工　法	品　質	帯電性
			※ 全面接着工法 ・ グリッパー工法		(19.3.3)による

品質は参考商品名である

・ タイルカーペット

施工箇所	種　類	パイル形状	寸　法	総厚さ	帯電性
	※第１種 ・第２種	※ループパイル ・カットパイル	※500×500 ・	※ 6.5 ・	製造所の仕様による

8．合成樹脂塗床

材料の種類
・ 厚膜型塗床材
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床材
・ エポキシ樹脂系塗床材
・ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）

仕上の種類
・ 平滑仕上げ　・ 防滑仕上げ

9．フローリング張り

・単層フローリング

種　別	樹種	厚さ(mm)	工法	塗装
・ フローリングボード	※ナラ ・	※１５　幅　７５ ・　長さ500以上	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り
・ フローリングブロック	※ナラ ・	※１５　303×303 ・	・モルタル埋込み工法 ・接着工法	・オイルステン塗りの上ワックス
・ モザイクパーケット	※ナラ ・	・６　・８　・９ ・	・接着工法	・生地のままワックス ・既塗装品

・複合フローリング

種　別	樹種	種別	防湿処理	工法	塗装
※ 複合１種フローリング	※ナラ ・サクラ	・A種 ・B種	・行う ※行わない	・釘止め工法 ・接着工法	※ウレタン樹脂ワニス塗り
・ 複合２種フローリング	・ヒノキ ・	※C種			・オイルステン塗りの上ワックス
・ 複合３種フローリング					・生地のままワックス
・ 大型積層フローリング	・ナラ ・サクラ ・	・	・行う ・行わない	・特殊張り工法（体育館床）	・既塗装品

10．畳敷き　畳の種別　・ A種　・ B種　※ C種　・ D種（　）

11．石こうボードその他ボード及び合板張り

種類又は記号	種別など	厚　さ（mm）		規格番号
けい酸カルシウム板（繊維強化セメント板） 0.8ＦＫ又は1.0ＦＫ		壁	・ 8(不燃) ・ 10(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6(不燃) ・ 12(不燃)	
グラスウール吸音ボード（吸音材料）ＧＷ－Ｂ	ガラスクロス(JIS A 3414 EP18程度)額縁張り品		25(不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板（吸音材料）ＤＲ	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	※　9(不燃) ・ 12(不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12(不燃) ・ 15(不燃) ・ 19(不燃)	
せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｒ		壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃) ・ 15(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	
シージングせっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｓ		壁	12.5(準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(準不燃)	
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－ＮＣ	トラバーチン模様 色　※白 ・黄		9.5(不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード（せっこうボード製品）ＧＢ－Ｄ	木目模様 木目模様（裏桟付き） 特殊模様	壁	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5(準不燃) ※12.5(不燃)	

せっこうボードの目地処理　※ 継目処理工法　・ 突き付けＶ目地工法
・ 突き付け工法　・ 目透し工法

海老名市 Ebina City

図面名称	特記仕様書(3)	図面番号	A-3
縮尺	N/S		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		

19 内装工事

12. 遮音シール材　・ アクリル系シーリング材　※ ジョイントコンパウンド

13. 壁紙張り

施工箇所	品質	防火種別
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他
		・不燃 ・準不燃 ・その他

品質は参考商品名である。

⑭ 断熱材

断熱材の打込み及び現場発泡工法

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法2種b		・ 25 ・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材（A種）	・2種b ・3種b（スキン層あり）	下記以外 接地部分及び屋根防水部分ビット内部	※ 25 ・	
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・	・	
・ フェノールフォーム保温材	※A種 ・	・	・	JIS A 9511のJIS表示認証製品
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	・	※ 20 ・	JIS A 9526による難燃性 ・2級 ※3級
・ フェノールフォーム断熱材	・ 1種2号C2	・ 管理棟屋根 ・ 管理棟外壁	・ 20 ・ 40	JIS A 9521
・ ポリスチレンフォーム断熱材	・ 1種b	・ 倉庫屋根 ・ 倉庫外壁	・ 30 ・ 40	JIS A 9521

※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。
上記以外に用いる断熱材

種類		箇所	厚さ(mm)	備考
・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法		※ 25	JIS表示認証製品
	※A種押出法2種b	下記以外		
	※A種押出法3種b（スキン層あり）	接地部分及び屋根防水部分ビット内部		
・ グラスウール保温材	※24K品		※ 100 ・	JIS表示認証製品

※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート
※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り （重ね100）

20 1. フリーアクセスフロア

施工場所	工法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力(Ks)	耐荷重性能(N)	表面仕上げ
	・溝工法（置敷工法）		・ 1.0G ※ 0.6G	・ 3,000 ・ 5,000 ・	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・支柱一体型パネル工法（置敷工法）				
	・支柱分離型パネル工法（独立支柱工法）				

ボーダー部 ※ 一般部分の仕様に準ずる ・ 図示による
床表面仕上げ材の品質は標準仕様書19章による。
配線取出し用切り欠きパネルは1枚／㎡以上とする。
空調用吹き出し(吸い込み）パネル ※ なし ・ 有り（※固定式 ・可変式）
施工箇所は図示

2. 可動間仕切（パーテーション）

構造形式による種類　スタッド式（内蔵）
構成材の種類　アルミニウム合金系又はスチール系
パネル表面材　焼付塗装鋼板（標準色）t＝0.5以上
遮音性　36dB/500Hz以上
防火性能　不燃

3. 移動間仕切（スライディングドア）

パネルの操作方法による種類　規定しない
パネル表面材の材質及び仕上げ　製造所仕様の化粧鋼板（標準色）t＝0.5以上
パネル圧接装置の操作方法　ハンドル回転式又はワンタッチ上下式
遮音性　36dB/500Hz以上
防火性能　不燃
取り付け用あと施工アンカー　材質，寸法等は図示又は製造所の仕様による

④ トイレブース（ライニングパーテーション）

材 種　メラミン化粧板

5. 階段滑り止め（ノンスリップ）

材 種　ステンレス（SUS304）ビニールタイヤ入り（幅約35㎜）
取り付け方法　※ 接着工法 ・ 埋込み工法

6. 床目地棒

ステンレスFB（SUS304） t5～6×H12
（床仕上げが異なる場合に設ける。但し、建具部は建具表による。）

7. 黒板及びホワイトボード

形式 ・ 平面 ・ 曲面

⑧ 化粧鏡

耐湿鏡 t＝5 ステンレスフレーム付き

20 その他の工事

9. 表 示

衝突防止表示　ステンレス製 HL仕上げ Φ30程度 市販品
誘導標識　市販品
室名札　アクリル板

10. 煙突ライニング材

煙突用成形ライニング材　安全使用温度 400℃

11. ブラインド

形式	※ 横型ブラインド	・ 縦型ブラインド
スラット	※ アルミニウム合金	※ クロススラット
開閉方式	※ ギヤ式 ・コード式	※ 2本操作コード方式
スラットの成形(㎜)	※ 25 ・	・ 80 ・ 100

操作方式　・ スプリング式 ※ チェーン式 ・電動式
スクリーンの生地　無地で製造所仕様の標準タイプ

12. ロールスクリーン

名称・品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動
	※箱ひだ、つまひだ ・	・片引き ・引分け	※手引 ・ひも引 ・電動

13. カーテン

材 質　※ ステンレス製 ・ アルミニウム製
形 状　※ D型又は角型 ・ C型

14. カーテンレール

表面処理　※ C－1種 ・ C－2種

15. アルミニウム製カーテンボックス

16. 点検口

施工箇所	材種	寸法	形式
天井	※ アルミニウム製 ・	※ 450×450 ・ 600×600	※ 目地タイプ ・ 額縁タイプ
床	※ アルミニウム製 ・	・ 450×450 ※ 600×600	※ 一般形貼物用 ・ 一般形充填用

17. くつふきマット

材種	受わく
※ 塩化ビニール製又は塩化ゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス製（SUS 304）	※ ステンレス製（SUS 304） ・ 硬質アルミニウム合金製

18. ステンレス流し台

※ BL認定商品（システム ※ I型 ）トラップ付
・

19. コンロ台

※ BL認定商品（システム ※ I型 ）バックガード（※有 ・無）
・

20. つり戸棚

※ BL認定商品（システム ※ I型 ）
・

21. 水切棚

※ 1段 ・ 2段

22. 旗竿受金物

※ ステンレス製（SUS 304）既製品 彫り込みタイプ既製品

23. 旗竿

形 式　※ テーパー式 ・ 同一断面式 H＝
材 種　※ アルミニウム合金 ・ m
操作方式　※ ハンドル式 ・ ロープ式

24. 屋内掲示板

※ 既製品　アルミニウム製枠　表面発泡シート張り

㉕ 視覚障害者用誘導ブロック

屋 外　※ コンクリート製 ・ 磁器質タイル
○ アクリル樹脂プレート JIST 9251 （※ 300角 ・ 150角）

26. 出隅面取材

材 種　※ アルミニウム合金製 ・
高 さ　※ 天井まで ・ 1.8m程度

27. かぎ箱

市販品　フック数（本） ・ 30 ・ 40
・ 60 ・ 100 ・

28. 消火器ボックス

鋼製　既製品

29. ピクチャーレール

アルミ製　既製品：ﾜｲﾔｰ，ﾌｯｸ等の吊り金物(4ｾｯﾄ／m）共

30. 郵便受

図示

21 排水工事

① グレーチング　※ 鋼製 ・ ステンレス製

2. 鋳鉄製マンホールふた　簡易密閉式とし，表面には用途別の標準文字付きとする。

③ 縁石及び側溝　地業の材料 ○ 再生クラッシャラン ・

22 舗装工事

1. 再生材　※ 使用する ・ 使用しない

2. 盛土材料　路床の盛土材料 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種

3. 遮断層及び凍上抑制層用材料　遮断層 ※ 川砂・海砂又は良質な山砂
凍上抑制層 ※ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利又は切込砕石

4. 路床安定処理　路床安定処理添加材料
※ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種
・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰（・特号 ・1号） ・ 消石灰(・特号 ・1号)

5. 砂の粒度試験　※ 行わない ・ 行う

6. 路床土の支持力比（CBR）試験　※ 行わない ・ 行う（※ 乱した土 ・ 乱さない土）

7. 路床の締固め度の試験　・ 行わない ※ 行う（箇所:埋戻し及び盛土部）

⑧ 路盤材料　※ 再生クラッシャラン RC－40
（透水性舗装の場合を除く）
・ クラッシャラン C－40
・ クラッシャランスラグ CS－40

9. 路盤の締固め度の試験　※ 行う

⑩ アスファルト舗装　加熱アスファルト混合物の種類

表層	※ 再生密粒度アスファルト混合物（13） ・ 密粒度アスファルト混合物（13） ・ 細粒度アスファルト混合物（13） ・	舗装の厚さは図示による
基層	※ 再生粗粒度アスファルト混合物（20） ・ 粗粒度アスファルト混合物（20） ・	

舗装の平坦性は、通行の支障となる水たまりを生じない程度とする
アスファルト混合物等の抽出試験 ※行わない ・行う

⑪ コンクリート舗装　早強セメント ・ 使用する ※ 使用しない
溶接金網 ※ あり ○ なし
コンクリート版の厚さの試験 ・ 行う ※ 行わない

12. カラー舗装

種類		部位	厚さ(mm)
加熱系	※ アスファルト混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	図示による
	・ 石油樹脂系混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	
常温系	・ 樹脂系混合物	・ 車道部 ・ 歩道部	5～10
	・ ニート工法	・ 車道部 ・ 歩道部	3～5
	・ 塗布工法	・ 車道部 ・ 歩道部	1程度以下

着色骨材・自然石（ ）

13. ブロック系舗装　・ コンクリート平板舗装 ※ 砂目地 ・ モルタル目地
・ インターロッキングブロック舗装
・ 舗石舗装 基層 ※ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装

14. 砂利敷き　・ A種 ※ B種 ・

15. 区画線　※ JISK5665 3種1号
・

23 植栽工事

1. 植栽地の確認等　透水性及び土壌硬度の確認 ※ 行う ・ 行わない
塩分量及び土壌の酸度の試験 ・ 行う ※ 行わない

2. 植栽基盤　・ 適用する ※ 適用しない

種別	樹種等	植栽基盤の適用
・ A種	樹木	・ 適用する ※ 適用しない
・ B種	芝，地被類木	※ 適用する ・ 適用しない
・ C種		
・ D種		

3. 植込み用土　※ 現場発生の良質土 ・ 客土

4. 土壌改良材　※ 適用する ・ 適用しない
土壌改良材は，植栽を行う植込等の面積1㎡当たり，パーク堆肥の場合は50リットル，発酵下水汚泥コンポストの場合は10リットルとする。

5. 芝　種別 ※ こうらい芝の類 ・ 野芝の類

6. 屋上緑化

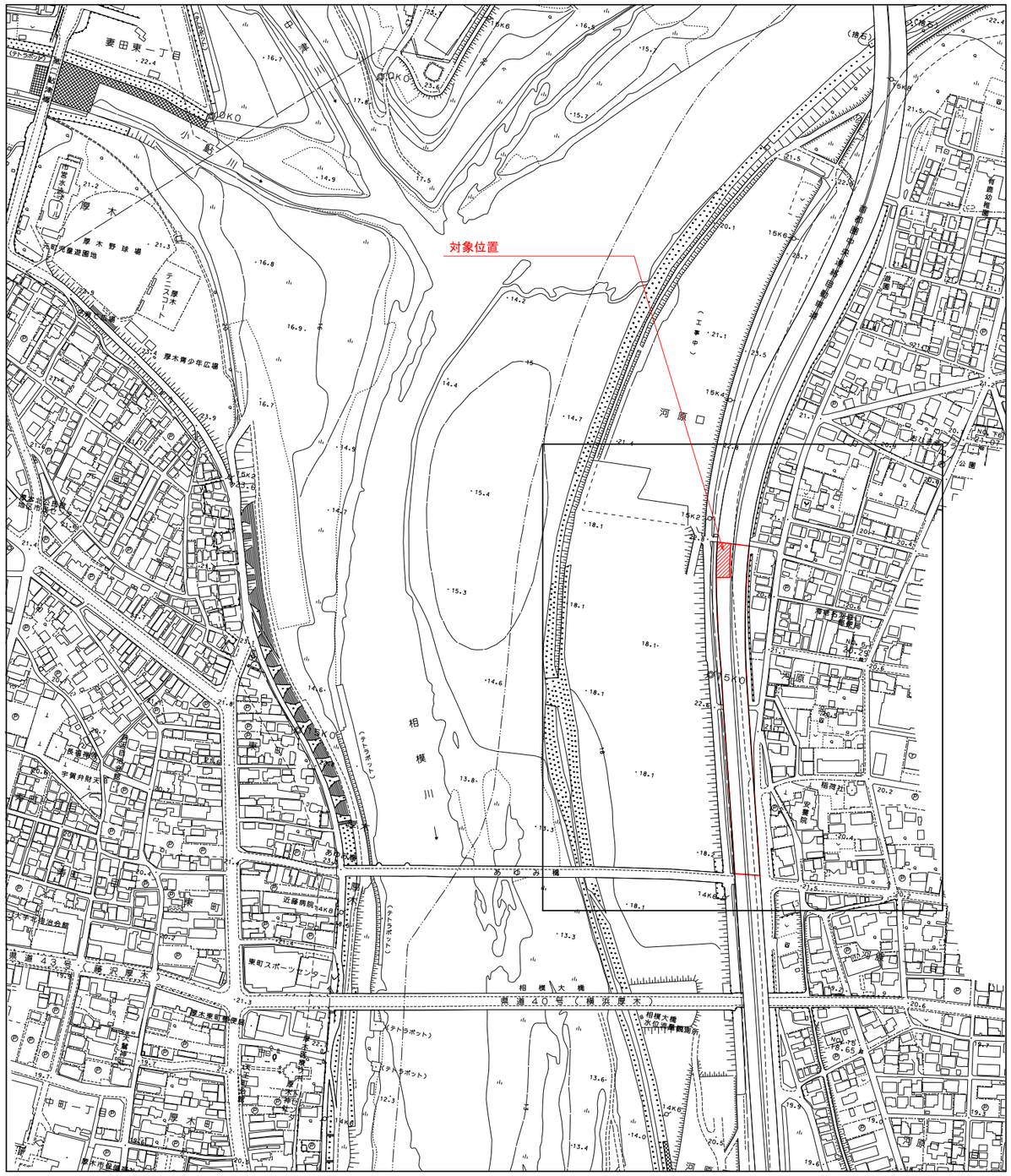
工法	土壌層厚さ	保水・排水層
・ 屋上緑化システム	・ 6cm ・ 12cm ・ 30cm	・ 適用する 材質（・ 軽量骨材 ・ 板状成形品） ・ 適用しない
・ 屋上緑化軽量システム	※ システム製作所の仕様による	

海老名市 Ebina City

図面名称	特記仕様書(4)
縮尺	N/S
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	A-4

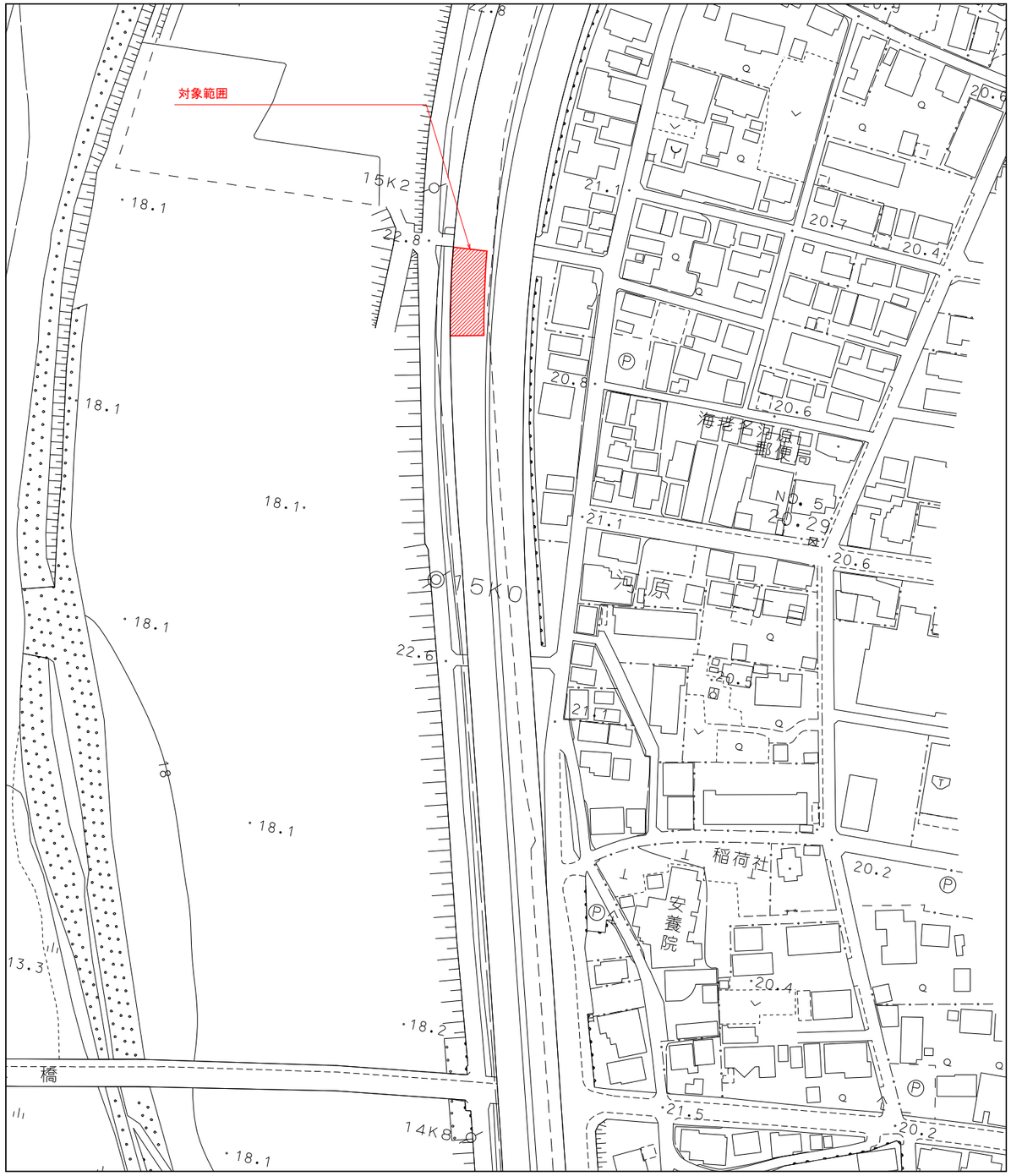
位　置　図

S=1/2500(5000)



区　域　図

S=1/1000(2000)

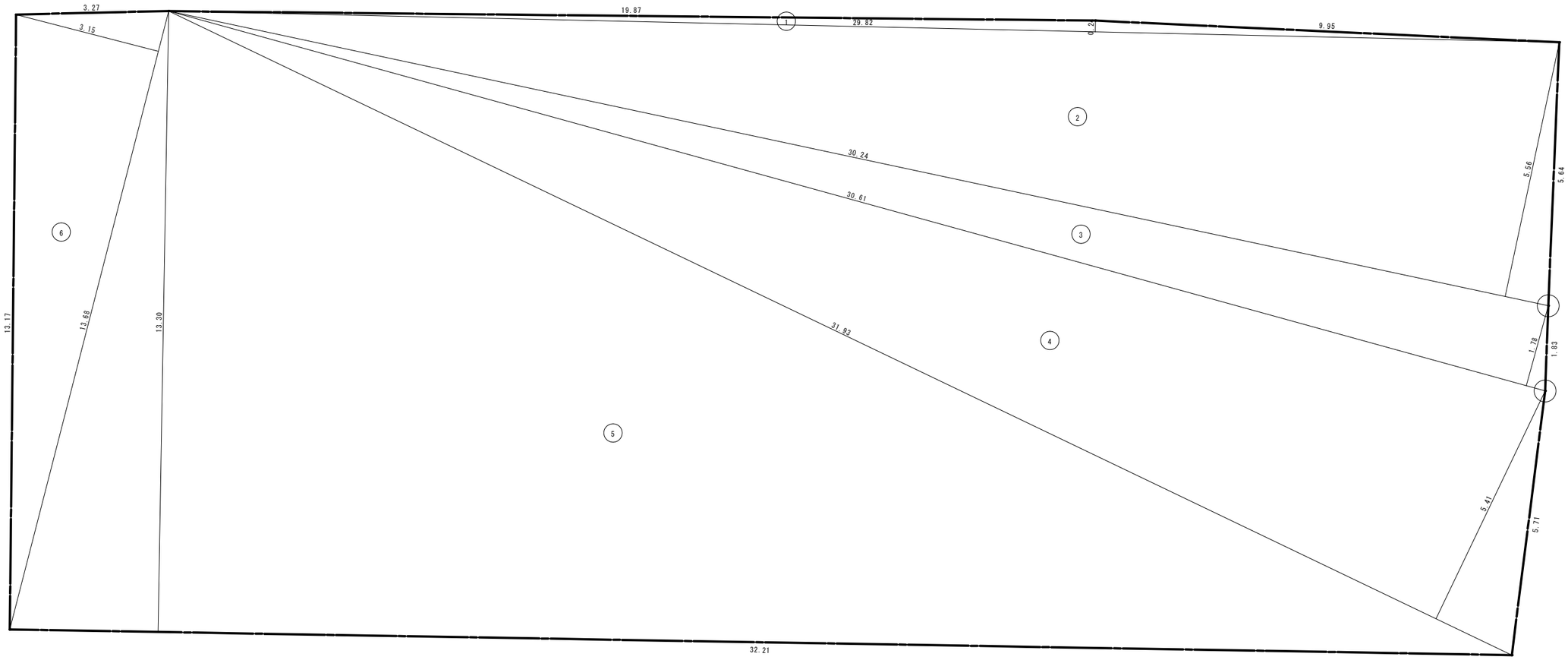


工事場所：海老名市河原口字中河原272-1ほか

海老名市
Ebina City

図面名称	位置図・区域図	図面番号	A-5
縮尺	図示		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		

敷地求積図・求積表



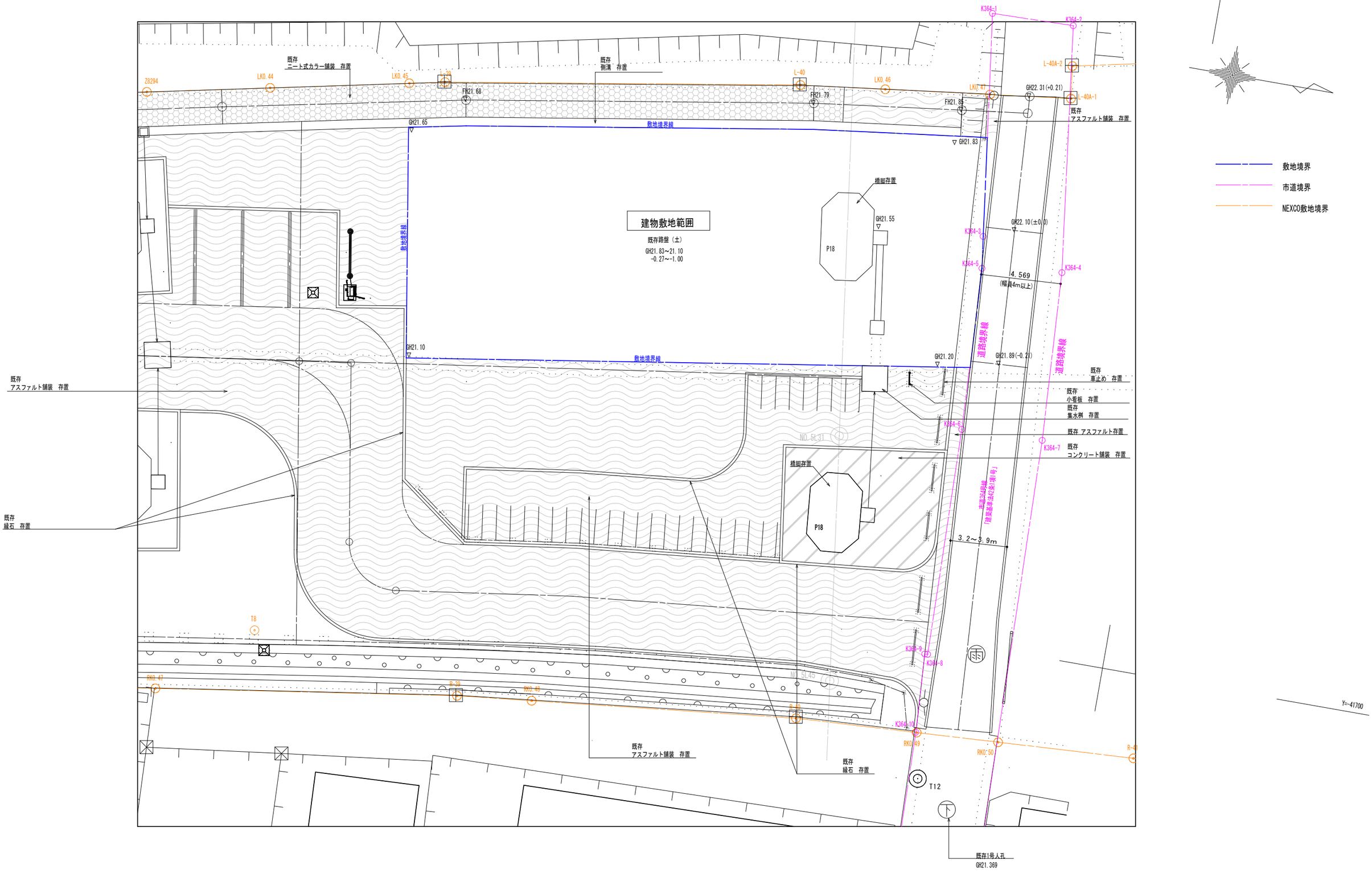
NO	底辺	高さ	倍面積
1	29.82	0.24	7.1568
2	30.24	5.56	168.1344
3	30.61	1.78	54.4858
4	31.93	5.41	172.7413
5	32.21	13.30	428.3930
6	13.68	3.15	43.0920
		合計	874.0033
		1/2	437.00165
		面積	437.00 ㎡

設定敷地面積：437.00 M2

海老名市
Ebina City

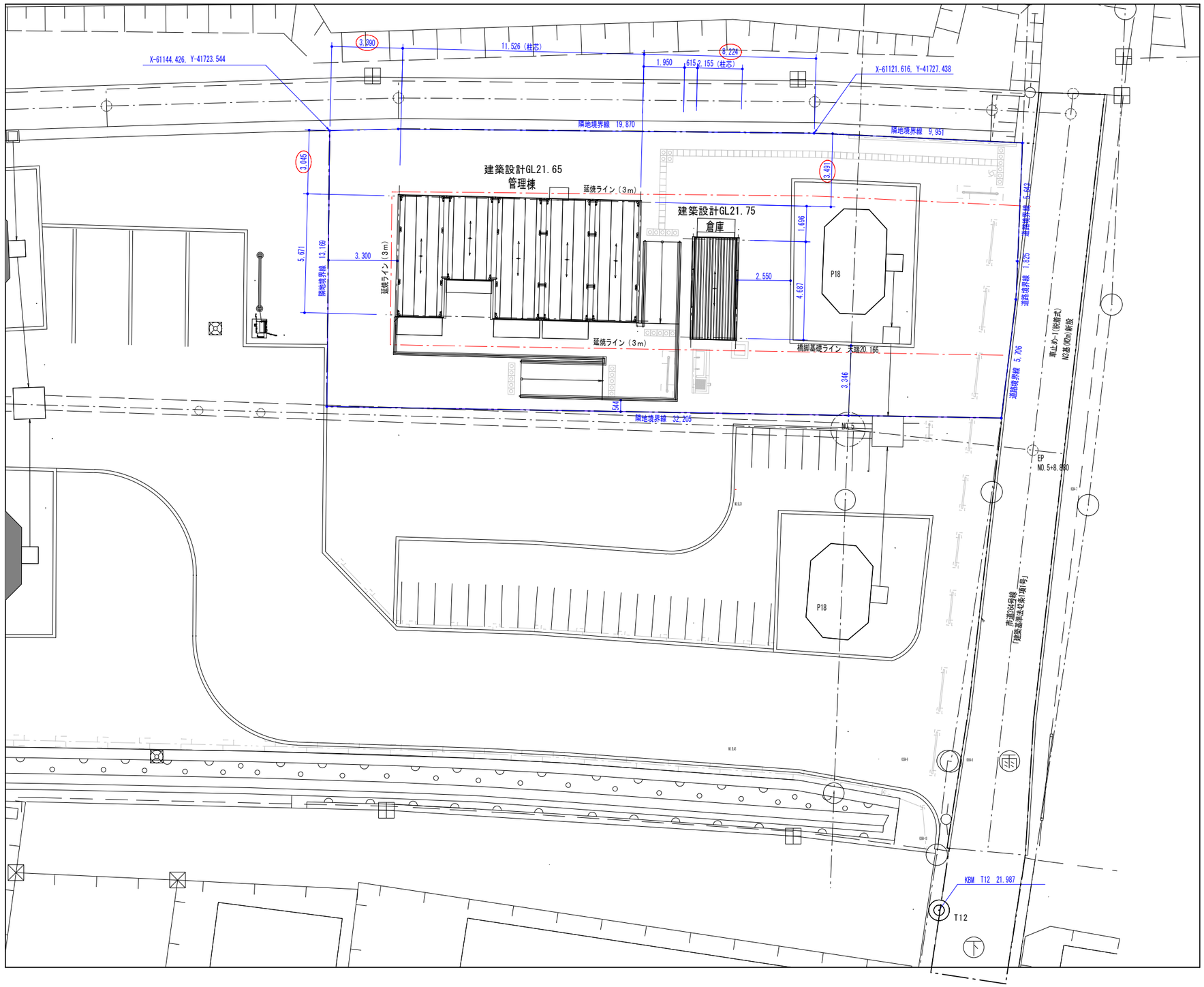
図面名称	求積図	図面番号 A-6
縮尺	A1:1/50　A3:1/100	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

現況平面図



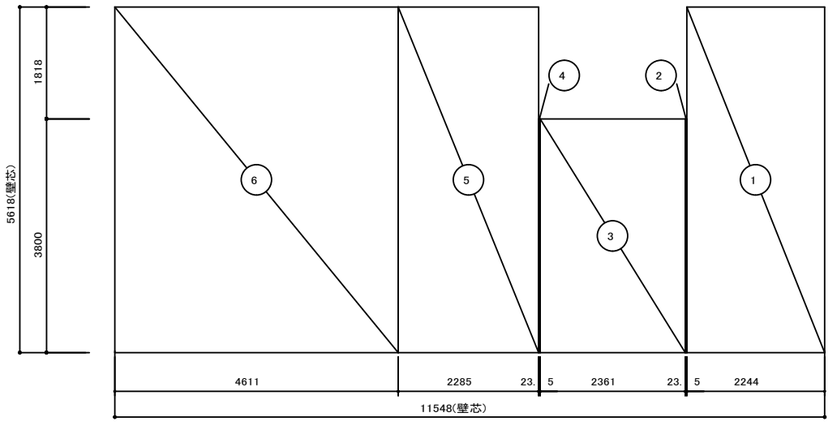
海老名市 Ebina City	図面名称	現況平面図	図面番号 A-7
	縮尺	A1:1/100　A3:1/200	
	件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

配置図



配置基準寸法

海老名市 Ebina City	図面名称 配置図 / 縮尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 A-8
	件名 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	



面積表				
1階	【1】女子ﾄｲﾚ	① 5.618000 × 2.244000	＝ 12.60679	㎡
		② 3.800000 × 0.023500	＝ 0.089300	㎡
		①+② 12.60679+0.089300	＝ 12.69609	㎡
	【2】多目的ﾄｲﾚ	③ 3.800000 × 2.361000	＝ 8.971800	㎡
	【3】男子ﾄｲﾚ	④ 3.800000 × 0.023500	＝ 0.089300	㎡
		⑤ 5.618000 × 2.285000	＝ 12.83713	㎡
		④+⑤ 0.089300+12.83713	＝ 12.92643	㎡
	【4】事務室	⑥ 5.618000 × 4.611000	＝ 25.904598	㎡
建築面積		3.800000 × 9.304000		
		＋ 5.618000 × 2.244000		
		＋ 1.818000 × 6.896000	＝ 60.498920	㎡
			60.49	㎡
1階床面積		【1】+【2】+【3】+【4】	＝ 60.498918	㎡
			60.49	㎡
延べ面積			60.49	㎡

採光検討								
1階	事務室	【4】					25.90	㎡
	必要面積	25.90	／	20			＝ 1.29	㎡
	AW1(ﾙｰﾊﾞｰ付)	1.620	× 1.259	× 0.5	×	2	＝ 2.040	
	有効面積合計						14.96	㎡
	判定						OK	

換気検討								
1階	事務室	【4】					25.90	㎡
	必要面積	25.90	／	20			＝ 1.29	㎡
	AW1(ﾙｰﾊﾞｰ付)	0.755	× 1.259	× 0.5	×	2	0.951	
	AD1	0.710	× 1.893		×	1	≡ 1.344	
	有効面積合計						3.51	㎡
	判定						OK	

排煙検討								
1階	事務室	【4】					25.90	㎡
	必要面積	25.90	／	50			＝ 0.51	㎡
	AW1(ﾙｰﾊﾞｰ付)	0.755	× 0.507	× 0.5	×	2	＝ 0.383	
	AD1	0.710	× 0.219		×	1	0.155	
	AD2	0.677	× 0.146		×	1	＝ 0.098	
	有効面積合計						0.63	㎡
	判定						OK	

シックハウス必要換気量の検討								
	室名	床面積 (㎡)	天井高 (m)	室容積 (m3)	有効換気量 (50Hz) 換気扇20cm (m3/h)	換気回数 (回/h)	必要換気回数 (回/h)	判定
1階	事務室	25.90	2.51	65.01	338 × 1	5.20	0.3	OK

海老名市
Ebina City

図面名称	求積図・法規チェック【管理棟】
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
図面番号	A-09
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

ユニットハウス基本性能

耐風圧　　基準風速　V＝38m/s

耐積雪量　　垂直積雪量70CM(一般地域)

層間変形角　1/120

防水性能　　水密試験社内基準等級W-3

下記社内試験に合格したものとする。

鉛直面	散水量 継続時間	240mml/h 10分
水平面	散水量 継続時間 風速	160mml/h 10分 19m/s(風圧:220Pa)

部位毎の基本仕様

・軒樋
　材質:合金化メッキ鋼板製t1.6+塗装
　　想定降雨強度　180mm/hr
　　排水断面積　0.0027m2
　　有効周長　0.165m
　　排水量　0.00026m3/s

・竪樋
　材質:塩ビパイプ
　　直径　55φ
　　排水断面積　0.001m2
　　排水量　0.0009m3/s

■　外部仕様

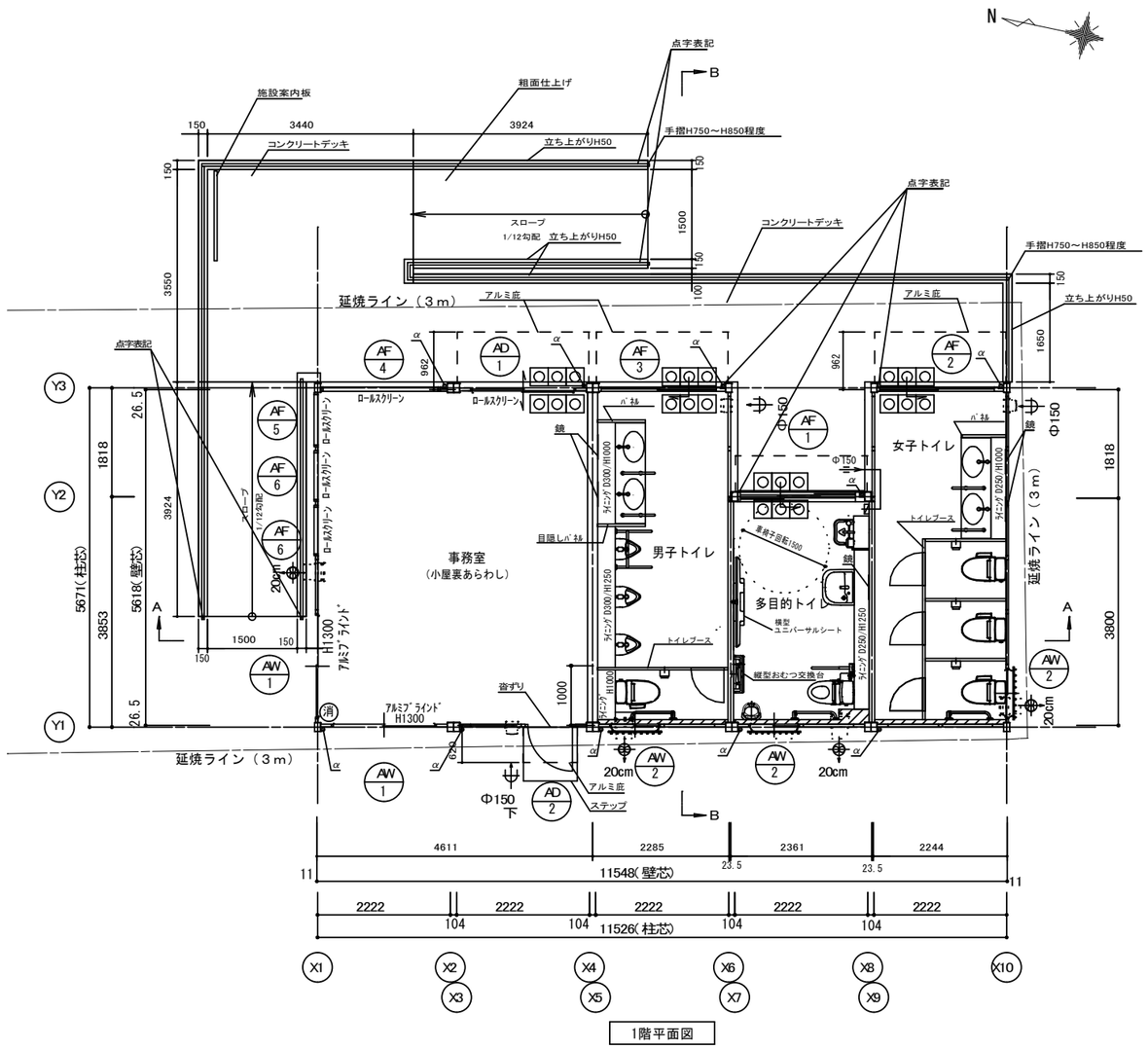
名称	仕様	色
屋根	仕上:ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板葺き t=0.5　(不燃NM-8697)	ｼﾙﾊﾞｰ N5.5
	断熱材:ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑ t=20	－
雨樋	軒樋:鋼板t=1.6+塗装	ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
	縦樋:ｶﾗｰ塩ﾋﾞ管	ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
庇	ｱﾙﾐ W2200×D850(AD2S)	ﾌﾞﾗｯｸ
	ｱﾙﾐ W2200×D600	ﾌﾞﾗｯｸ
	ｱﾙﾐ W800×D600	ﾌﾞﾗｯｸ
外壁(複合ﾊﾟﾈﾙ)	外部仕上:ｶﾗｰ鋼板t=0.5　(不燃NM-8697)	ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
	断熱材:ﾌｪﾉｰﾙﾌｫｰﾑt=40	
	内部仕上:ｶﾗｰ鋼板t=0.5　(不燃NM-8697)	ｵﾌﾎﾜｲﾄ 5Y9/0.5
板金金物	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ:鋼板t=1.2+塗装 土台ｶﾊﾞｰ:鋼板t=1.2+塗装	ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
塗装	鉄部見え掛かり:錆止め 一液型ｴﾎﾟｷｼ樹脂下塗り塗装	
外部建具	ｱﾙﾐｻｯｼ ｶﾞﾗｽﾊﾟﾈﾙ:ｽﾁｰﾙｻｯｼ	ﾌﾞﾗｯｸ
縦ルーバー	人工木材	ﾌﾞﾗｳﾝ 5YR3/3
面格子	ｱﾙﾐ 縦格子	ｼﾙﾊﾞｰ N5.5

■　内部仕様

階数	室名	床			巾木		外周壁	間仕切壁			廻り縁		天井		
		下地	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ	仕上/寸法/色	下地	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ	下地	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ
1階	男子ﾄｲﾚ	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t=18 ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=40 捨貼り合板t=5.5	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(防滑性) t=2.5		ｿﾌﾄ巾木 H=60		ｶﾗｰ鋼板 t=0.5 ｵﾌﾎﾜｲﾄ	LGS65 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5	化粧ｹｲｶﾙ板t6 －		塩ﾋﾞ見切 － ﾎﾜｲﾄ		LGS25	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5 ﾎﾜｲﾄ	ｼﾞﾌﾄｰﾝ 吉野石膏
	女子ﾄｲﾚ	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t=18 ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=40 捨貼り合板t=5.5	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(防滑性) t=2.5		ｿﾌﾄ巾木 H=60		ｶﾗｰ鋼板 t=0.5 ｵﾌﾎﾜｲﾄ	LGS65 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5	化粧ｹｲｶﾙ板t6 －		塩ﾋﾞ見切 － ﾎﾜｲﾄ		LGS25	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5 ﾎﾜｲﾄ	ｼﾞﾌﾄｰﾝ 吉野石膏
	多目的ﾄｲﾚ	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t=18 ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=40 捨貼り合板t=5.5	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ(防滑性) t=2.5		ｿﾌﾄ巾木 H=60		ｶﾗｰ鋼板 t=0.5 ｵﾌﾎﾜｲﾄ	LGS65 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5	化粧ｹｲｶﾙ板t6 －		塩ﾋﾞ見切 － ﾎﾜｲﾄ		LGS25	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ t=9.5 ﾎﾜｲﾄ	ｼﾞﾌﾄｰﾝ 吉野石膏
	事務室	硬質木片ｾﾒﾝﾄ板t=18 ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=40 捨貼り合板t=5.5	ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ(木目調) t=3.0		ｿﾌﾄ巾木 H=60		ｶﾗｰ鋼板 t=0.5 ｵﾌﾎﾜｲﾄ	LGS65×2 石膏ﾎﾞｰﾄﾞt12.5	化粧ｹｲｶﾙ板t6 －		塩ﾋﾞ見切 － ﾎﾜｲﾄ		－	ｶﾗｰ鋼板 t=0.5 ﾌﾞﾗｯｸ	
備考	<ｼｯｸﾊｳｽ対策> ・壁、床、天井、建具仕上げに用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。 ・天井裏などへの措置については、天井裏、床裏、壁、収納に用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。														

海老名市
Ebina City

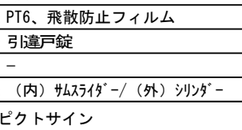
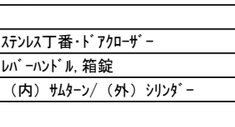
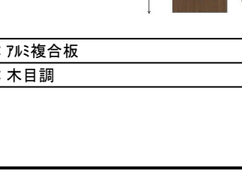
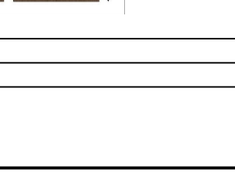
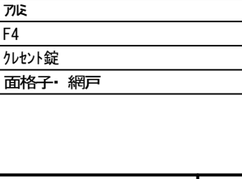
図面名称	仕様表【管理棟】	図面番号	A-10
縮尺	N/S		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		



1階平面図

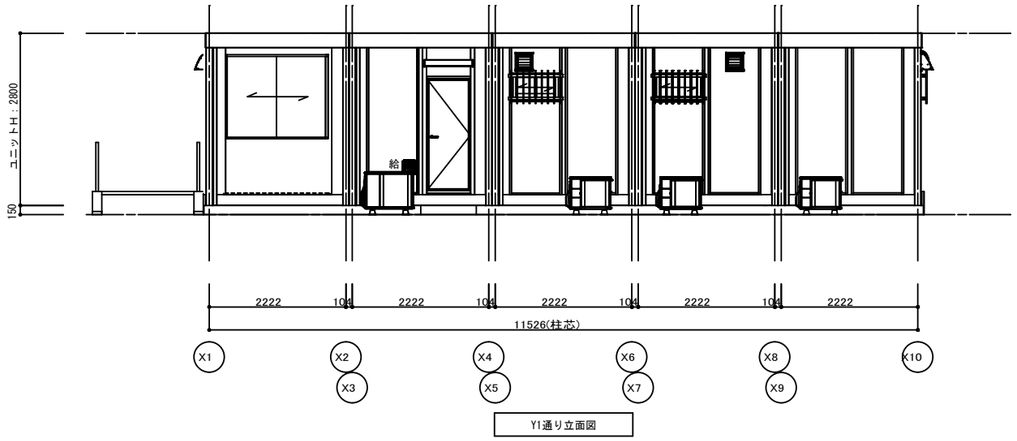
■ 凡例

記号	名称		
20cm	20cm換気扇 壁ｽｲｯﾁ	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾌｰﾄﾞ	防虫網付
Φ150	Φ150給気口	超薄型ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾞｲﾌﾞﾌｰﾄﾞ	防虫網付
α	竪樋塩ビ55Φ		
消	消火器		
その他	出入口上部に避難誘導プレート設置		

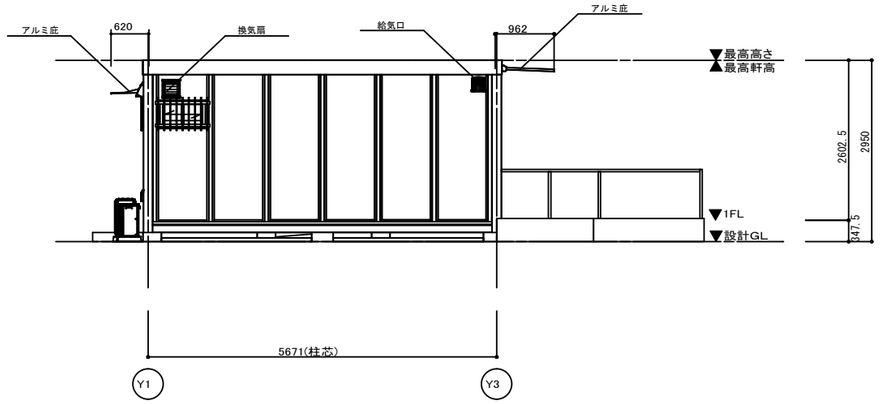
AF 1 半自動ドアWスライド(妻)S	AF 2 半自動ドアフロント(妻)S	AF 3 半自動ドアフロント(妻)S
面材: ブラック	面材：ブラック	面材: ブラック
		
材質:ｱﾙﾐ 面材:ｱﾙﾐ複合板	材質:ｱﾙﾐ 面材:ｱﾙﾐ複合板	材質:ｱﾙﾐ 面材:ｱﾙﾐ複合板
金物:押し棒	金物:押し棒	金物:押し棒
屋外ｽﾛｰﾌﾟ(L(YCRD360))	屋外ｽﾛｰﾌﾟ(L(YCRD360))	屋外ｽﾛｰﾌﾟ(L(YCRD360))
自動ﾄﾞｱ錠(外 ｼﾘﾝﾀﾞｰ/内 ｻﾑﾀｰﾝ)	自動ﾄﾞｱ錠(外 ｼﾘﾝﾀﾞｰ/内 ｻﾑﾀｰﾝ)	自動ﾄﾞｱ錠(外 ｼﾘﾝﾀﾞｰ/内 ｻﾑﾀｰﾝ)
備考:ROW=2005/ROH=2333 見込160	備考:ROW=2005/ROH=2380	備考:ROW=2005/ROH=2380
AF 4 FIXフロント(妻)S	AF 5 FIXフロント(P1枚)S	AF 6 FIXフロント(P1枚)S
強化ガラス	強化ガラス	強化ガラス
		
材質:ｱﾙﾐ	材質:ｱﾙﾐ	材質:ｱﾙﾐ
ｶﾞﾗｽ:PT8、飛散防止フィルム	ｶﾞﾗｽ:PT8、飛散防止フィルム	ｶﾞﾗｽ:PT8、飛散防止フィルム
金物:	金物:	金物:
備考:ROW=2005/ROH=2380	備考:ROW=914/ROH=2380	備考:ROW=852/ROH=2380
AD 1 引戸(ビル用)S	AD 2 片開きフラッシュドア(ビル用)S	AW 1 引違窓(H1300)(ビル用)S
強化ガラス		
材質:ｱﾙﾐ	材質:ｱﾙﾐ	材質:ｱﾙﾐ
ｶﾞﾗｽ PT6、飛散防止フィルム	ｶﾞﾗｽ	ｶﾞﾗｽ FL5
金物 引違戸錠	金物 ｽﾃﾝﾚｽ丁番・ﾄﾞｱｸﾛｰｻﾞｰ	金物 ｸﾚｾﾝﾄ錠
－	ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ,箱錠	
備考: （内）ｻﾑﾀｰﾝ/（外）ｼﾘﾝﾀﾞｰ	備考: （内）ｻﾑﾀｰﾝ/（外）ｼﾘﾝﾀﾞｰ	備考: 網戸
ピクトサイン		AW 2 小窓(上段用)(ビル用)S
材質:ｱﾙﾐ複合板		材質:ｱﾙﾐ
備考:木目調		ｶﾞﾗｽ F4
		金物 ｸﾚｾﾝﾄ錠
		備考: 面格子・網戸

海老名市
Ebina City

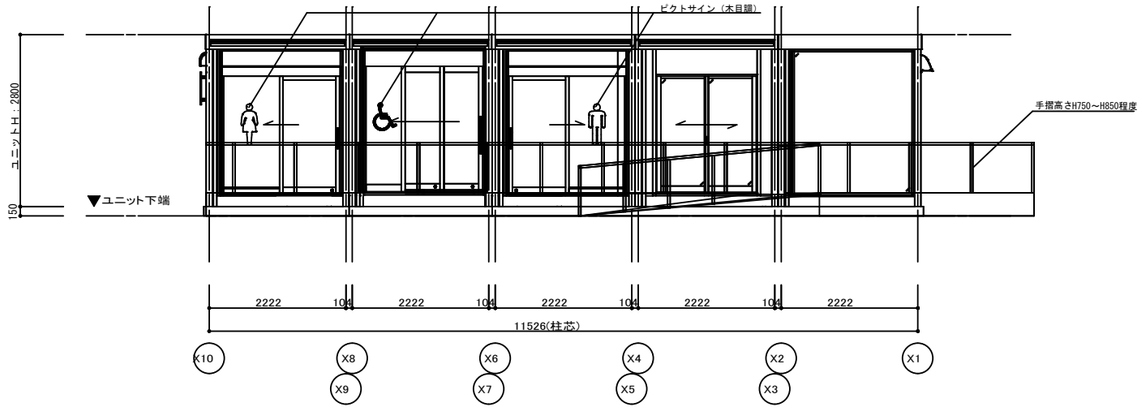
図面名称	平面図・建具表【管理棟】	図面番号	A-11
縮尺	A1:1/50 A3:1/100		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		



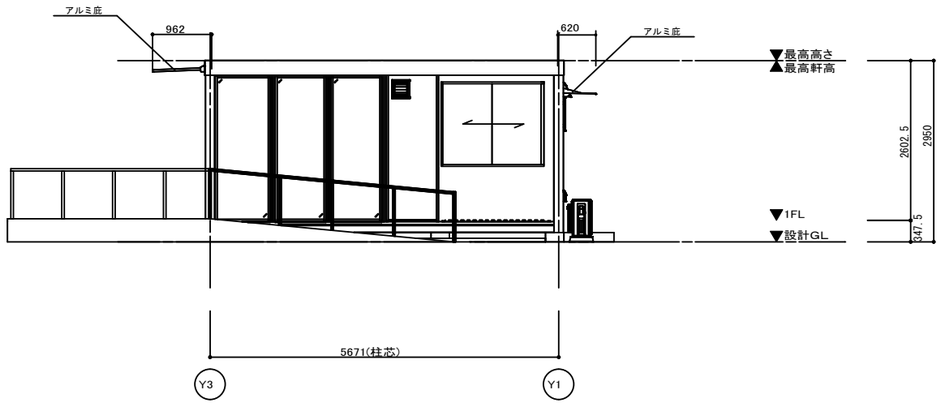
Y1通り立面図



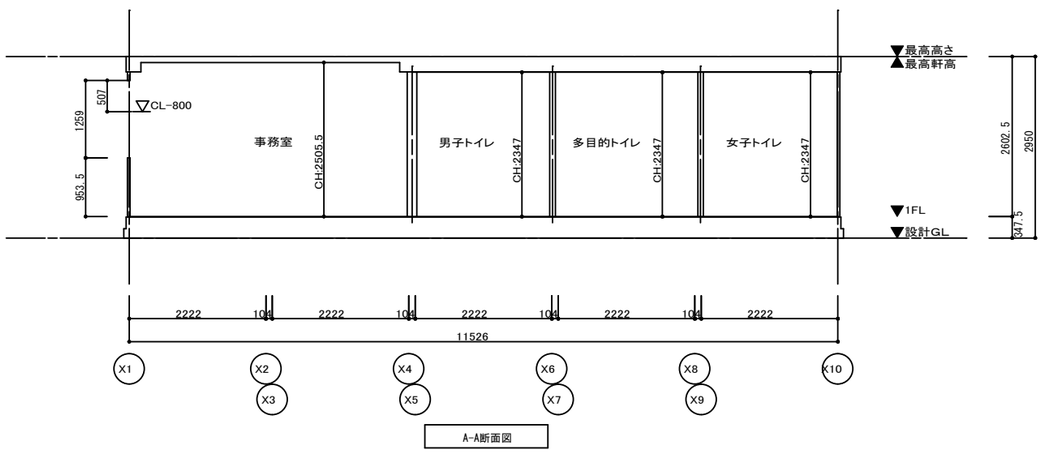
X10通り立面図



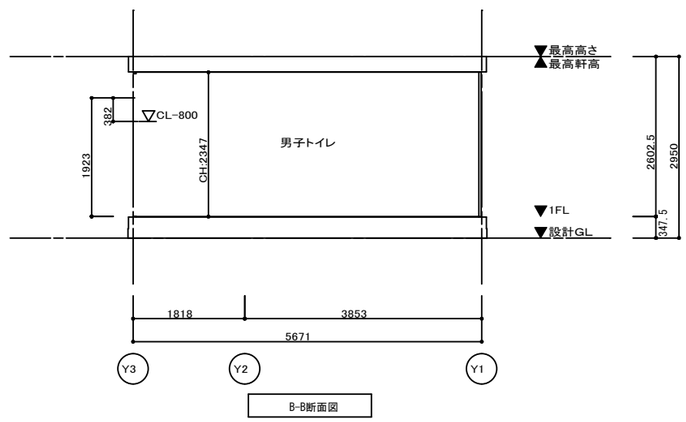
Y3通り立面図



X1通り立面図



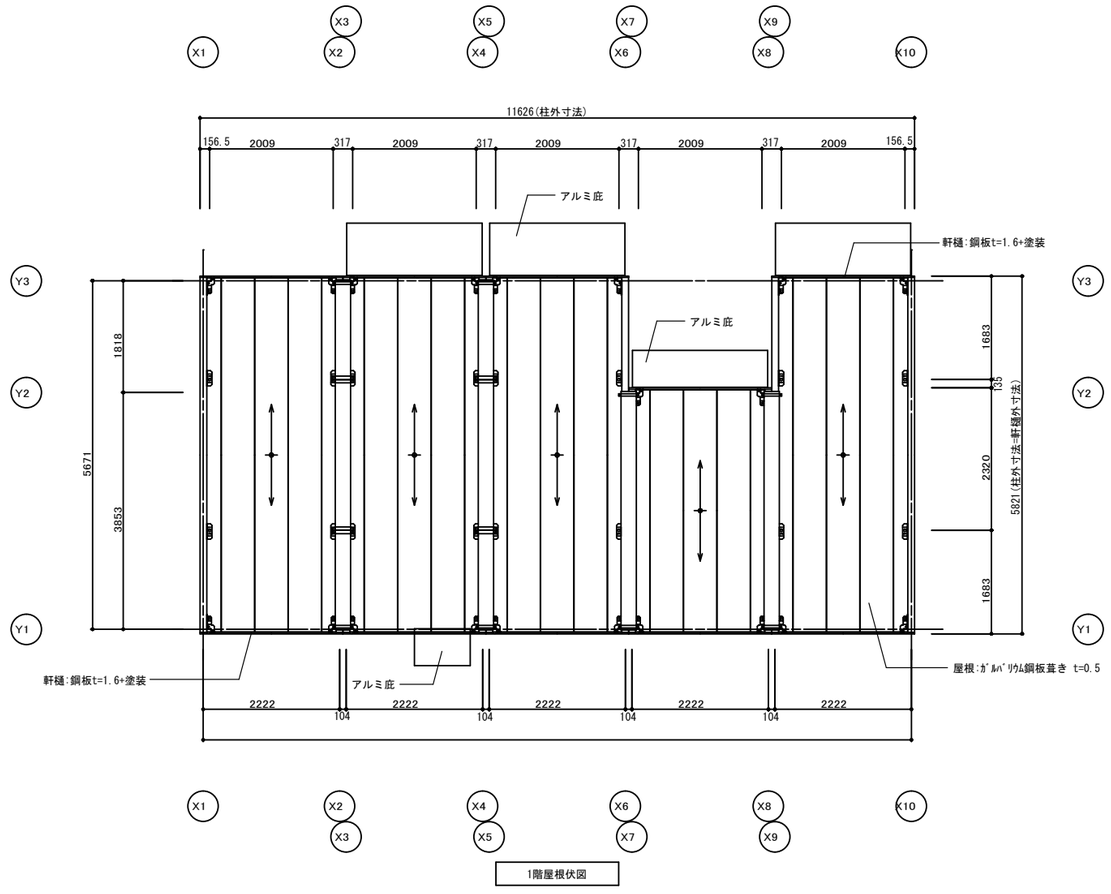
A-A断面図



B-B断面図

海老名市
Ebina City

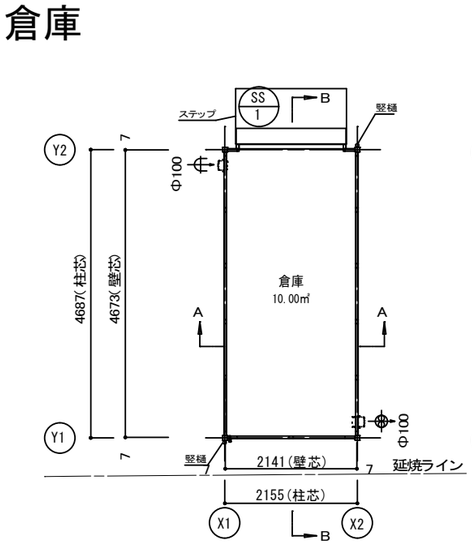
図面名称	立面図・断面図【管理棟】	図面番号 A-12
縮尺	A1:1/50　A3:1/100	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	



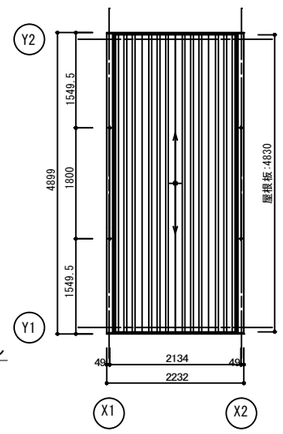
1階屋根伏図

海老名市 Ebina City	図面名称	屋根伏図【管理棟】	図面番号 A-13
	縮尺	A1:1/50　A3:1/100	
	件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

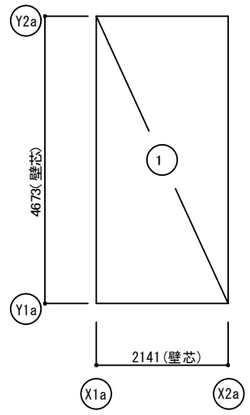
倉庫



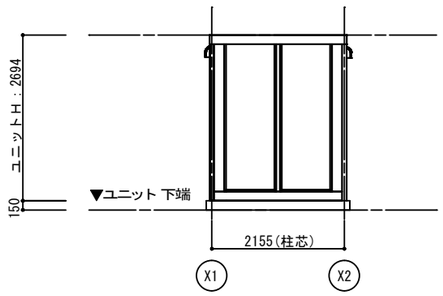
1階平面図



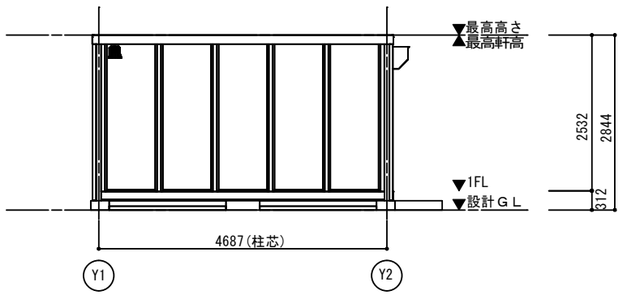
1階屋根伏図



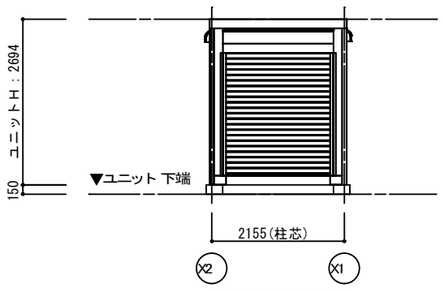
1階求積図



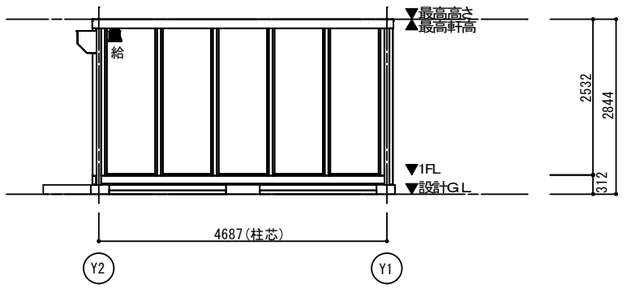
Y1通り立面図



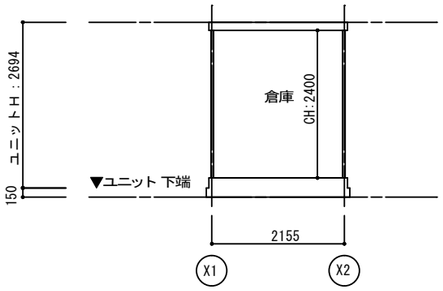
X2通り立面図



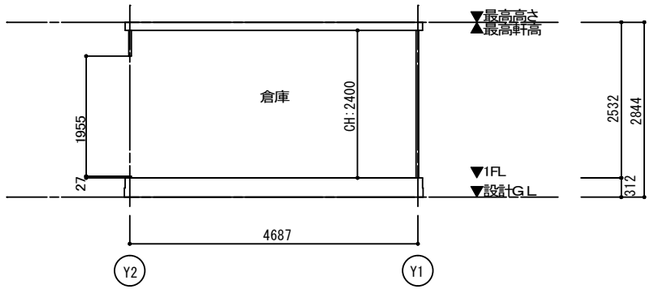
Y2通り 立面図



X1通り 立面図



A-A断面図



B-B断面図

ユニットハウス基本性能

耐風圧　基準風速 V＝38m/s

耐積雪量　垂直積雪量70CM(一般地域)

層間変形角　1/120

防水性能　水密試験社内基準等級W-3

下記社内試験に合格したものとする。

鉛直面	散水量 継続時間	240mm/h 10分
水平面	散水量 継続時間 風速	160mm/h 10分 19m/s(風圧:220Pa)

部位毎の基本仕様

・軒樋
材質:合金化メッキ鋼板製t1.6+塗装
想定降雨強度 180mm/hr
排水断面積 0.0027m2
有効周長 0.165m
排水量 0.00026m3/s

・竪樋
材質:塩ビパイプ
直径 55φ
排水断面積 0.001m2
排水量 0.0009m3/s

面積表

1階	【1】倉庫	4.673000 × 2.141000	＝ 10.004893	㎡
	建築面積	4.673000 × 2.141000	＝ 10.004893	㎡
			10.00	㎡
	1階床面積	4.673000 × 2.141000	＝ 10.004893	㎡
			10.00	㎡
	延べ面積		10.00	㎡

■ 外部仕様

名称	仕様		色
屋根	仕上:ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板葺き t=0.5	(不燃NM-8697)	ｼﾙﾊﾞｰ N5.5
	断熱材:ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t=30		–
雨樋	軒樋:鋼製樋		ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
	縦樋:なし		
外壁(複合ﾊﾟﾈﾙ)	外部仕上:カラー鋼板t=0.27	(不燃NM-8697)	ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
	断熱材:ｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑt=40		
	内部仕上:カラー鋼板t=0.27	(不燃NM-8697)	オフホワイト 5Y9/0.5
板金金物	ﾊﾗﾍﾟｯﾄ:鋼製ｶﾊﾞｰ		ﾌﾞﾙｰ 9.1B2.8/1.6
塗装	鉄部見え掛かり:錆止め 一液型ｴﾎﾟｷｼ樹脂下塗り塗装		

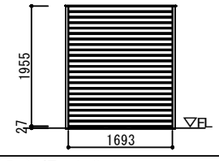
■ 内部仕様

階数	室名	床			外周壁	天井		
		下地	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ	仕上/寸法/色	下地	仕上/寸法/色	品名/品番/ﾒｰｶｰ
1階	倉庫	構造用合板t=12 捨貼り合板t=5.5	長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ t=2.0 –	– – –	カラー鋼板 t=0.27 オフホワイト	木下地22mm	化粧合板 t=4.0	
	備考	<ｼｯｸﾊｳｽ対策> ・壁、床、天井、建具仕上げに用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。 ・天井裏などへの措置については、天井裏、床裏、壁、収納に用いる建築材料はすべてF☆☆☆☆、または規制対象外の材料を使用する。						

■ 換気給気設備　凡例

記号	名称		
Φ100	Φ100換気扇	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ	防虫網付
Φ100	Φ100給気口	ｽﾃﾝﾚｽ製ﾊﾟｲﾌﾟﾌｰﾄﾞ	防虫網付

SS 1　外付けシャッターS（手動）

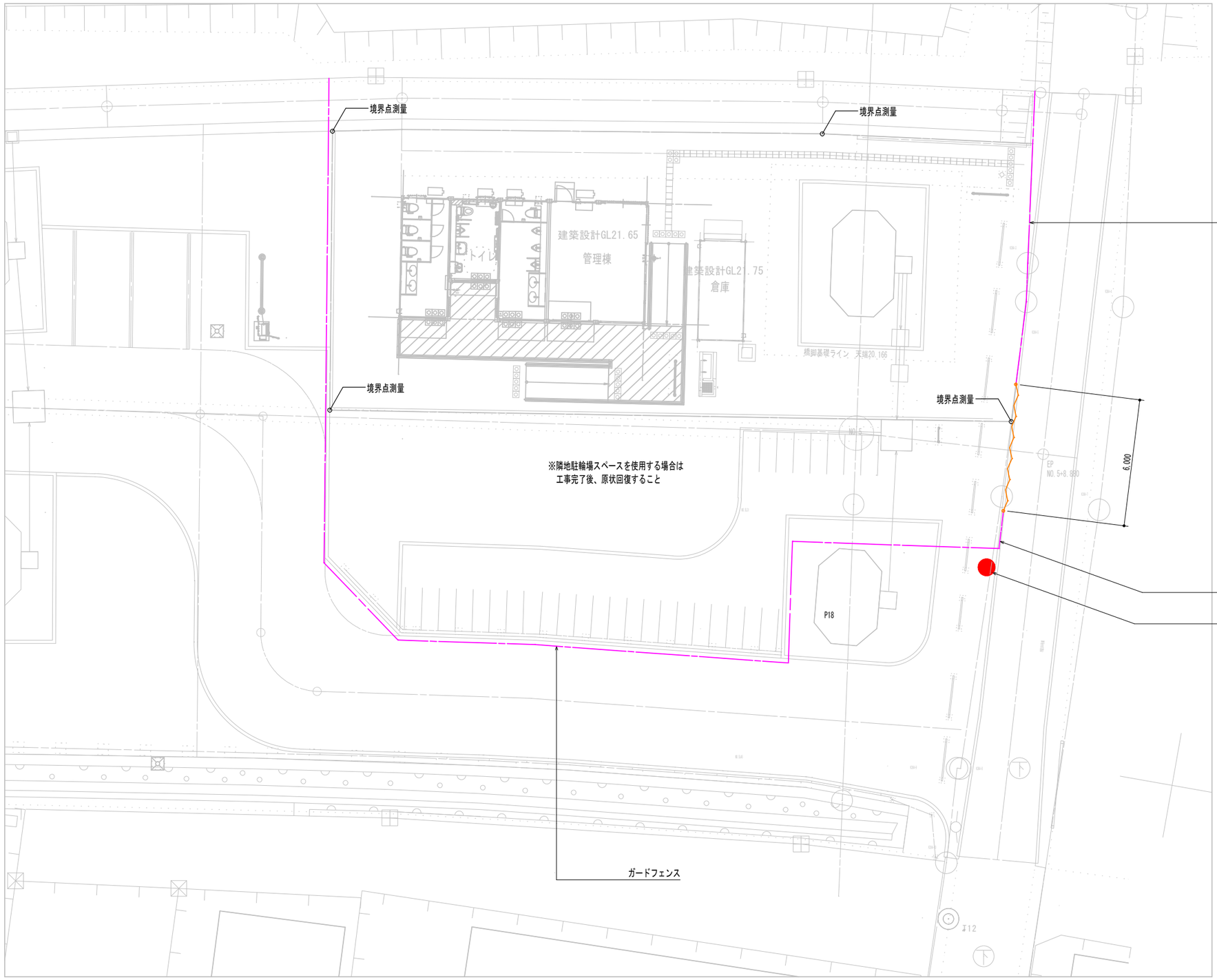


材質:カラー鋼板　t=0.4
色:ﾅｲﾄﾌﾞﾗｯｸ
金物:ｼｬｯﾀｰ錠
備考:ﾊﾟﾈﾙ受け有り

海老名市
Ebina City

図面名称	仕様表・平面図・立面図・断面図・建具表・求積図【倉庫】	図面番号	A-14
縮尺	A1:1/50　A3:1/100		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		

仮設平面図（参考）



凡　例	名　　称	形状・寸法
	仮設工	
	仮囲い	万能鋼板
	仮囲い	B型バリケード
	入口ゲート	アルミキャスターゲート
	交通誘導員	

海老名市
Ebina City

図面名称	仮設平面図（参考）
縮尺	A1:1/100　A3:1/200
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）
図面番号	A-15

構造設計標準仕様

1 建物概要

1) 建築場所　神奈川県海老名市河原口字宿２７２－1他
2) 工事種別　新築　増築予定　無
3) 構造種別　鉄骨造（ラーメン構造）
4) 主要用途　倉庫
5) 階数　地下　－　階　地上　1　階　塔屋　－　階
6) 最高高さ　設計GL＋　2.844 m
7) 最高軒高　設計GL＋　2.844 m
8) 柱脚　露出柱脚（上部架構と基礎の取り合いはピン接合）

2 使用構造材料

1) コンクリート

部位	種類	設計基準強度 N/mm²	品質基準強度 N/mm²	所要スランプ cm	備考
基礎	普通	18	18	18	
捨てコンクリート	普通	18	18	18	

2) コンクリートブロック（CB）
□A種　□B種　□C種　厚　□100　□120　□150
3) 異形鉄筋　材質：SD295A　径：D10～D16　使用箇所：基礎
重ね継ぎ手とする。
4) 鉄骨

使用箇所	材質		接合
柱（角形鋼管）	STKR400	（JIS G 3466）	溶接
大梁	SGH400	（JIS G 3302）	溶接・ボルト
小梁	SSC400	（JIS G 3350）	溶接
	SGH400	（JIS G 3302）	溶接
ダイアフラム	SGH400	（JIS G 3302）	溶接
ガセットプレート	SS400	（JIS G 3101）	溶接
	SGH400	（JIS G 3302）	溶接

※大梁の計算は安全側に材料強度235N/mm²を採用する。

5) ボルト

種類	材質	備考
ボルト	中ボルト（強度区分4.8）	令第67条により主要構造部に中ボルトを用いる。
アンカーボルト	SS400（二重ナット締め）	-

6) 屋根・床・壁
屋根：　カラー鋼板
床板：　構造用合板2級
外壁・内壁：　カラー鋼板

3 地盤および土工事

1) 地盤の長期許容支持力：　30　kN/m²
2) 基礎形式：　直接基礎
3) 基礎下端：　GL－　0.12　m
4) 土質：　砂質土
5) 地盤改良：　なし
6) 埋戻し及び盛土　適用場所：　基礎外周部
厚さ300mm程度毎にランマー等で転圧する。
7) 地業は、捨てコンクリート50mm砂利（再生砕石）100mmを標準とする。
8) 砂利はランマー、ソイルコンパクターなどにより掘削底面を乱さない様突き固める。
9) 地業工事の内容は、地盤並びに施工方法等の状況により変更することができる。
但し、変更する場合は、監理者の承認を得ること。
10) GL－　0.12　mの深さで床付け面の確認を行う。結果によっては、設計変更することがある。

4 荷重

1) 積載荷重

部屋・場所	床・小梁用 N/m²	柱・梁用 N/m²	地震用 N/m²	備考
屋根	－	－	－	非歩行部
倉庫	2,900	1,800	800	事務所相当

2) 地震荷重
地域係数　Z=　1.0　※　振動特性係数　Rt=　1.0
一次固有周期　T=　0.093　秒　標準せん断力係数Co=　0.3
地盤種別　第二種地盤　Tc=0.6秒
3) 積雪荷重
単位荷重　20　N/m²・cm　垂直積雪量　50　cm　※
4) 風荷重
地表面粗度区分　Ⅲ　風速　Vo=　38　m/sec　※
5) その他荷重　なし
6) 備考
※地域によっては上記よりも基準が小さくなる場合もあるが安全側の設計とする。
※本項の適用範囲は構造解析を行う本体ユニットの主架構部分のみとし、それ以外の部分は実況に応じて設計する。

5 鉄筋コンクリート工事

1) コンクリートはJIS A 5308 レディーミクストコンクリートとする。
2) 建物の計画供用期間の級は「短期」とし、構造体の耐久性設計基準強度（JASS 5）は18N/mm2とする。
3) 骨材は、アルカリシリカ反応を生じるおそれのないものを使用する。
4) 水セメント比の最大値は65%とする。
5) 単位セメント量の最小値は270kg/m³とする。
6) 単位水量の最大値は185kg/m³とする。
7) 粗骨材の最大寸法は、砕石20mm、砂利25mmとする。
8) コンクリートに含まれる塩化物量は塩素イオン量で0.3kg/m3以下とする。やむを得ずこれを超える場合は、鉄筋防錆上有効な対策を講じるものとしその方法は特記による。
9) コンクリートの検査

試験項目	備考
圧縮強度	打設工区・打込日ごと、かつ150m3またはその端数ごとに1回。 供試体は標準養生、現場水中養生又は現場封緘養生とする。
スランプ空気量	圧縮強度試験用供試体採取時、および打込み中に品質変化が認められた時
塩化物量	海砂など塩化物を含むおそれのある骨材を用いる場合、圧縮強度試験用供試体採取時
コンクリート温度	圧縮強度試験用供試体採取時、および打込み中に品質変化が認められた時
試験場所	第三者機関とする。

合格基準

標準養生	3個の供試体の圧縮強度の平均値が調合管理強度以上
現場水中養生	平均気温が20℃以上の場合は供試体の平均値が調合管理強度以上
	20℃未満の場合は平均値から3N/mmを減じた値が品質基準強度以上
現場封緘養生	材齢28日～91日以内のn日における供試体の平均値から3N/mm²を減じた値が品質基準強度以上

10) 鉄筋はJIS G 3112を使用のこと。施工はJASS5による。
11) 型枠は、合板12mmを標準とし、施工はJASS5による。
12) 型枠の存置期間
型枠の存置期間は構造体コンクリートの圧縮強度が5N/mm²以上に達したことが確認さるまでとする。ただし、せき板の取り外し後、湿潤養生をしない場合は10N/mm²まで存置するものとする。
また、下記に示す日数以上経過すれば圧縮強度を確認することなく取り外すことができるものとする。
普通ポルトランドセメント　存置期間の平均気温
15度以上で3日　5度～15℃で5日　5度未満　8日

6 鉄骨工事（工場）

1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による。
日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」
2) 鋼材はJIS規格品、JIS同等品または認定品とする。
3) SGH400鋼板を使用する場合の折り曲げ加工精度及び寸法許容差等は、JIS G 3350（一般構造用軽量形鋼）と同等とする。
4) 工場溶接に従事する溶接技能者は工事に相応した次に示す試験等による技量を有する者とする。
1.JIS Z3841のSA-2F以上の有資格者
2.アーク溶接の特別教育受講者で有資格者（SA-2F、WES2級）の指導、管理を受けたもの
5) 溶接部の検査

検査方法	検査率		備考
	社内（自社）	受入検査	
外観検査	100%		厚6mm以上の完全溶け込み溶接部を有さず、外観検査のみとする。

・検査の合否判定基準
（1）施工令第67条第2項に基づく建設省告示第1464号「鉄骨造の継ぎ手又は仕口の構造方法を定める件」による。
（2）上記以外の検査項目については、「鉄骨精度測定指針」による。
6) 鉄骨製作工場は自社工場で行う。
7) ボルトはJISまたは認定を取得したものとする。
8) 中ボルトは、原則として弛み防止の為二重ナット又はバネ座金を使用すること。
その他の弛み防止対策は構造設計者と協議の上可能とする。
9) 高力ボルトの穴径は、公称軸径+2.0mmとする。（公称軸径　27mm未満の時）
10) 中ボルトの穴径は、公称軸径+1.0mmとする。
11) アンカーボルトの穴径は、公称軸径+5.0mmとする。
但し、許容応力度計算にて確認した場合この限りでない。
12) 高力ボルトの摩擦面処理は、ディスクグラインダーなどにより、黒皮などを原則として接触面全面の範囲について除去した後、薬品処理により発生させた赤サビ状態（サビ止塗装は行わない）とする。但し、薬品は工事監理者の認める薬品とする。
よって、摩擦係数μ=0.45とする。
13) 高力ボルトの締め付け検査

検査項目	試験項目	備考
トルシア形高力ボルトの本締め検査	ピンテールの破断 マーキングのずれ	全数確認

14) 錆止め塗装
使用箇所：　杵・大梁・小梁
素地調整：　JASS18　2種
下塗り（錆止め）：　一液型エポキシ樹脂下塗塗料とする。
上塗り（仕上げ）：　二液型ポリウレタン樹脂塗料とする。
標準膜厚：　25μm以上
備考：　高力ボルト摩擦接合面には塗装を行わない。
SGH400を用いる場合は、溶融亜鉛めっきJIS G 3302 F12（最小両面3点平均付着量120g/m²）以上とする。

7 現場施工

1) 鉄骨柱脚は、基礎コンクリート天端に直接接触する工法とする。
2) 基礎コンクリート天端の隣接する柱のレベル差の管理値は、下記による。
隣接する柱の上下レベル差 ≦ 隣接する柱スパン×2/1000 とする。
ただし隣接するユニットの接する枠同士においては適用しない。
管理値を超える場合は、監理者に直ちに報告し、協議すること。

8 適用範囲と設計図書の優先順位

1) 図面の優先順位は下記による。
① 質疑応答書及び補足訂正追加事項
② 工事見積要領書（現場説明書及び現場説明に関する議事録を含む）
③ 図面
④ 本構造設計標準仕様書
⑤ 建築工事標準仕様書（JASS）

令第129条の2の3の事項
建築設備（昇降機を除く）、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽の恐れがないものとする。
屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
・風圧、土圧、水圧、地震、その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。
・建築物の部分を貫通して配管する場合において、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
・管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生じる恐れがある場合において伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
・管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあっては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとすること。
給湯設備は、支持構造部及び緊結金物を腐食又は腐朽の恐れがないものとするほか、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

① 適用範囲、重ね継手長さ、定着長さ

［適用範囲］

- コンクリート　・設計基準強度　18 N/mm² ～ 36 N/mm² の普通コンクリート
- 鉄筋　・SD295，SD345

［鉄筋の重ね継手長さ、定着長さ］

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度（N/mm²）	重ね継手長さ：L1		定着長さ（一般部）：L2	
		直線	フック付き	直線	フック付き
SD295（SD345）	18	45d（50d）	35d	40d	30d
	21	40d（45d）	30d	35d	25d
	24~27	35d（40d）	25d（30d）	30d（35d）	20d（25d）
	30~36	35d	25d	30d	20d

※（　　）内はSD345の数値を示す。

② 鉄筋のかぶり厚さ,鉄筋相互のあき

［鉄筋のかぶり厚さの標準値（mm）］

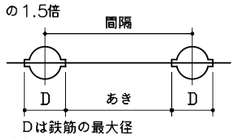
（かぶり厚さ：コンクリート面より最も外側に位置する鉄筋の面までの距離）

部位			設計かぶり厚さ	最小かぶり厚さ
構造部材	屋根スラブ 床スラブ 非耐力壁	屋内	30	20
		屋外	40	30
	柱 梁 耐力壁	屋内	40	30
		屋外	50	40
非構造部材		屋内	30	20
		屋外	40	30
直接土に接する柱・梁・床・壁および布基礎の立上り			50	40
基礎			70	60

［鉄筋相互のあき（下記の値の最大のもの）］

1）25mm

2）異形鉄筋径（呼び名）の1.5倍



Dは鉄筋の最大径

3）粗骨材の最大寸法の1.25倍

③ 鉄筋折曲げ形状・寸法

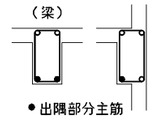
［鉄筋の加工形状］

d：呼び名の数値

適用区分			D16以下	D19～D25
末端部	曲げ角 180° 余長4d以上	梁・柱の軸方向主筋 あばら筋・帯筋	D≧3d	D≧4d
	曲げ角 135° 余長6d以上	あばら筋・帯筋		
	曲げ角 90° 余長8d以上	キャップタイ 副あばら筋 副帯筋・スラブ筋		
	曲げ角 90° 余長12d以上	スパイラル筋の継手部分		
中間部	曲げ角 90°以下	主筋・帯筋 あばら筋 スパイラル筋	D≧3d	D≧4d

下記1）～3）に示す鉄筋の末端部には、フックを付ける。

1）丸鋼
2）あばら筋および帯筋
3）最上階の柱頭四隅主筋
4）柱および梁（基礎梁を除く）の出隅部の主筋



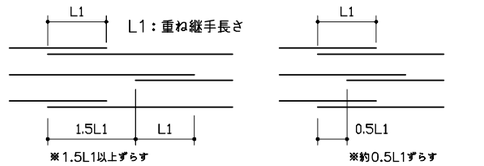
●出隅部分主筋

④ 鉄筋の継手

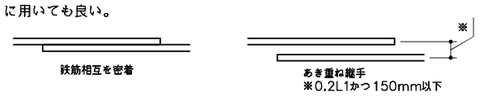
重ね継手

- 径の異る鉄筋の継手長さは細い方の鉄筋径による。
- D35以上の鉄筋には重ね継手を用いない。
- 隣り合う鉄筋の重ね継手は下記のいずれかを標準とする。

継手位置をずらす場合　　継手位置を重ねる場合



- 重ね継手の相互の鉄筋は密着させるのが原則であるが、あき重ね継手も同時に有効であり、スラブ筋・壁筋などで鉄筋の間隔が変わる部材などに用いても良い。

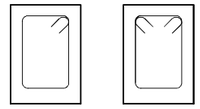


- 重ね継手は水平重ね・上下重ねのいずれでもよい。

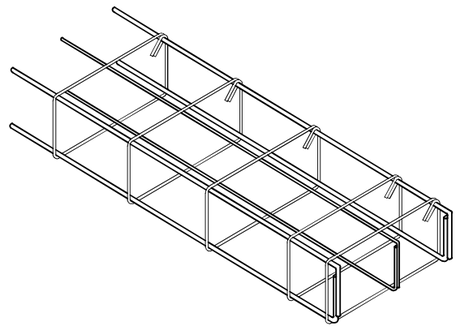
⑤ 基礎あばら筋

補強筋

- 「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説 2021年版」（日本建築学会）のスラブなしあばら筋と同形状とする。



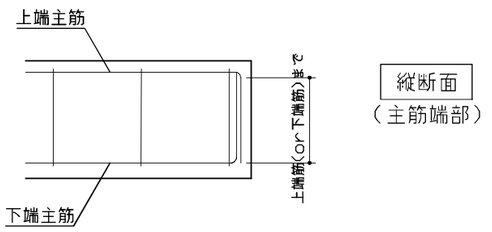
⑥ フーチング配筋



⑦ 主筋端部の形状

主筋端部

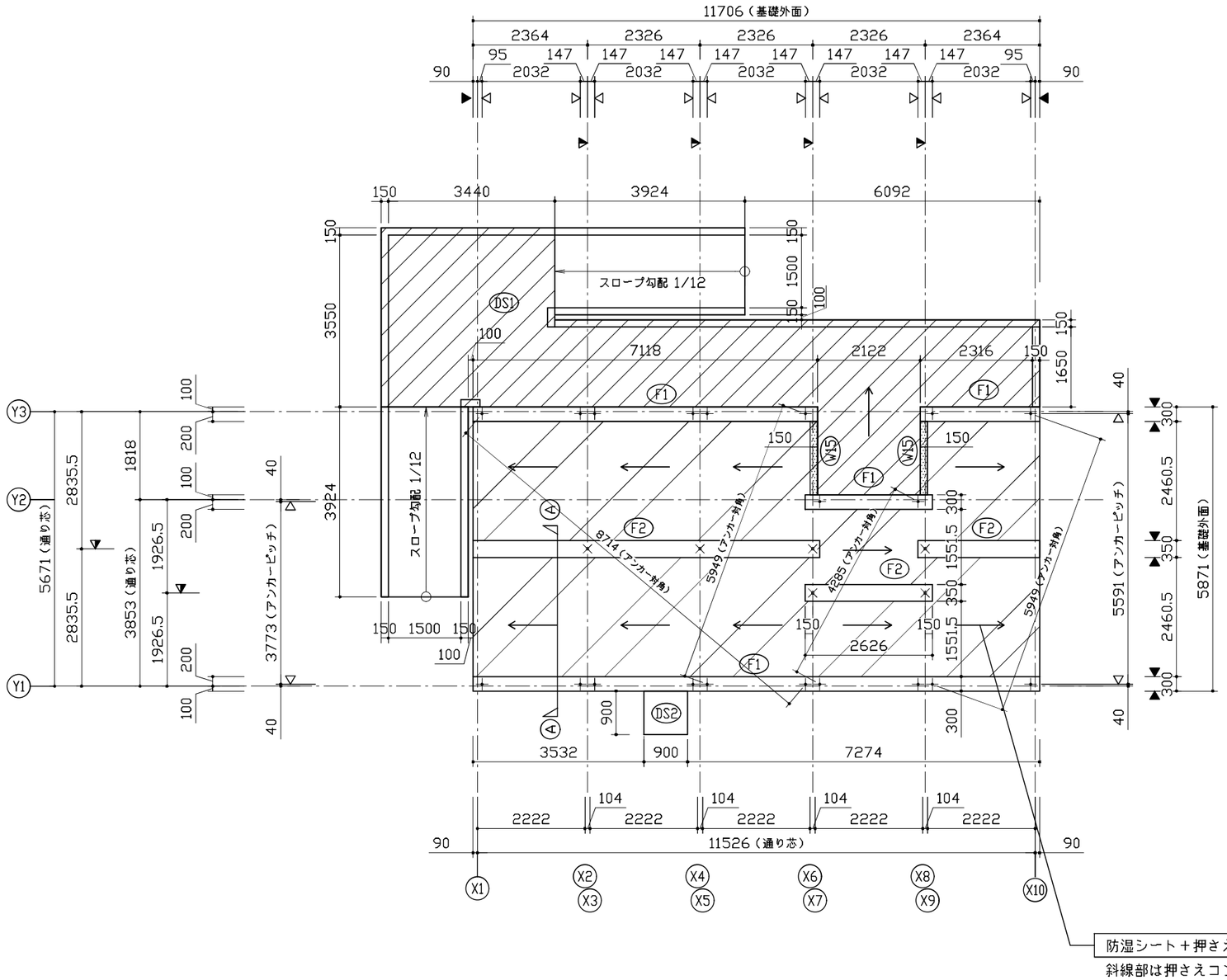
- 基礎の主筋端部は90°曲げとし、上端筋は下端筋まで折り曲げることとする。同様に下端筋は上端筋まで折り曲げる。
- 一般部の定着と同様としてもよいが、垂直に定着長さが確保できない場合は斜めとしてもよい。



海老名市 Ebina City

図面名称	配筋基準図
縮尺	NTS
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）
図面番号	S-2

管理棟



防湿シート＋押さえｺﾝｸﾘｰﾄt=60

斜線部は押さえコンクリート範囲を示す。
※建物外側に向かって1/100程度
の水勾配を取ること。

長期許容支持力 qa = 30 kN/m²

使用材料

1）コンクリート

設計基準強度 Fc = 18 (N/mm²)

品質基準強度 Fq = 18 (N/mm²)

調合管理強度 Fm = 18+mSn (N/mm²)

※調合管理強度は品質基準強度に構造体強度補正値(mSn)を加えた値とする。

・普通セメントの構造体強度補正値（mSn）

平均気温	8≦θ	0≦θ<8
mSn	+3	+6

※暑中期間におけるmSnは+6とする。

2）鉄筋 SD295

レベル精度	2mm以内
アンカー位置精度	4mm以内
対角精度	±3mm

＊地盤に高低差がある場合現場監督者に確認のこと。

基礎伏図（見下げ図）

特記なき限り下記による。

1,基礎天端は設計GL+150とする。
2,基礎下端は設計GL−120とする。
3,＋はアンカーボルトを示す。
4,×は建て方用アンカーを示す。
5,特記なき ▽ はアンカーボルト芯を示す。
6,特記なき ▼ は基礎面を示す。
7,特記なき ▼ は建て方用アンカー芯を示す。

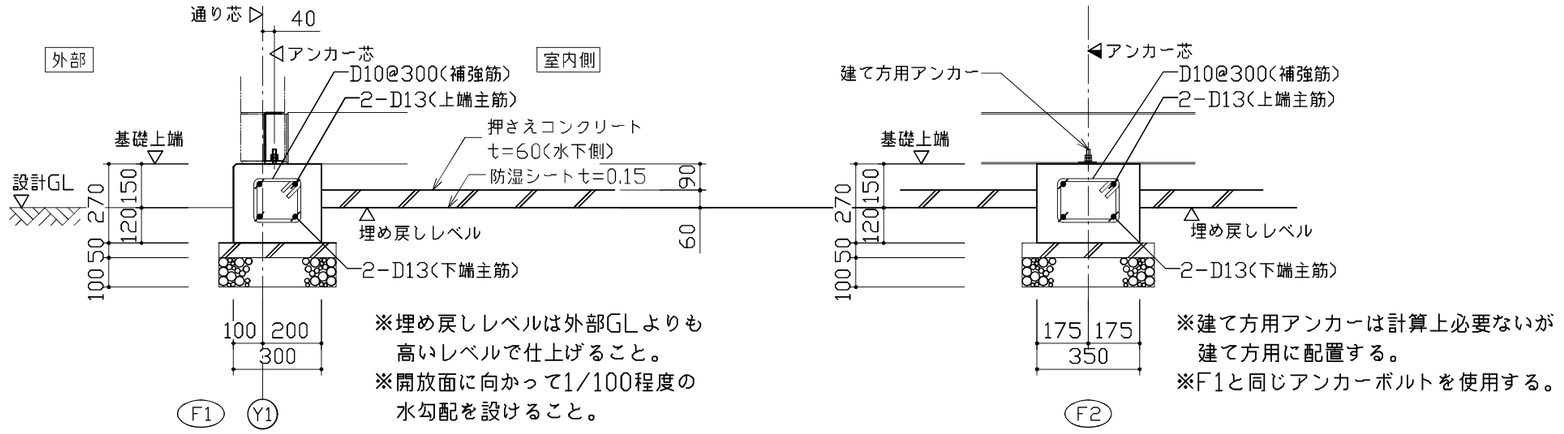
海老名市 Ebina City

図面名称	基礎伏図	図面番号 S-3
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）	

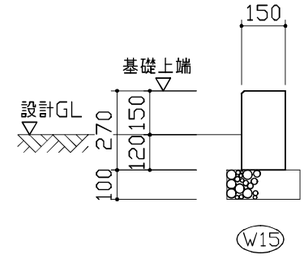
管理棟

特記なき限り下記による。

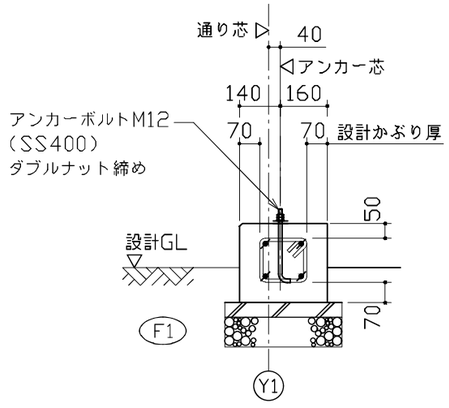
1.●は、鉄筋 D10 を示す。
2.◐は、鉄筋 D13 を示す。
3.✖は、鉄筋 D16 を示す。



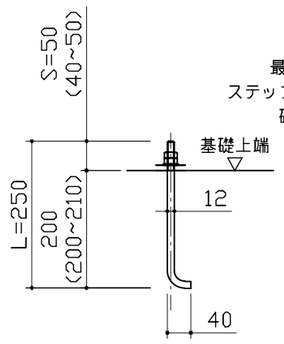
Ⓐ断面図



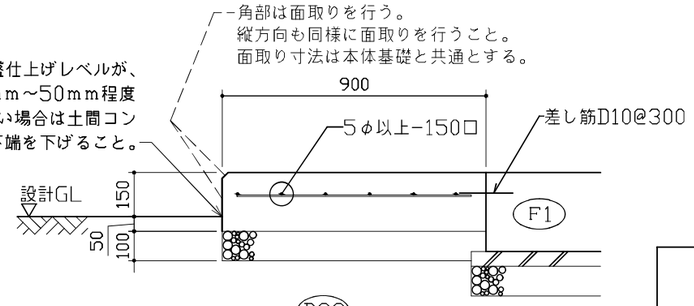
※コンクリート止めのため無筋でも可。



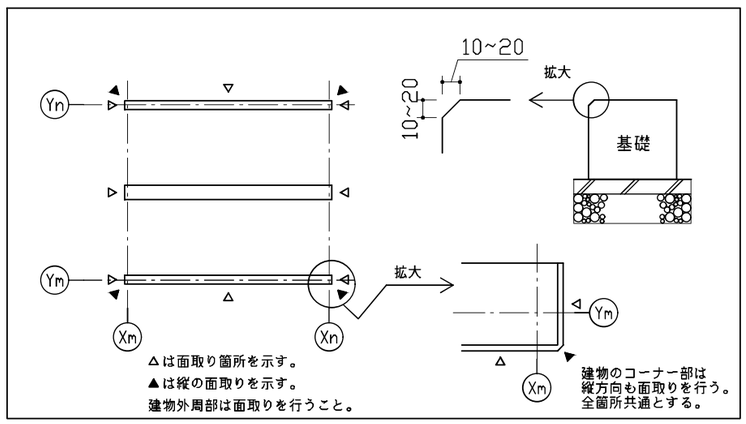
アンカー位置図



アンカーボルト詳細図
S=1:10



ステップ用土間コンクリート



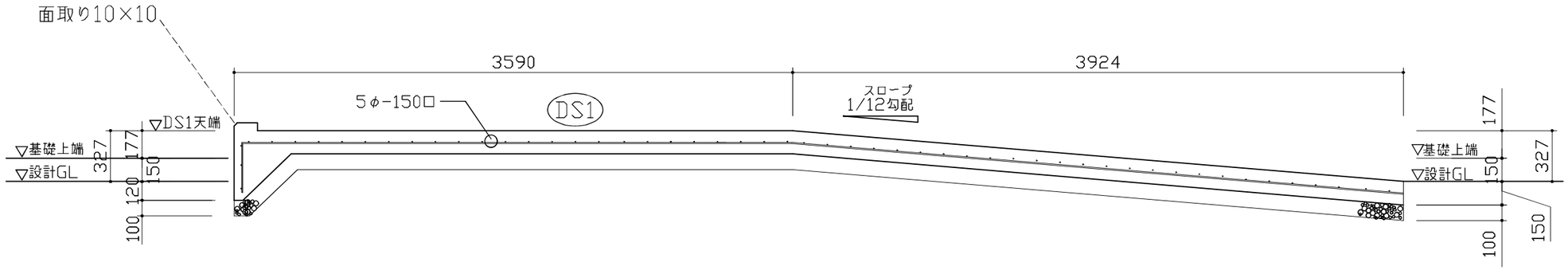
海老名市
Ebina City

図面名称	基礎リスト	図面番号 S-4
縮尺	A1:1/10 A3:1/20	
件名	河原口高水敷「(仮称)スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

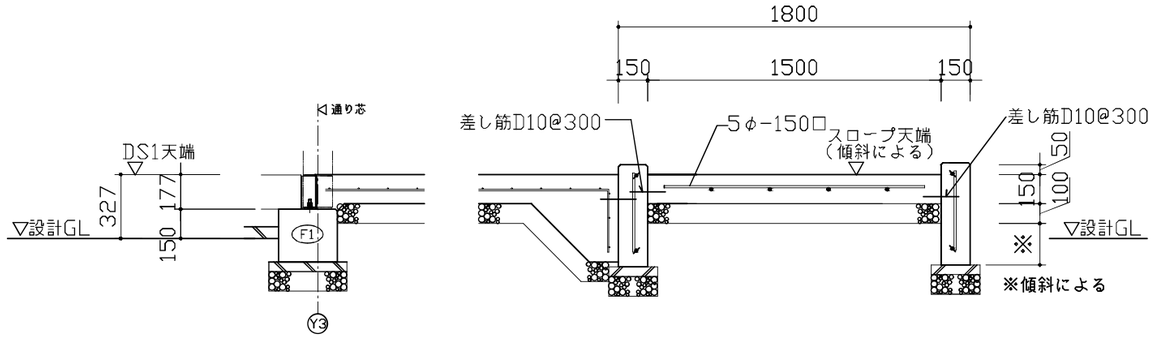
管理棟

特記なき限り下記による。

1.●は、鉄筋 D10 を示す。
2.◢は、鉄筋 D13 を示す。
3.✖は、鉄筋 D16 を示す。



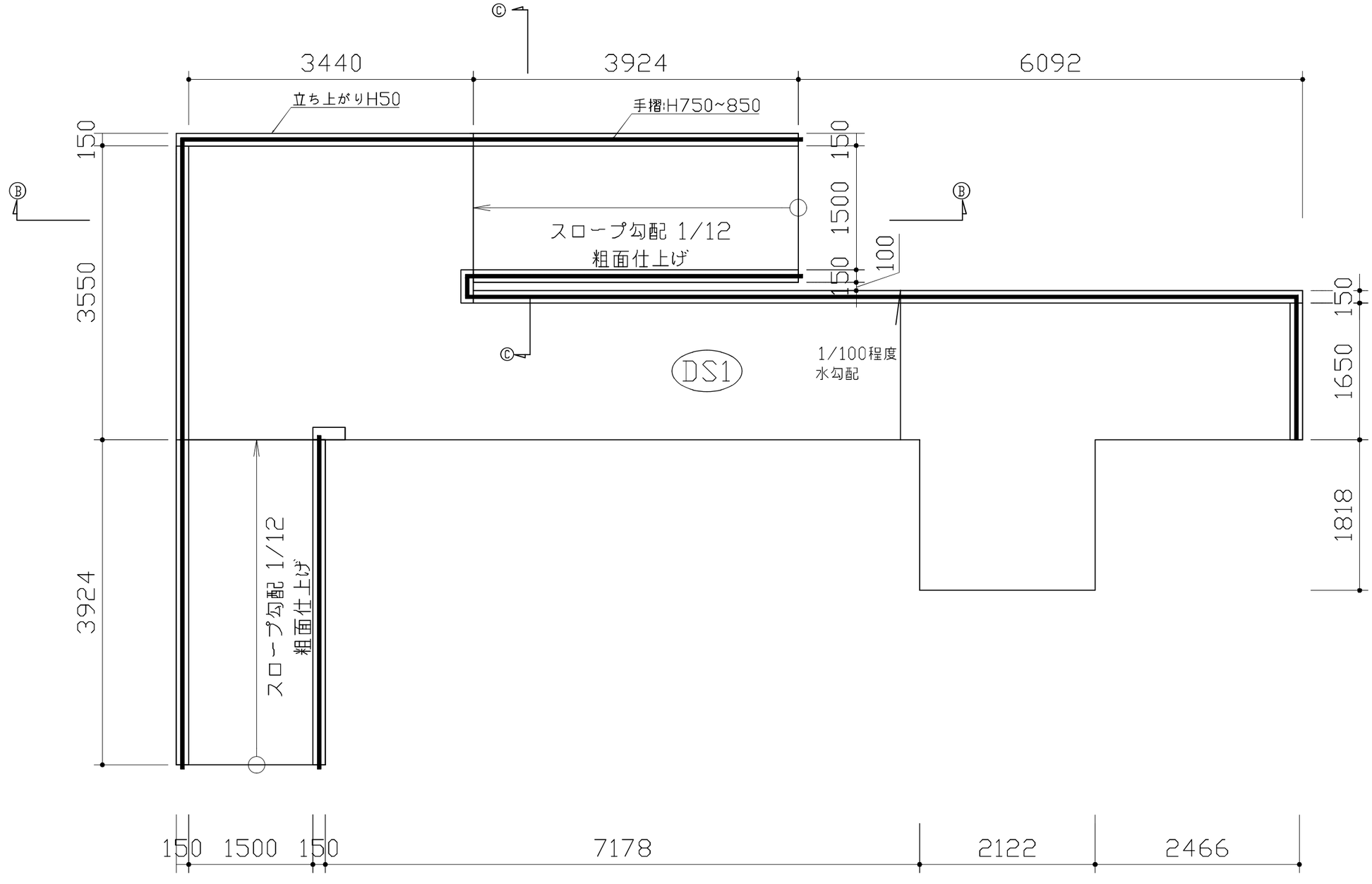
B断面図



C断面図

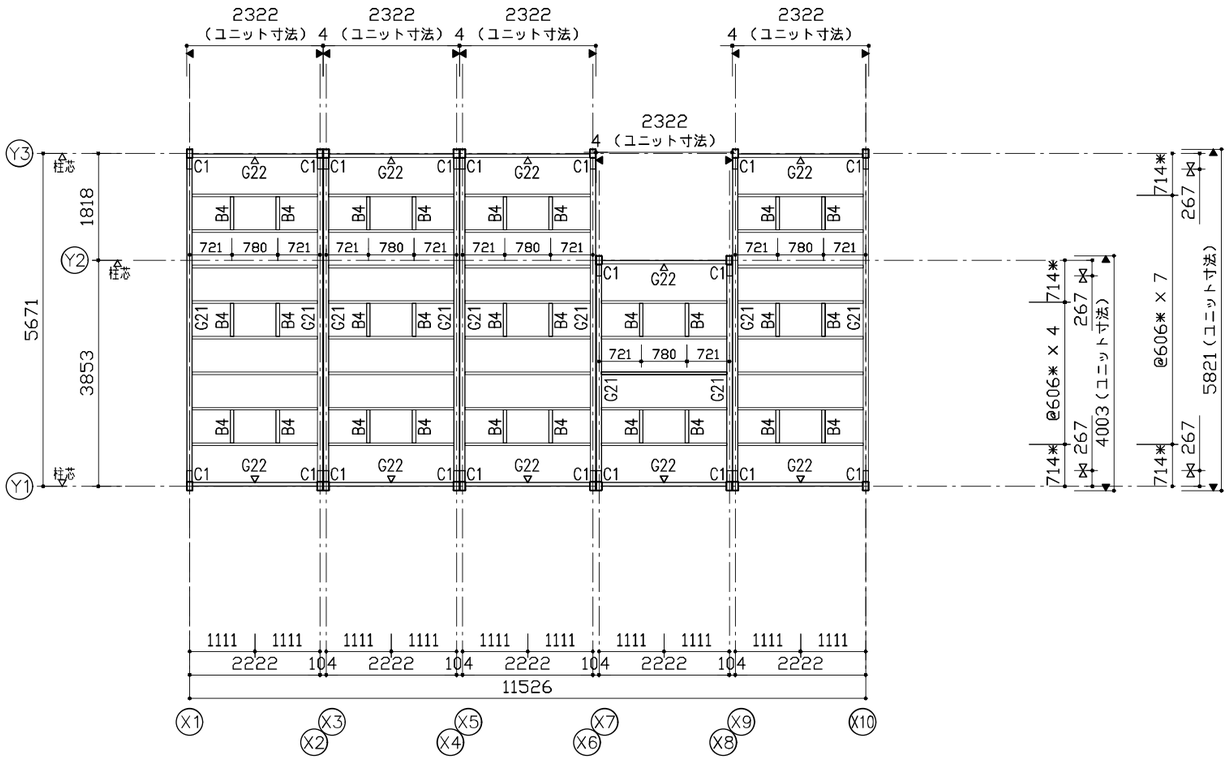
	海老名市 Ebina City	図面名称	基礎リスト2
		縮尺	A1:1/15 A3:1/30
		図面番号	S-5
		件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

管理棟



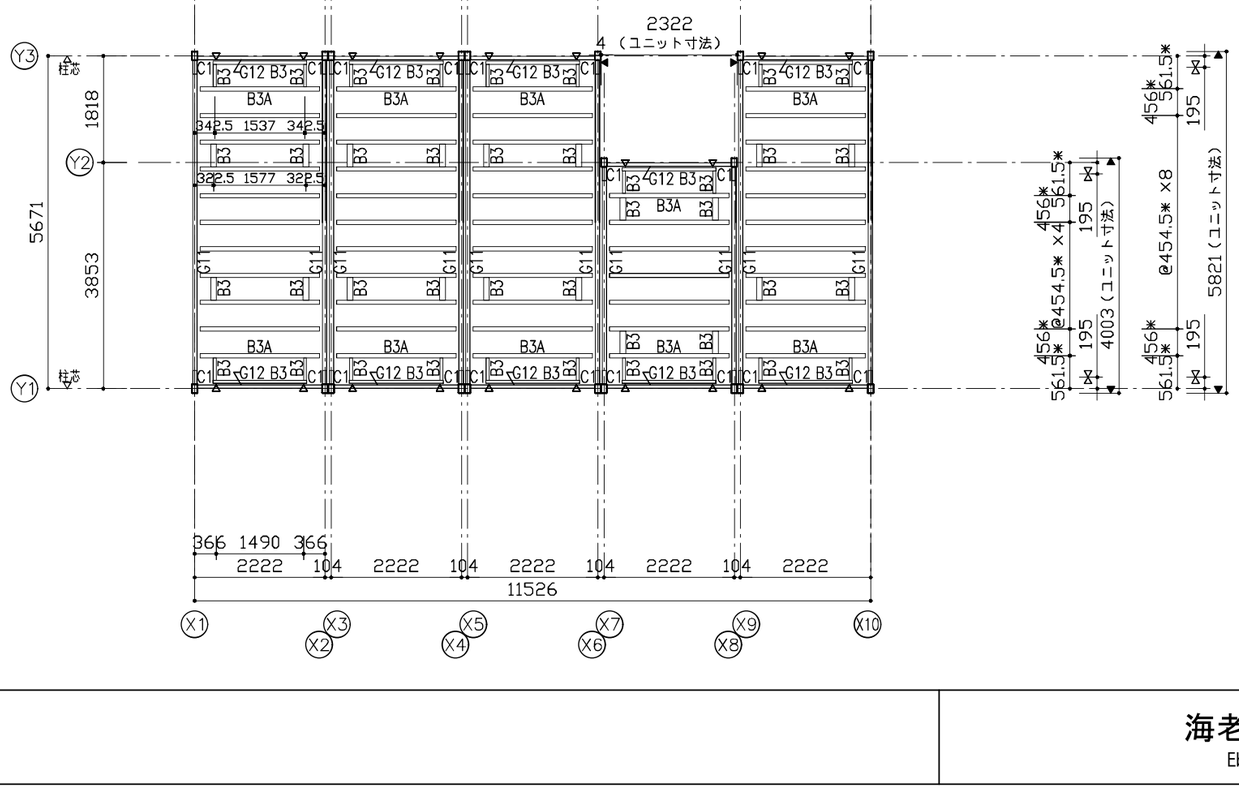
スロープ伏図

海老名市 Ebina City	図面名称 スロープ伏図 縮尺 A1:1/25 A3:1/50 件名 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	図面番号 S-6



R階屋根梁伏図（見下げ図）

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.⋈は大梁ジョイント位置を示す。
3.梁天端レベルは以下に示す。
G21： RFL−0
G22： RFL−85
B2 ： RFL−95
B4 ： RFL−160
4.記入なき小梁符号はB2とする。
5.＊は小梁芯の寸法を示す。
6.特記なき▲は柱面位置を示す。
7.特記なき△はG22横補剛位置を示す。

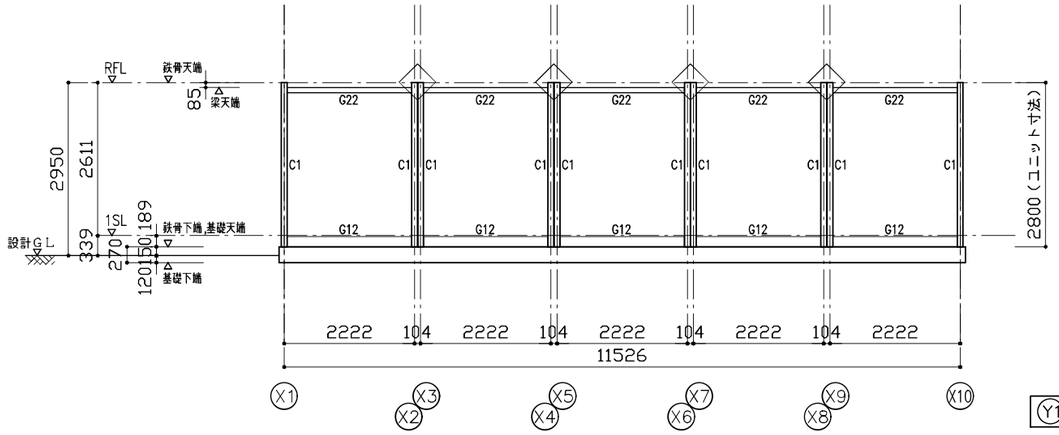


1階床梁伏図（見下げ図）

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.⋈は大梁ジョイント位置を示す。
3.梁天端レベルは以下に示す。
G11 ： 1SL−14
G12 ： 1SL−14
B1,B3A： 1SL−18
B3 ： 1SL−18
4.記入なき小梁符号はB1とする。
5.＊は小梁芯の寸法を示す。
6.特記なき▲は柱面位置を示す。
7.特記なき△はG12横補剛位置を示す。

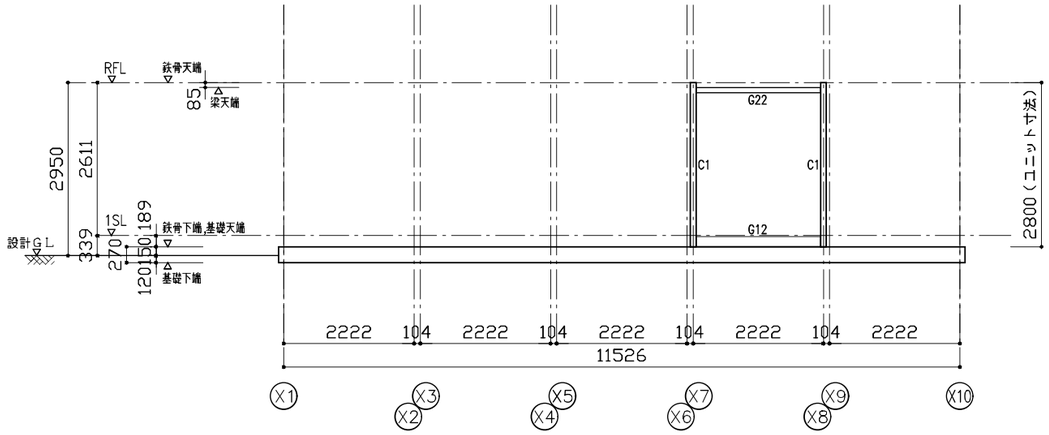
海老名市
Ebina City

図面名称	1階床梁・R1階屋根梁伏図	図面番号 S-7
縮尺	A1:1/50 A3:1/100	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）	



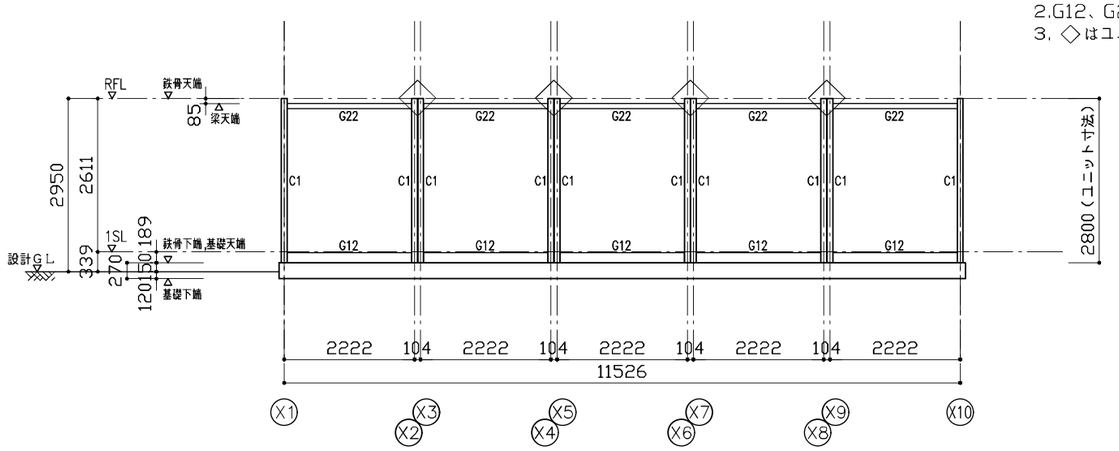
Y1 通り軸組図

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.G12、G22は継手なし。
3. ◇はユニット鉄骨同士の連結部を示す。



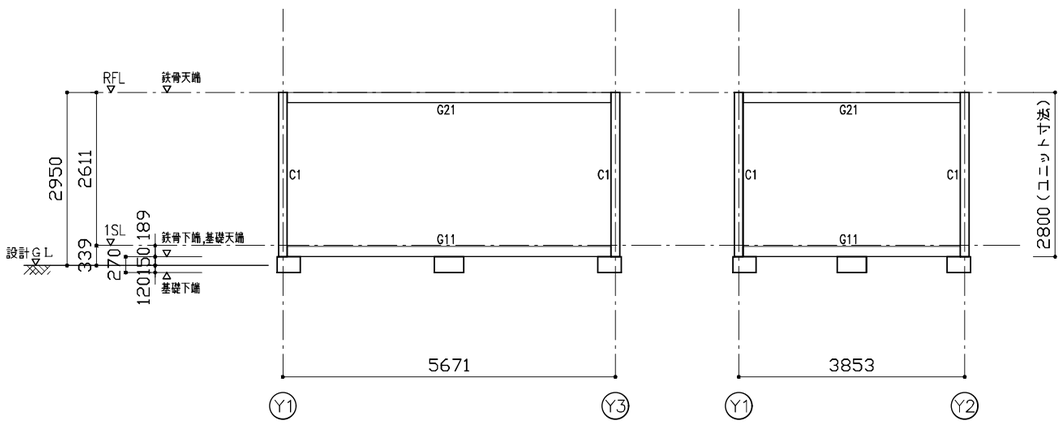
Y2 通り軸組図

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.G12、G22は継手なし。
3. ◇はユニット鉄骨同士の連結部を示す。



Y3 通り軸組図

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.G12、G22は継手なし。
3. ◇はユニット鉄骨同士の連結部を示す。



X1～X6X9～X10通り軸組図

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.梁継手位置は、鉄骨詳細リスト参照。

X7～X8 通り軸組図

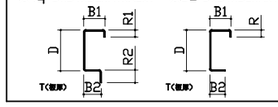
特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。
2.梁継手位置は、鉄骨詳細リスト参照。

鉄骨部材リスト（39、57MS1）

57MS1 柱の細長比（平屋建て）：X方向90.2 Y方向67.8
39MS1 柱の細長比（平屋建て）：X方向90.2 Y方向64.5

部位	符号	形状	部材		継手	材質
柱	C1	□	□-150×100×3.2		詳細図参照	STKR400
大梁	G11	[	端部	[-175×70.5×4.5	摩擦接合 4-M20（H.T.B）	母材：SGH400 ガセットPL-16：SM490A
			中央	[-175×72×3.2		
	G12	[	[-173×60×3.2		剛接合 隅肉溶接 部分溶け込み溶接	母材：SGH400
	G21	[	端部	[-170×77×4.5	引張接合 2-M20（H.T.B）	母材：SGH400 梁側エンドPL-19：SS400 柱側エンドPL-19：SM490A
		⊏ ※1	中央	⊏-175×89×78.2×30×53.2×3.2		
	G22	⊏ ※4	端部	⊏-90×63×72×54.5×4.5	剛接合 隅肉溶接 部分溶け込み溶接	母材：SGH400
		⊏ ※1	中央	⊏-90×67.5×72×25×54.5×4.5		
小梁	B1	⊏ ※2	⊏-100×70×40×20×2.3		隅肉溶接	SGH400
	B2	⊏ ※3	C-125×45×20×2.3		隅肉溶接	
	B3	⊏	C-100×50×20×2.3		隅肉溶接	SSC400またはSGH400
	B3A	⊏	C-100×73×20×2.3		隅肉溶接	SGH400
	B4	⊏	[-80×30×2.3		隅肉溶接	

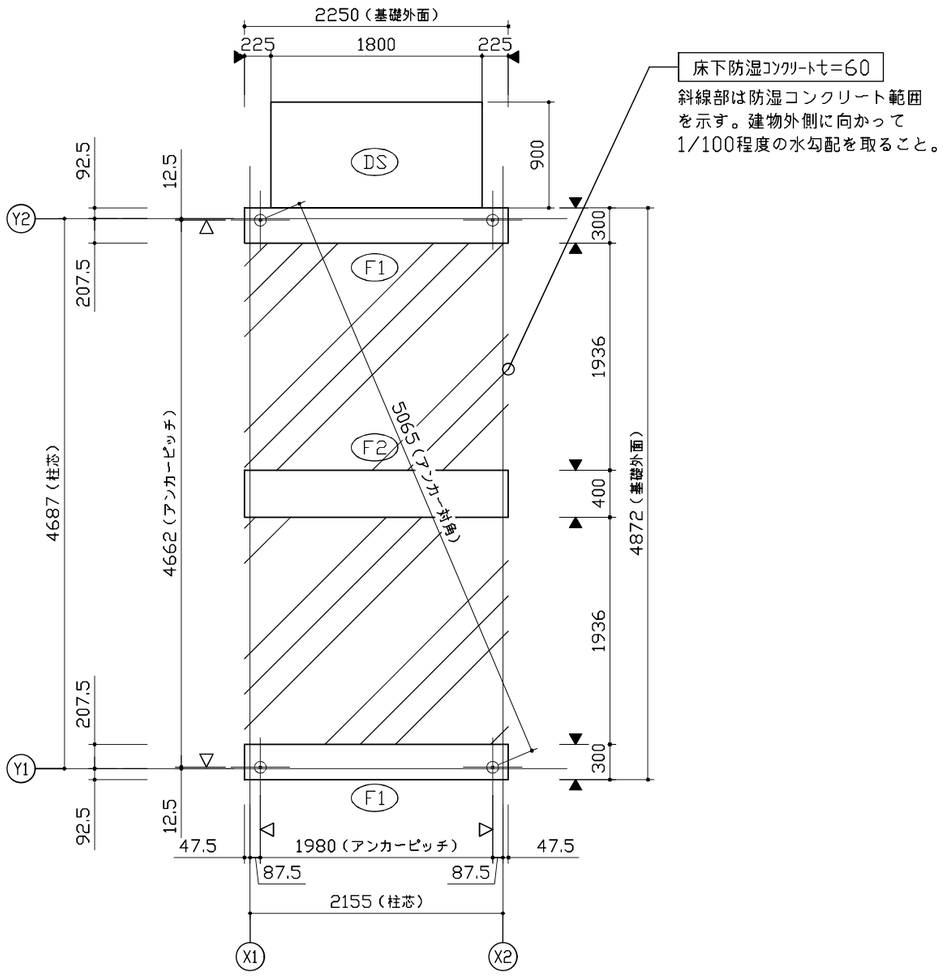
※部材表記の凡例は以下に示す。
※1⊏-DxB1xB2xR1xR2xT　※2⊏-DxB1xB2xRxT　※3 C型で( )は下リップの寸法を示す。
※4 ※1で上リップのない形状を示す。



海老名市 Ebina City

図面名称	軸組図・部材リスト
縮尺	A1:1/50 A3:1/100
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）
図面番号	S-8

倉庫棟



基礎伏図（見下げ図）

特記なき限り下記による。

1.基礎天端は設計GL＋150とする。
2.基礎下端は設計GL－120とする。
3.⊕はアンカーボルトを示す。
4.特記なき ▽ はアンカーボルト芯を示す。
5.特記なき ▼ は基礎面を示す。

レベル精度	2mm以内
アンカーピッチ精度	4mm以内
対角精度	±3mm

＊地盤に高低差がある場合現場監督者に確認のこと。

長期許容支持力 qa ＝ 30 kN/㎡

使用材料

1）コンクリート

設計基準強度　Fc ＝ 18 (N/mm²)
品質基準強度　Fq ＝ 18 (N/mm²)
調合管理強度　Fm ＝ 18+mSn (N/mm²)

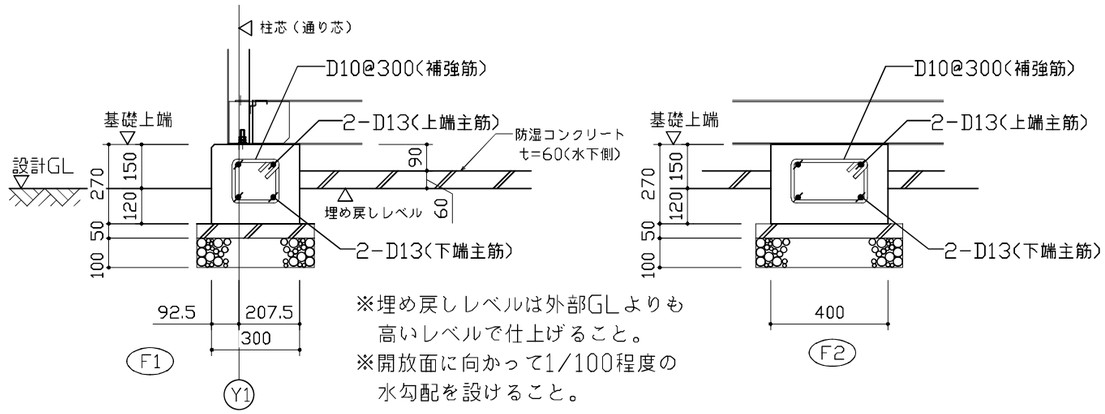
※調合管理強度は品質基準強度に構造体強度補正値(mSn)を加えた値とする。

・普通セメントの構造体強度補正値（mSn）

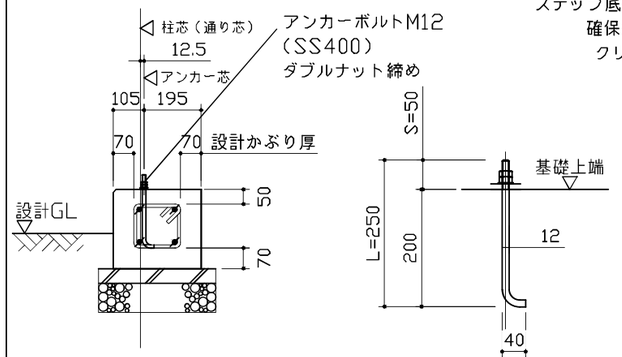
平均気温	8≦θ	0≦θ＜8
mSn	+3	+6

※暑中期間におけるmSnは＋6とする。

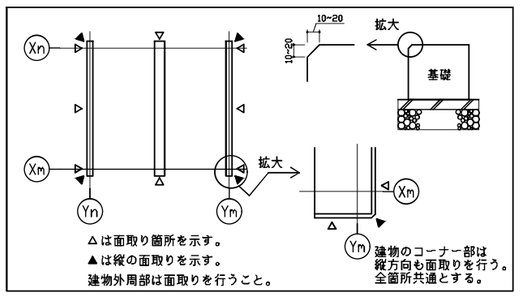
2）鉄筋　SD295



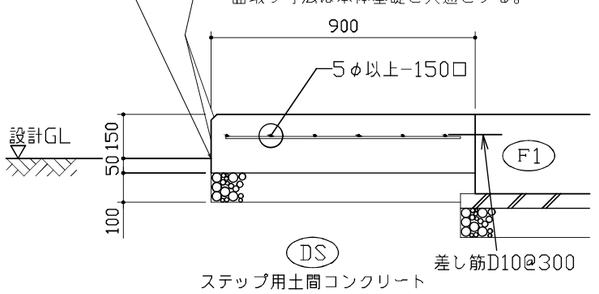
基礎断面図



アンカー詳細図



最終的な地盤仕上げレベルが、ステップ底+30mm～50mm程度確保できない場合は土間コンクリート下端を下げること。



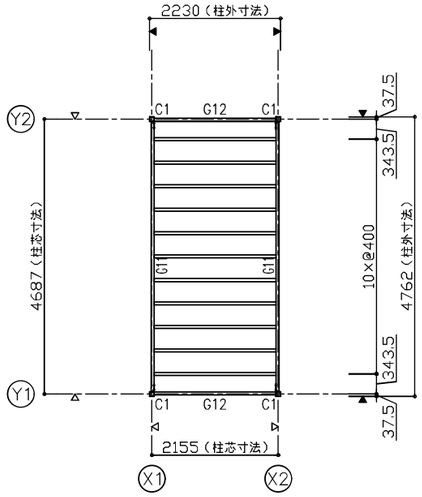
基礎リスト（S=1:20）

特記なき限り下記による。

1.● は、鉄筋 D10 を示す。
2.／ は、鉄筋 D13 を示す。

海老名市 Ebina City

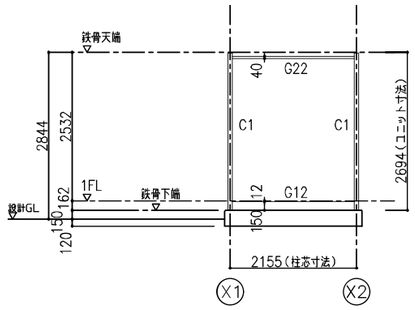
図面名称	基礎伏せ図・基礎リスト
縮尺	A1:1/25　A3:1/50
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	S-9



1階床梁伏図（見下げ図）

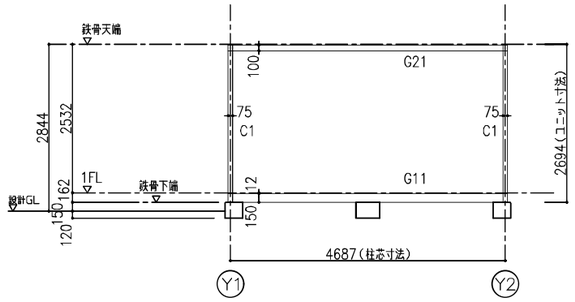
特記なき限り下記による。

1.通り芯＝柱芯とする。
2.▷は柱芯位置、▶は柱外面位置を示す。
3.梁天端レベルは以下による。
　G11　：　1FL−19mm
　B1　：　1FL−19mm
4.記入なき小梁符号は B1 とする。
5.小梁ピッチは小梁芯の寸法を示す。



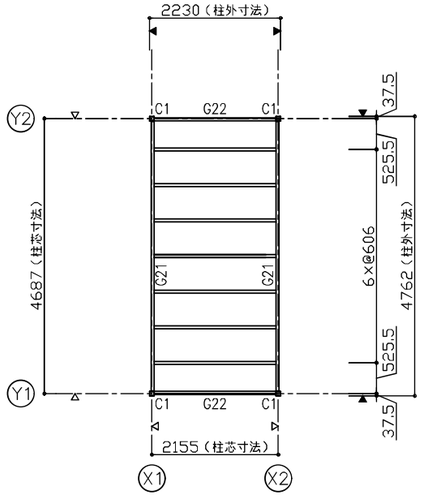
Y1〜Y2 通り軸組図

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。



X1〜X2 通り軸組図

特記なき限り下記による。
1.通り芯＝柱芯とする。



R階床梁伏図（見上げ図）

特記なき限り下記による。

1.通り芯＝柱芯とする。
2.▷は柱芯位置、▶は柱外面位置を示す。
3.梁天端レベルは以下による。
　G21　：　RFL±0mm
　B2　：　RFL−54mm
4.記入なき小梁符号は B2 とする。
5.小梁ピッチは小梁芯の寸法を示す。

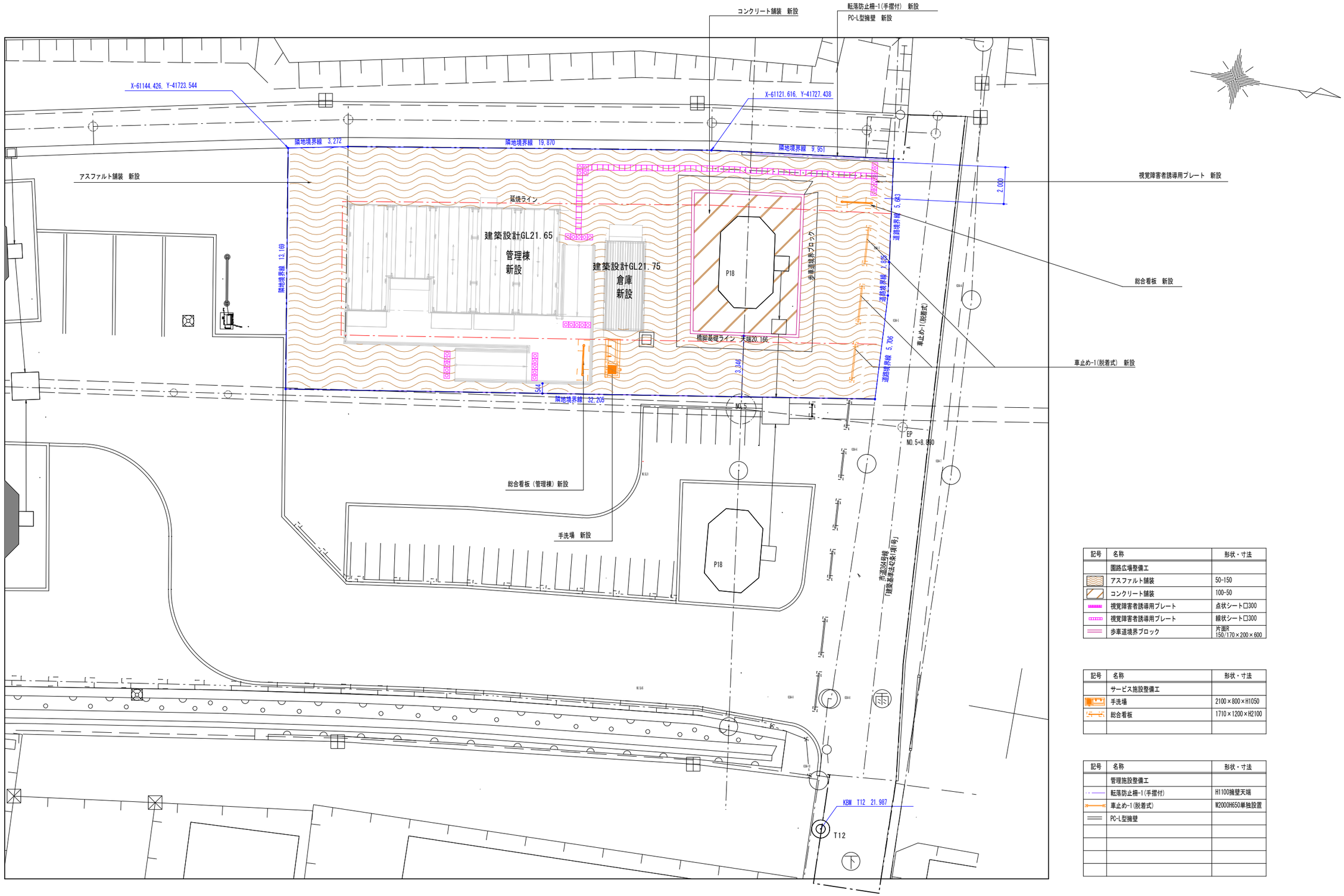
鉄骨部材リスト

部　位	符　号	部　材	備　考
柱	C1	□−75x75x2.3	材質はSTKR400とする。
大梁	G11	[−150x50x3.2	母材の材質はSGH400とする。 ガセットプレートの材質は SS400またはSGH400とする。
	G12	[−150x50x3.2	
	G21	┌−100x50x55x43.2x3.2	
	G22	┌−40x40x56.3x44.5x4.5	
小梁	B1	C−100x50x20x2.3	材質はSSC400、 またはSGH400とする。
	B2	□−50x50x1.6	材質はSTKR400とする。

海老名市
Ebina City

図面名称	構造標準図	図面番号 S-10
縮尺	A1:1/50　A3:1/100	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）	

外構図　S=1:100



記号	名称	形状・寸法
	園路広場整備工	
	アスファルト舗装	50-150
	コンクリート舗装	100-50
	視覚障害者誘導用ブレート	点状シート□300
	視覚障害者誘導用ブレート	線状シート□300
	歩車道境界ブロック	片面R 150/170×200×600

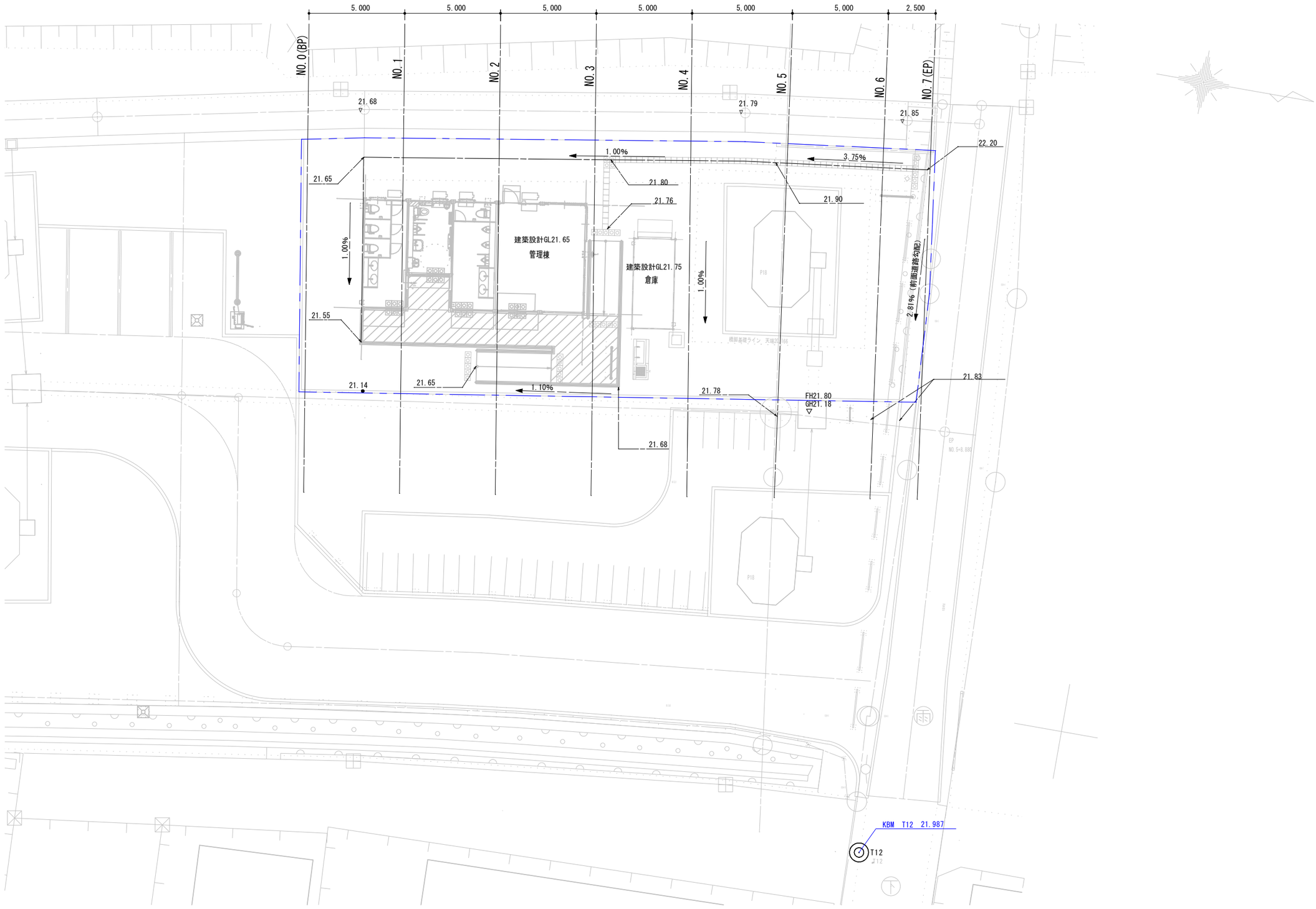
記号	名称	形状・寸法
	サービス施設整備工	
	手洗場	2100×800×H1050
	総合看板	1710×1200×H2100

記号	名称	形状・寸法
	管理施設整備工	
	転落防止柵-1(手摺付)	H1100擁壁天端
	車止め-1(脱着式)	W2000H650単独設置
	PC-L型擁壁	

海老名市
Ebina City

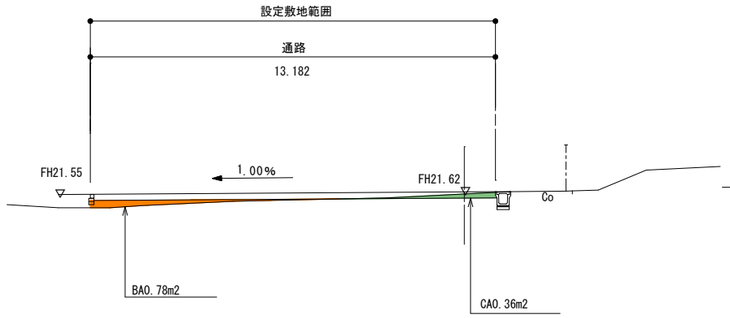
図面名称	外構図	図面番号 G-1
縮尺	A1:1/100　A3:1/200	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

造成計画平面図　S=1:100



海老名市 Ebina City	図面名称	造成計画平面図	図面番号 G-2
	縮尺	A1:1/100　A3:1/200	
	件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

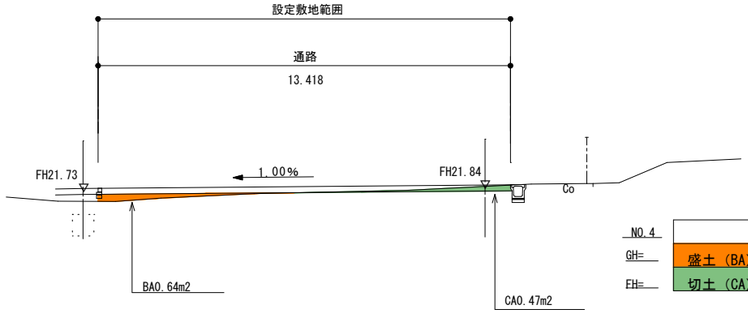
造成計画断面図　S=1:200



NO.0(BP)
GH=
FH=

	断面積m2
盛土（BA）	0.78
切土（CA）	0.36

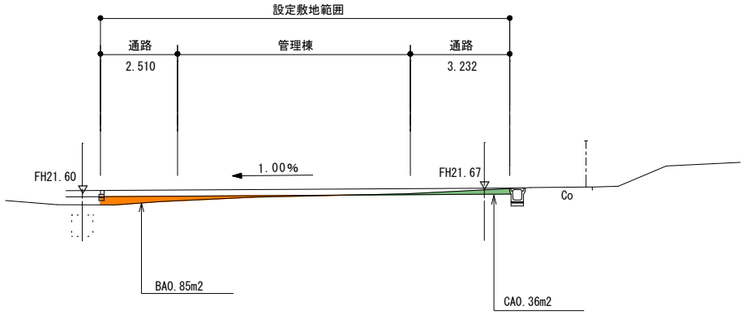
DL=15.00



NO.4
GH=
FH=

	断面積m2
盛土（BA）	0.64
切土（CA）	0.47

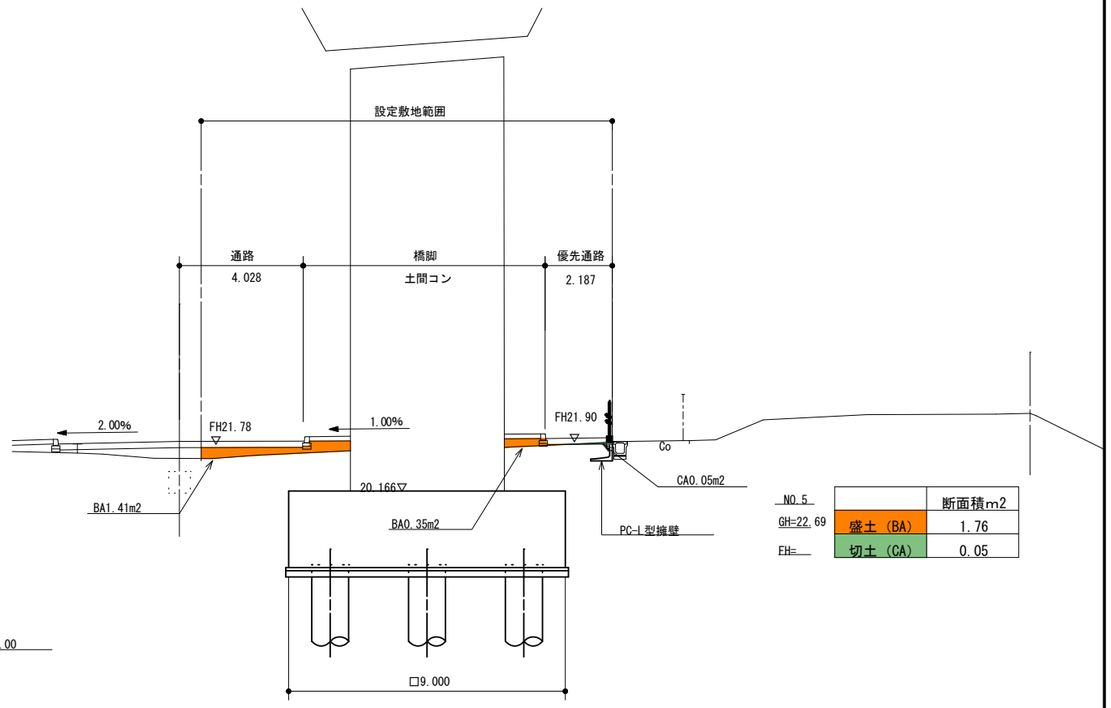
DL=15.00



NO.1
GH=
FH=

	断面積m2
盛土（BA）	0.85
切土（CA）	0.36

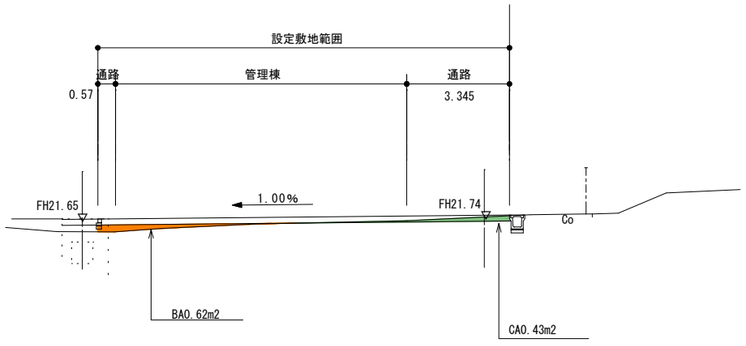
DL=15.00



NO.5
GH=22.69
FH=

	断面積m2
盛土（BA）	1.76
切土（CA）	0.05

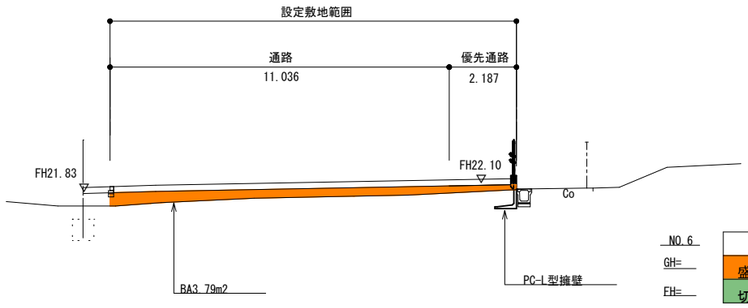
DL=15.00



NO.2
GH=
FH=

	断面積m2
盛土（BA）	0.62
切土（CA）	0.43

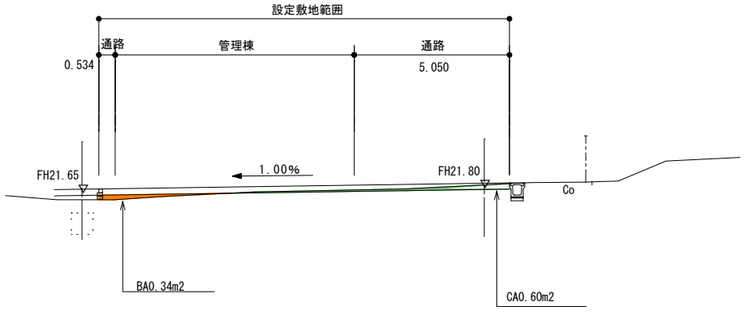
DL=15.00



NO.6
GH=
FH=

	断面積m2
盛土（BA）	3.79
切土（CA）	0.00

DL=15.00



NO.3
GH=
FH=

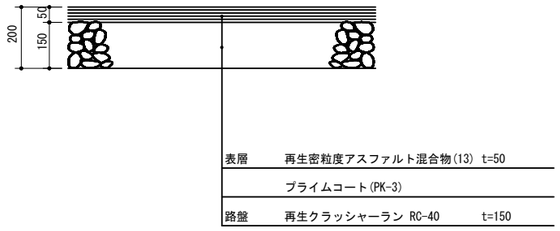
	断面積m2
盛土（BA）	0.34
切土（CA）	0.60

DL=15.00

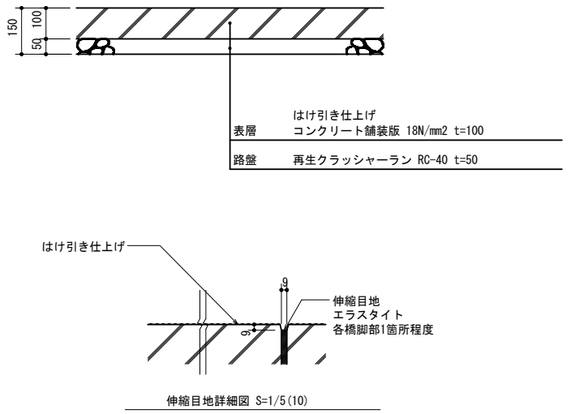
海老名市
Ebina City

図面名称	造成計画断面図
縮尺	A1:1/100　A3:1/200
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	G-3

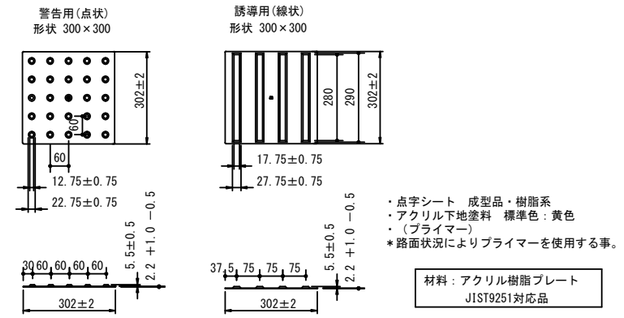
アスファルト舗装　S=1/10(20)



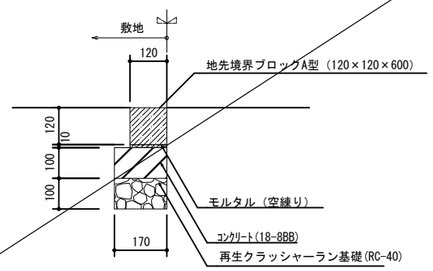
コンクリート舗装(橋脚周り)　S=1/10(20)



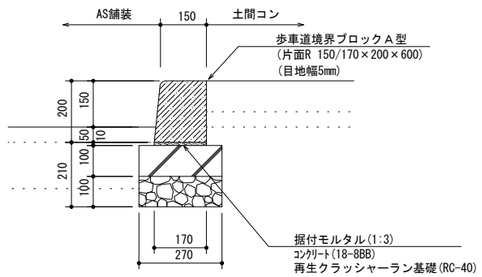
視覚障害者誘導用プレート　S=1/10(20)



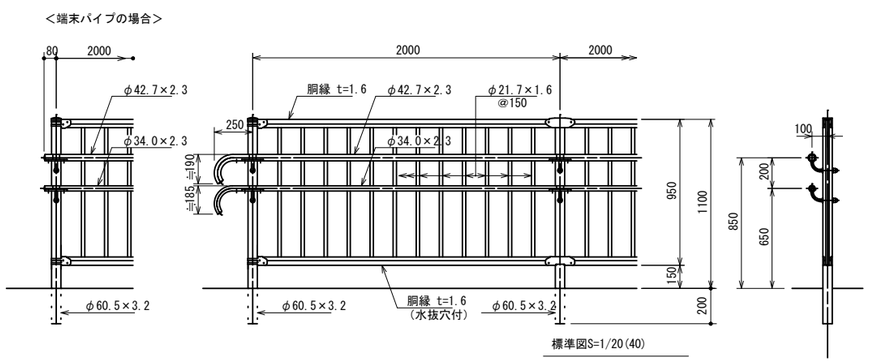
地先境界ブロック　S=1/10(20)

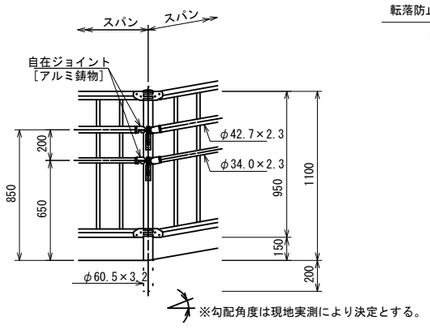


歩車道境界ブロック　S=1/10(20)



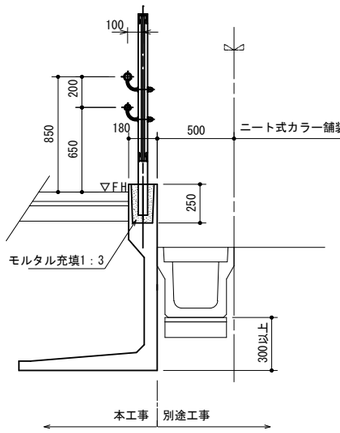
転落防止柵(手摺付)　S=1/20(40)





転落防止柵-1(手摺付)

H1100擁壁天端

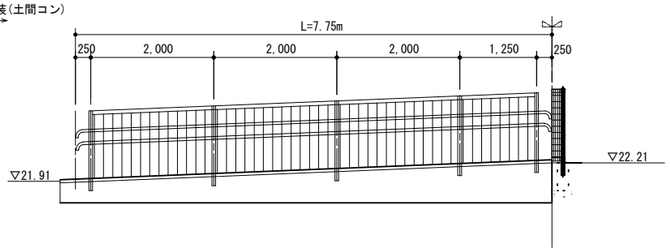


設計条件

設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のＰ種の荷重に依る。

備考

外装は特記部を除く他はめっきの上高耐候性樹脂粉体塗装とする。
ただし、手すり継手は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきとし、
ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみ（一部防錆着色処理）とする。

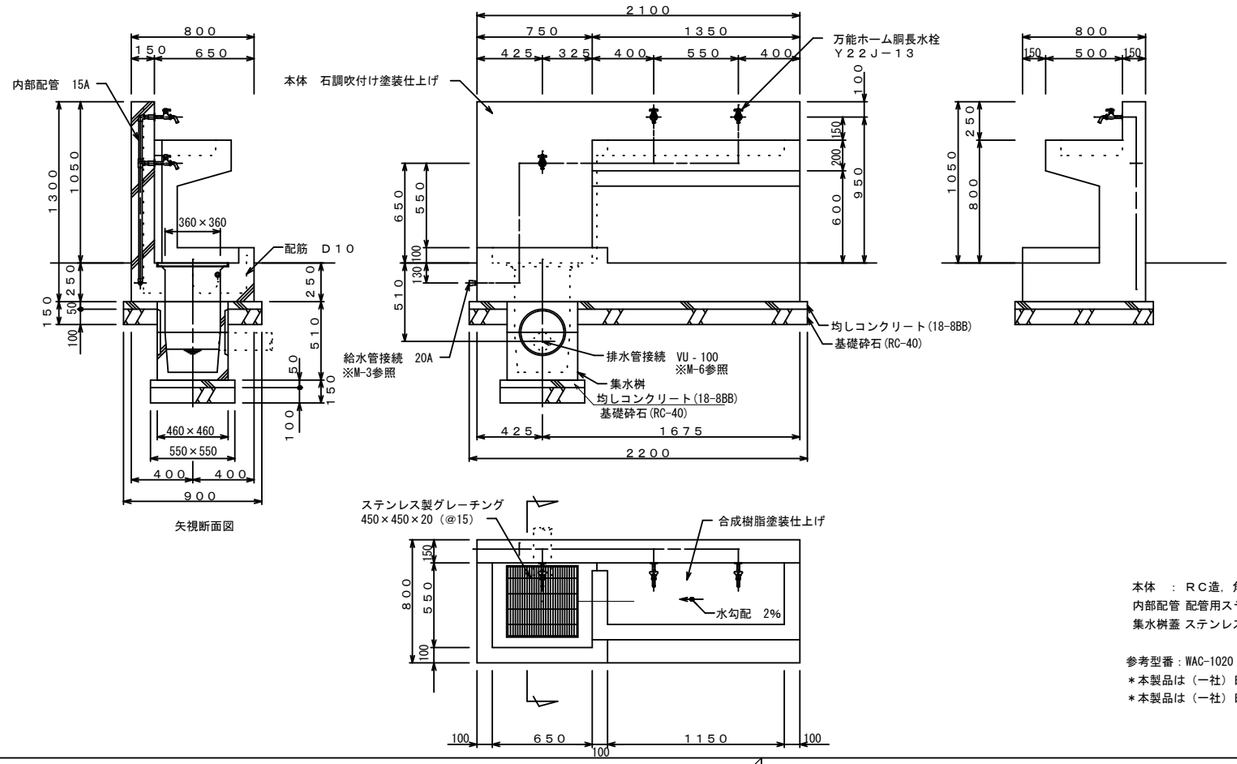


海老名市
Ebina City

図面名称	施設構造図-1
縮尺	図示
図面番号	G-4
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

手洗場

S=1/20(40)

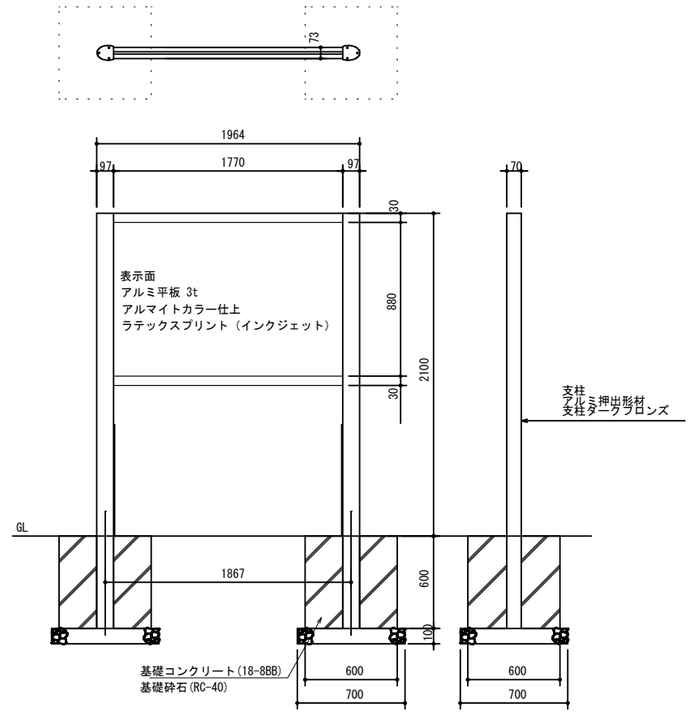


本体 ： ＲＣ造，角面取り、石調吹付け塗装、一部合成樹脂塗装仕上げ
内部配管 配管用ステンレス鋼管、ステンレス製継手，防寒材巻き
集水桝蓋 ステンレス製グレーチング、ステンレスチェーン付き

参考型番：WAC-1020
＊本製品は（一社）日本公園施設業協会によるＳＰ、又はＳＰＬ表示認定企業の製造品とする。
＊本製品は（一社）日本公園施設業協会による公園施設団体賠償責任保険制度の加入品とする。

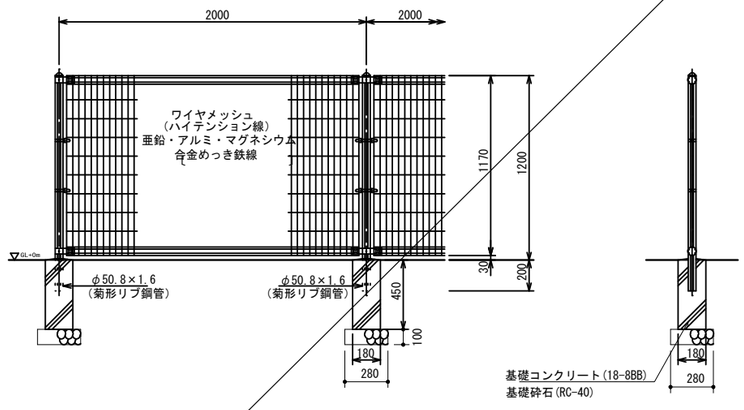
総合看板（参考）

S=1/20(40)



メッシュフェンス-1

S=1/20(40)

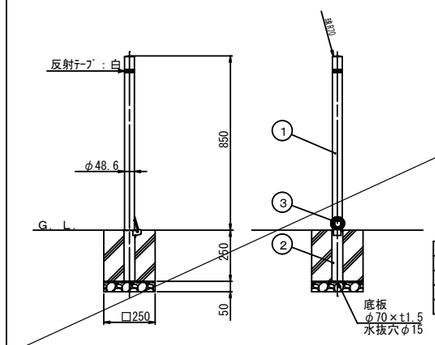


設計条件
設計荷重・・・建築基準法・同施行令に基づく風圧力による
基礎条件・・・長期許容地耐力 ９８ｋＮ／㎡（１０ｔ／㎡）

備考
１.外装について
・主柱、ジョイント
押え金具 ・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
ワイヤメッシュ
・バ ン ド ・・ 亜鉛・アルミ合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・Ｕ 型 金 具 ・・ 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上防錆着色処理
・ボルト、ナット ・・ 溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理

車止め(単柱)

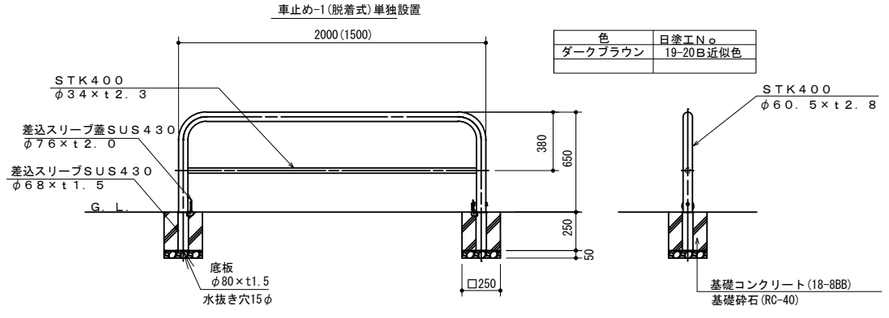
S=1/15(30)



番号	品名	数量	材質	備考
1	パイプ	1	ステンレス ＳＵＳ３０４	φ４８．６×ｔ１．８×５４００
2	差込スリーブ	1	ステンレス ＳＵＳ３０４	φ４５．４×ｔ１．５
3	差込スリーブ蓋	1	ステンレス ＳＵＳ４３４	φ６４×ｔ２．０

車止め(脱着式)

S=1/20(40)

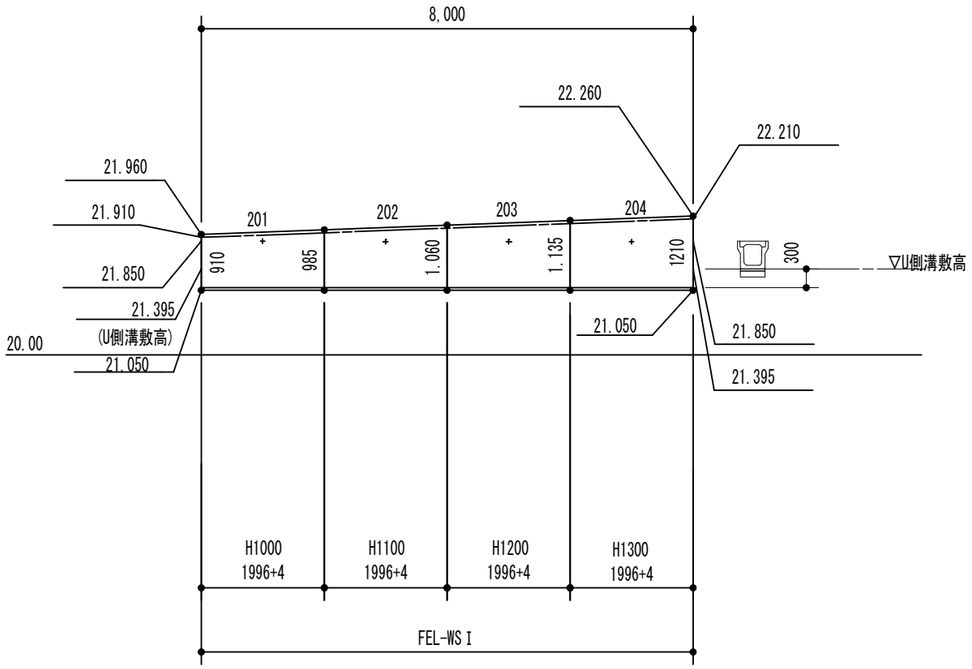


色	日塗工Ｎo
ダークブラウン	19-20B近似色

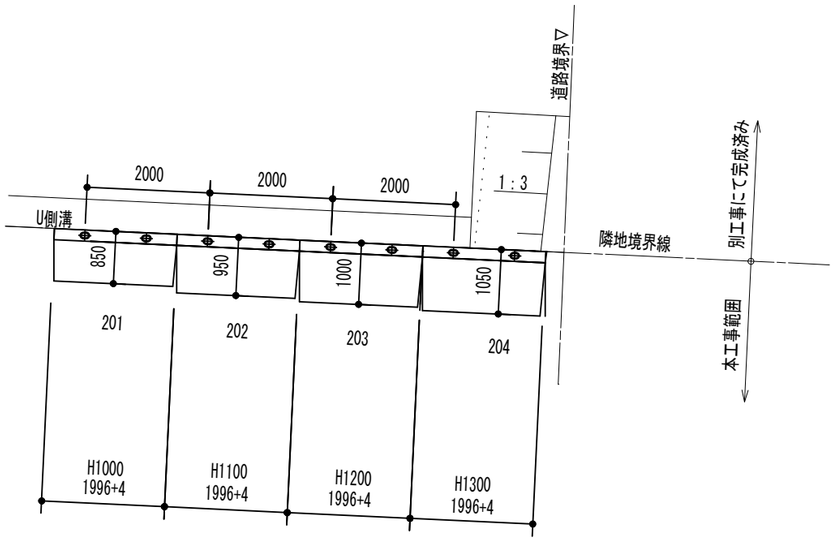
海老名市
Ebina City

図面名称	施設構造図-2
縮尺	図示
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	G-5

L型擁壁展開図　S=1:50



L型擁壁平面図　S=1:50

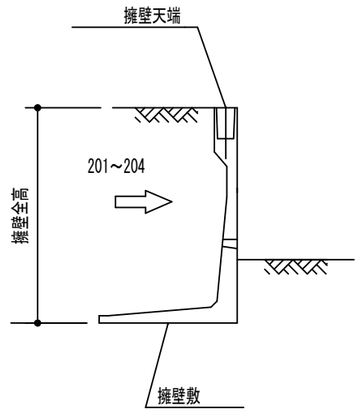


プレキャストL型擁壁数量表(FEL-WS I)
製品番号No.201～204　　天端フラットタイプ

製品番号	サイズ(mm)	規　格	摘　要
201	1000	標準品	L=1,996
202	1100	標準品	L=1,996
203	1200	標準品	L=1,996
204	1300	標準品	L=1,996

NETIS登録番号：KT-170032-A

FEL-WS I



設 計 条 件(KKL-CWS I)(KKL-CWF I)

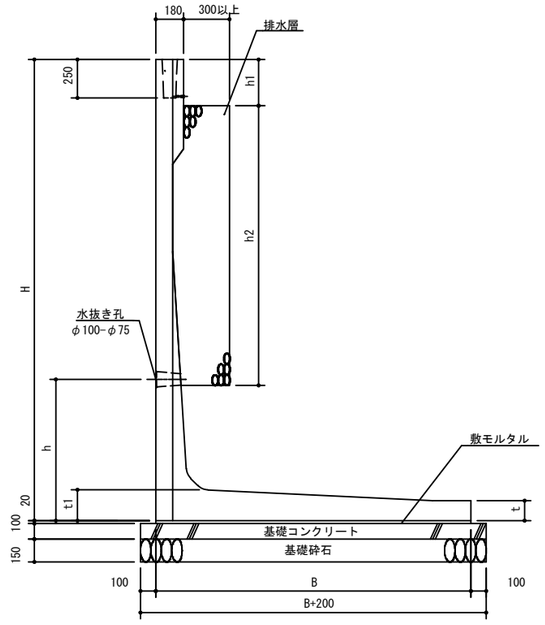
土圧公式	試行くさび法
載荷重	q＝10kN/㎡
土のせん断抵抗角	φ＝30度
土の単位体積質量	γd＝19kN/m3
滑動摩擦係数	μ＝0.6
鉄筋コンクリートの単位体積質量	γc＝24.5kN/m3

設 計 条 件(FEL-WS I)

土圧公式	試行くさび法
載荷重	q＝10kN/㎡
土のせん断抵抗角	φ＝30度
土の単位体積質量	γd＝19kN/m3
滑動摩擦係数	μ＝0.6
鉄筋コンクリートの単位体積質量	γc＝24.5kN/m3
フェンス荷重	Vh＝0.59kN/m
	Hh＝0.39kN/m

L 型 擁 壁 構 造 図　S＝1/20

FEL-WS(F) I
H=800～1600

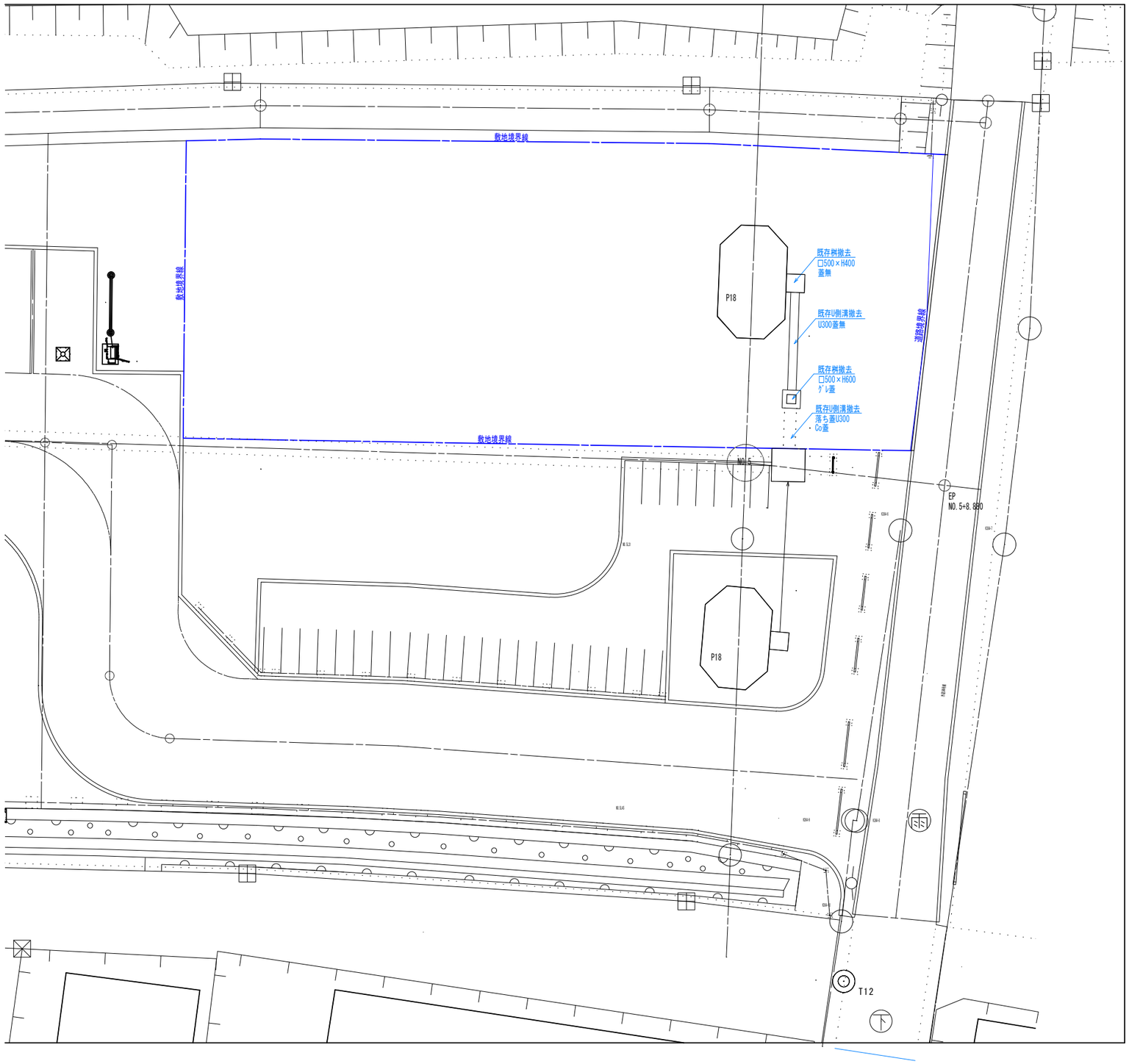


製品ｻｲｽﾞ	寸　法　表（単位：mm）							材　料　表　（10m当たり）					
	H	B	h	t	t1	h1	h2	使用枚数（枚）	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ（m3）	基礎砕石（㎥）	敷モルタル（m3）	基礎型枠（㎡）	排水層（m3）
H1000	901～1,000	850	800	110	110	100	140	5.00	1.050	10.500	0.170	2.000	0.420
H1100	1,001～1,100	950	790	110	120	100	250	5.00	1.150	11.500	0.190	2.000	0.750
H1200	1,101～1,200	1,000	790	110	120	300	150	5.00	1.200	12.000	0.200	2.000	0.450
H1300	1,201～1,300	1,050	790	110	120	300	250	5.00	1.250	12.500	0.210	2.000	0.794

海老名市
Ebina City

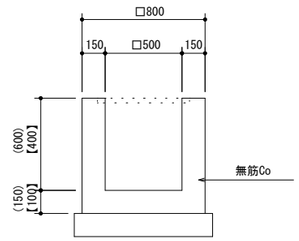
図面名称	施設構造図-3
縮尺	図示
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	G-6

撤去平面図　S=1:100



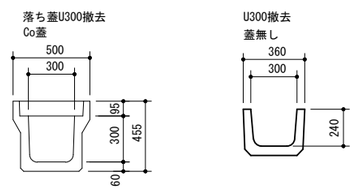
記号	名称	形状・寸法
	橋脚排水撤去P18河川側	
□	桝撤去	□500×H400蓋無し
▣	桝撤去	□500×H600 ｸﾞﾚｰﾁﾝｸﾞ蓋
═══	側溝撤去	U300　蓋無し
═ ═	側溝撤去	落ち蓋U300　Co蓋

桝1：撤去　S=1/20(40)



＊（　）寸法は桝撤去□500×H600グレーチング蓋　撤去とする。
＊【　】寸法は桝撤去□500×H400蓋無し　撤去とする。

Ｕ型側溝撤去　S=1/20(40)



海老名市
Ebina City

図面名称	撤去平面図・撤去構造図
縮尺	図示
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	G-7

電気設備工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名称　河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

2．工事場所　海老名市河原口字中河原272-1ほか

3．建物概要

建物名称	構造	階数	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備考

4．工事種目（◎印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別					備考
◎電灯設備						
・動力設備						
・電熱設備						
・雷保護設備						
・受変電設備						
・電力貯蔵設備						
・発電設備						
・構内情報通信網設備						
・構内交換設備						
・情報表示設備						
・映像・音響設備						
・拡声設備						
・誘導支援設備						
・テレビ共同受信設備						
・監視カメラ設備						
・防犯・入退室管理設備						
・自動火災報知設備						
・中央監視制御設備						
・						
◎構内配電線路						
・構内通信線路						
・電波障害調査	別紙仕様書による					

5．指定部分　※　なし　・　あり（工　期：令和　年　月　日）
（対象部分：　　）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編，最新版）」，国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編，最新版）」及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「電気設備工事監理指針（最新版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。

2．特記事項

（1）項目は番号に◎印のついたものを適用する。

（2）特記事項は，◎印のついたものを適用する。◎印の付かない場合は，※印のついたものを適用する。
◎印と※印の付いた場合は，共に適用するものとする。

章	項目	特記事項
一般共通事項	1．適用基準等	※　工事写真の撮り方（建築設備編）（国土交通省大臣官房営繕部監修） ※　営繕工事写真撮影要領・同解説　設備工事編（国土交通省大臣官房庁営繕部監修） ※
	2．機材等	※　本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	3．機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。 また，「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督職員に提出するものとする。
	4．保険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出する。
	5．施工計画書・施工図等	工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し，監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち，工種別施工要領書及び施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。
	6．手続き	工事の着手，施工及び完成において，官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上，請負者が遅滞なく処理する。なお，当該手続きに係る費用は請負者の負担とする。
	7．施工条件	別添の本工事内容説明事項書による。
	8．工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は，ＣＯＲＩＮＳに登録する。 受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	9．事故報告	施工中に事故が発生した場合は，直ちに監督職員に通報するとともに，「事故報告書」（任意様式）を別に指示する期日までに監督職員に提出する。
	10．電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては，電気保安技術者を置くものとする。
	11．工事用電力，水，他	本工事に必要な工事用電力（本受電後の電力基本料金等も含む），水などの費用は引渡まですべて請負者の負担とする。
	12．工事用仮設物	構内につくることが　※　できる　・　できない
	13．監督員事務所	※　設けない　・　設ける
	14．足場，さん橋類	◎　別契約の関係請負者が設置した物は，無償で使用できる。　・　本工事で設置する。 なお，枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	15．工事表示板	※　設置する　・　設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
	16．工事用通路	※　指定しない　・指定する（図示）
	17．発生材の処理等	発生材の処理 ・　引渡しを要するもの　（　　） ・　特別管理産業廃棄物　（　・　ＰＣＢ使用機器　・　　） 受入施設名・所在地　： ・　現場において再利用を図るもの（　　） ・　再資源化を図るもの

・　その他安定型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：
・　その他管理型廃棄物　（　　）
受入施設名・所在地　：

	18．残土処理	※　構内指示の場所に敷き均し　・　構内指示の場所に堆積　◎　構外搬出
	19．耐震施工	耐震施工における設備機器の固定は，「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修）による。 本工事の施設分類は（　◎　特定の施設　・一般の施設　）で地域係数は１とし，設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお，（　）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

設計用標準震度	特定の施設		一般の施設	
設置場所	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階，屋上及び塔屋	2.0 (2.0)	1.5 (2.0)	1.5 (2.0)	1.0 (1.5)
中層階	1.5 (1.5)	1.0 (1.5)	1.0 (1.5)	0.6 (1.0)
一階及び地下層	1.0 (1.0)	0.6 (1.0)	0.6 (1.0)	0.4 (0.6)

重要機器類
◎　配電盤　　◎　発電装置　・ＵＰＳ装置　・直流電源装置
・　交換機　　◎　受信機（自立型）　・中央監視装置　・情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても，耐震を考慮し，据付等を行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。

一般共通事項	20．風圧加重	※　風速６０m／ｓ　・　m／ｓ ・　雷保護設備受雷部　・　照明ポール・基礎　◎　テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト
	21．他工事との工事区分	他工事との工事区分は図面に特記なき場合，別途「工事区分表」による。
	22．保温，結露防止	外部に面する壁，天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは，保温，結露防止処理を行う。
	23．電線類	本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。
	24．合成樹脂製可とう管	合成樹脂製可とう管は，ＰＦ管とする。（温度による分類はタイプ−25を標準とする）
	25．二種金属製可とう管	露出箇所　◎　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし いんぺい箇所　・　ビニル被覆あり　・　ビニル被覆なし
	26．電線本数，管路など	分電盤，制御盤，端子盤などの２次側以降の配線経路，電線太さ，電線本数，管径などは，監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 また，機械室等の床配線は図面上ＰＦ管で記載している場合であっても，立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし，その場合は全長にわたって接地線を設ける。
	27．インサート	鋼鉄製とする。なお，床版で保温板打込み部分は，断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。
	28．呼び線	長さ１m以上の通線しない電線管には，１．２mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。
	29．フラッシュプレート	図面に特記なき場合，（　・　金属製（ステンレス・新金属も含む）　※　樹脂製　）とする。
	30．フロアプレート・ベース	※　水平高低調節付（空転防止リング付）　・　銅合金製　・　アルミ合金製
	31．支持金物，固定金物	屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製（ＳＵＳ３０４）とし，屋外機器のアンカーボルトのナットには，ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。 また，振動をともなう機器の支持金物のナットは，ダブルナットとする。
	32．あと施工アンカー	施工方法　◎　接着系　（　※　有機系　・　接着剤　） ◎　金属拡張系　（　※　本体打込式　・　　） 性能・施工確認　※　行わない　・　行う
	33．接地極の種別・表示等	接地極は図面に特記なき場合，下表による。なお，ＥＢの長さは１，５００mmとする。 ただし，Ｄ＝１０は１，０００mm，Ｗ＝３０は１，２００mmとする。 鋳社機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。

接地の種別	記号	接地抵抗値	接地極の規格，数量
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＰ×２
・　雷保護設備用接地	ELA	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×　連−　組
・　共同接地	EA・ED・ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
・　共同接地	EA・EC・ED	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
・　Ａ種	EA	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
・　Ｂ種	EB	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×２
・　Ｃ種	EC	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
◎　Ｄ種	ED	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・			
・　構内交換機（陽極）用	Et	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−　組
・　本配線盤の保安装置	EAt	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
・　電話引込口の保安器	EDt	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・　拡声増幅器	EDa	100Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×１
・　防犯装置用	ES	Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−　組
・			
・　測定用	Eo	――――	ＥＢ(Ｄ＝10又は＝30)×１
・　避雷器用（低圧用）	ELL	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
・　避雷器用（高圧用）	ELH	10Ω以下	ＥＢ(Ｄ＝14又は＝40)×３連−２組
・　構造体接地			鉄筋構造体利用（通信用も含む）

34．総合調整

各機器の個別運転後に総合調整を行い，報告書を提出すること。
・　受変電設備　・　発電設備　・　照明装置　・　構内交換設備　・

35．塗装工事

下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。
※　屋外　※　屋室　・

電灯設備	① 工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　分電盤類　◎　機器類
	② 電気方式	◎　幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ ・　分岐　単相２線式　１００Ｖ 幹線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線
	③ 施工方法	分岐　電灯　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　◎　ケーブル配線　・　その他（　　） コンセント　◎　合成樹脂管配線　・　金属管配線　・　フロアダクト配線　・　その他（　　） 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　◎　金属製
	④ 照明器具	ＬＥＤ　◎　一体型　・　直管型(JEL801)　・　直管型(JEL802)　◎　ダウンライト　・　その他
	⑤ 防災用照明器具	・　非常用照明器具　（　※　電池内蔵形　・　電源別置形　） ・　誘導灯　（　※　ＬＥＤ誘導灯　・　誘導標識　）
	⑥ 照度測定	照度測定は，原則，本工事範囲全て行うものとするが，これにより難い場合は監督職員との協議による。
	⑦ ハイテンションアウトレット	※　鋼合金製　・　アルミ製 ※　飛び出し形　・　外部固定形
	⑧ 人感センサブレート	照明の人感センサ制御を行う部屋には，注意プレートを設置する。
	⑨ 予備配管	埋込形分電盤からの立上り予備配管は，予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本，５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上，天井裏まで立上げる。 壁下に配管・配線スペースのない壁には，１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。
動力設備	１．工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　制御盤類
	２．電気方式	◎　幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ ◎　分岐　三相３線式　２００Ｖ
	３．施工方法	幹線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線　◎　その他 分岐　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　その他 屋外露出　◎　合成樹脂管配線　◎　金属管配線　◎　ケーブル配線 ボックス　・　合成樹脂製　◎　金属製
	４．警報盤	※　壁掛形（電源装置　※　内蔵　・　別置　）　・
	５．電磁開閉器用押釦（遠方操作用）	※　埋込連用形配線器具　・
	６．機器への接続	電動機などへの接続は本工事とする。
	７．電動機等の接地	図示以外は金属製管接地とする。
	８．進相用コンデンサ	各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
	９．電気自動車用充電装置	・　機器類　・ ・　普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・　屋外型　・　屋内型 ・　急速充電装置　直流電圧　Ｖ
電動設備	１．電気方式	幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ 分岐　相　線式　Ｖ
	２．施工場所及び面積	・　（　㎡）　・　（　㎡）

電気設備	１．工事範囲	・　受雷部　・　引下げ導線　・　接地極埋設
	２．受雷部	・　突針　・　棟上導体　・　笠木（別途）など
	３．避雷導線	・　引下げ導線　・　構造体利用
	４．接地極	※　接地極埋設　・　構造体利用（測定時期　　回数　　）
	５．測定用補助接地極	・　設置
受変電設備	１．工事範囲	◎　機器類　・
	２．電気方式	◎　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ・　低圧　三相３線式　２００Ｖ　・　低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ
	３．引込ケーブル	・　ＥＭ−ＣＥＴ３８°　◎　ＥＭ−ＣＥＴ６０° ・　ＥＭ−ＣＥ３８°−３Ｃ　・　ＥＭ−ＣＥ６０°−３Ｃ　・
	４．配電盤	・　屋内形　◎　屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）
	５．主遮断装置	◎　キュービクル式配電盤　・　高圧閉鎖配電盤　・　・
	６．高圧機器類	※　限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ−Ｓ）　◎　高圧交流遮断器（ＣＢ） 定格遮断電流　ｋＡ
	７．変圧器	◎　油入式　・　モールド ・　手動　・　電動　・電磁
	８．進相用コンデンサ	◎　単相変圧器　７５ｋＶＡ　◎　三相変圧器　１５００ｋＶＡ （油入式：ＪＩＳ Ｃ4304-2013適合品 乾式：ＪＩＳ Ｃ4306-2013適合品）
	９．リアクトル	※　低圧　◎　高圧 ◎　油入式　・　モールド
	10．自動力率制御装置	◎　６％　・　１３％ ◎　油入式　・　モールド
	11．測定用補助接地極	※　メーターリレー形　・　静止形
		◎　設置
電力貯蔵設備	１．直流電源装置	※　非常用照明器具電源，受変電設備制御電源供用　・　受変電設備制御専用　・　非常用照明器具専用 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　長寿命形ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・　リチウムイオン蓄電池
	２．交流無停電電源装置	用途（　　） 容量　ｋＶＡ 蓄電池　・　鉛蓄電池（　・　ＨＳ　・　ＣＳ　・　ＭＳＥ　・　長寿命形ＭＳＥ　・　） ・　アルカリ蓄電池（　・ＡＨ　・ＡＭＨ　・　） ・　リチウムイオン蓄電池
発電設備	１．工事範囲	◎　機器類　・
	２．形式	・　簡易形　◎　キュービクル式　・　オープン形　・ ・　屋内形　◎　屋外形
	３．発電機	電気方式 ３相　線式　５０Ｈｚ　電圧　２００Ｖ　定格出力１４５ｋＶＡ　運転時間　７２　時間
	４．原動機	種類　◎　ディーゼル　・　ガスタービン　・ 定格出力　ｋＷ以上　（　ＰＳ以上） 始動方式　※　電気式　◎　空気式 冷却方式　◎　ラジエータ式　・　水冷循環式
	５．燃料	種類　◎　軽油　・　灯油　・　Ａ重油 燃料小出槽　９５０Ｌ 主貯油槽　◎　なし　・　あり（　・　別途　・　本工事：満油引渡し　）
	６．太陽光発電装置	太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ 自立運転　・　有　・　無 蓄電池　・　有（定格容量　ｋＷｈ）　・　無
	７．系統連系	・　有　・　無
構内交換設備	１．工事範囲	・　交換機　・　電話機　◎　配線（　・　全部　◎　端子盤以降　）
	２．電話交換機	形式　・　ボタン電話装置　・　デジタルＰＢＸ　・ＩＰ−ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ 回線数　局線　／　回線　内線　／　回線
	３．電話機への配線	電話機１台につき，下記のものを見込む。 ・　ＥＭ−ＴＩＥＦ０．６５−２Ｃ　（　・　２０ｍ　・　） ◎　ＥＭ−ＥＢＴ０．５−２Ｐ　（　◎　２０ｍ　・　） ・　ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ
	４．ローテンションアウトレット（亀甲形）	※　一般電話用　個（　・　納入する　・　取り付ける　） ※　鋼合金製　・　アルミ製
	５．保安器用接地	※　本工事　・　別途工事
通信・情報設備	１．工事範囲及び施工方法	工事範囲：配管 ◎ / 配線 ・ / 機器類 ・ 施工方法：合成樹脂製配線 ◎ / 金属管配線 ◎ / ケーブル配線 ◎ ・　構内情報通信網　◎　◎　・　◎　◎　◎ ・　情報表示　◎　◎　◎　◎　◎　◎ ・　映像・音響　◎　◎　・　◎　◎　◎ ・　拡声　◎　◎　◎　◎　◎　◎ ・　誘導支援　◎　◎　◎　◎　◎　◎ ・　テレビ共同受信　◎　◎　◎　◎　◎　◎ ・　テレビ電波障害防除設備　・　・　・　・　・　・ ・　監視カメラ　◎　◎　◎　◎　◎　◎ ・　駐車場管制設備　・　・　・　・　・　・ ・　防犯・入退室管理　◎　・　・　◎　・　・ ボックス　・　合成樹脂製　◎　金属製　・
	２．構内情報通信網設備	種類　・　１０ＢＡＳＥ−Ｔ　・　１００ＢＡＳＥ−ＴＸ　・　１０００ＢＡＳＥ−Ｔ ◎　１０ＧＢＡＳＥ−ＳＲ　・
	３．情報表示設備	◎　親時計　１回線（　※　壁掛形　・　自立形　） （　・　電子式チャイム組込　・　プログラムタイマ組込　）
	４．映像・音響設備	・　増幅器　Ｗ ・　ＶＴＲ　（　・　ＤＶＤ　・　ＢＤ　・　Ｓ−ＶＨＳ　・　） ・　プロジェクタ（　※　前面投射式　・　背面投射式　） ・　音響設備　（　・　ＣＤ　・　オーディオレコーダー　・　カセット　・　）
	５．拡声設備	◎　一般放送用　・　非常放送兼用 ◎　増幅器　１８０Ｗ（　※　卓上形　◎　キャビネットラック形）
	６．誘導支援設備	◎　インターホン　・　トイレ等呼出装置　・　音声誘導装置
	７．テレビ共同受信設備	◎　テレビアンテナ（　◎　ＡＵ−１　・　ＣＳＢＳＡ−　・　ＣＳＡ−　） ◎　地上波アンテナマスト（　※　壁面取付形　・　自立形　） ・　ＢＳアンテナマスト（　・　壁面取付形　・　自立形　） ◎　電界強度測定及び受信調査（　※　全チャンネル　）
	８．テレビ電波障害防除設備	・　事前調査　・　機器類
	９．監視カメラ設備	・　白黒方式　※　カラー方式 ◎　伝送方式　（　・　アナログ　◎　ネットワーク　）
	10．駐車場管制設備	・　管制盤　・　検知器（　・　光線式　・　ループコイル式） ・　信号灯・警報灯　・　発券機　・　カーゲート　・　カードリーダー
	11．防犯・入退室管理設備	◎　接地工事（　※　本工事　・　別途　）
火災報知設備	１．工事範囲	◎　配管　◎　配線　◎　機器類
	２．火災報知装置	◎　壁掛形　・　自立形 ・　受信機　型　級　回線（　アドレス） ◎　複合盤　Ｐ型１級　４５回線（火報　回線，自動閉鎖　回線，ガス漏れ　回線） ・　副受信機　型　級　回線 ◎　機器収容箱　・　専用形（　・　埋込形　・　露出形　）　◎　屋内消火栓箱に組込み ◎　感知器類　型用　総数　個（　・　自動試験機能付　）
	３．非常警報装置	◎　非常ベル（自動式サイレンを含む）　・　非常放送装置
	４．自動閉鎖装置	◎　連動制御器 ◎　自動閉鎖装置（　◎　防火戸用　・　防煙ダンパ用　◎　防火シャッター用　） ◎　感知器
	５．ガス漏れ火災警報装置	・　受信機　回線（　・　都市ガス用　・　液化石油ガス用） ・　単独（　・　壁掛形　・　自立形　）　・　火災受信機などとの複合盤 ・　検知器 ・　併設　・　連動 ・　定格電圧（　・　ＡＣ１００Ｖ　・　ＤＣ２４Ｖ　） ・　ガス検知出力信号（　・　有電圧出力方式　・　無電圧接点方式　）
	６．消火器類	・　消火器　種別　・　数量　本 ・　消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面

中央監視制御設備	１．工事範囲	・　配管　・　配線　・　機器類
	２．監視制御対象設備	・　動力設備　・　受変電設備　・　発電設備　・　火災報知設備
	３．表示操作盤	・　壁掛形　・　自立形 組込み機器　・ ・　・
	４．監視制御装置	構成機器　・　グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・　操作卓 ・　監視操作装置　・　信号処理装置　・　伝送装置　・　分散処理装置 ・　中央処理装置　・　補助記憶装置　・　記録装置　◎　電源装置 ・　帳票用印字装置（　・　インクジェット式　・　写真式　）
構内配電線路	① 工事範囲	◎　管路　◎　配線　◎　機器類
	② 電気方式	・　高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ ◎　低圧　三相３線式　２００Ｖ ◎　低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ ◎　低圧　単相２線式　１００Ｖ
	③ 布設方法	※　地中埋設式（　◎　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管　）　・　架空線式
	④ 柱上機器	・　高圧負荷開閉器　※　一般用　・　耐重塩じん用 ※　地絡継電器付き（※　方向性　・　無方向性） ・　避雷器　※　一般用　・　耐塩用 ・　高圧カットアウト，がいしなど　※　一般用　・　耐塩用
	⑤ 高圧ケーブルの端末処理	屋外側　※　一般用　・　耐塩用 ※　処理者銘板取付（屋内外共，線名，作業日，氏名を表示）
	⑥ その他	東京電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。
	７．外灯設備	・　定格電圧　Ｖ　Ｗ
	８．沈下対策	地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は，沈下対策を施す。（　　）
	⑨ 標識シート	・　高圧ケーブル　◎　地中幹線ケーブル
	10．予備配管	屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。 分電盤，動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。
構内通信線路	１．工事範囲	◎　管路　◎　配線
	２．用途	◎　電話用　・　時計，拡声用　・　火災報知用　◎　インターホン
	３．施工方法	※　地中埋設式（　◎　ＦＥＰ　・　ＰＥ　・　厚鋼電線管）　・　架空線式
	４．標識シート	◎　弱電用

表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし，これによりがたい場合は監督員と協議する。

	電力設備 名称	測点	取付高（mm）	通信設備 名称	測点	取付高（mm）
電力共通	取引用計器	地上〜室中心	約 1,800	引込線架の高	地上〜引込点	
	引込開閉器	床上〜中心	1,800〜2,200	電 集合保安器箱	天井下〜上端	200
	分電盤	床上〜中心	1,500(上端1,900以下)	端子盤(屋下、室内)	床上〜下端	300
				話 〃（ＥＰＳなど）	床上〜中心	1,500
				壁付アウトレット(一　般)	床上〜中心	300
				〃（和　室）	〃	150〜200
電灯	スイッチ（一　般）	床上〜中心	1,300	時 壁掛形親時計	床上〜中心	1,500(上端2,000以下)
	〃（和　室）	〃	1,200	計 子時計	〃	2,300
	コンセント(一　般)	〃	300	・ 壁掛形スピーカ	〃	2,300
	〃（和　室）	〃	150〜200	拡 壁付アンテナ	〃	1,300
	〃（台　上）	台上〜中心	100	声 壁付インターホン(一　般)	床上〜中心	1,300
	〃（ファン用）	床上〜下端	ファン下端	〃（身体障害者）	〃	1,300
	〃（扉　開）	床上〜中心	800〜1,000	壁付アウトレット(一　般)	〃	300
	〃（車　庫）	〃	1,300	通 信 〃（和　室）	〃	150〜200
	〃（機械室）	〃	500〜1,000	設 機器収容箱	天井下〜上端	200
	〃（土　間）	〃	800〜1,300	備 直列ユニット(一　般)	床上〜中心	300
	プラケット(一　般)	床上〜中心	2,100〜2,300	〃（和　室）	〃	200
	〃（踏　場）	〃	2,000〜2,500	警 表示盤	床上〜中心	2,300
	〃（鏡　上）	鏡上端〜中心	150	報 壁付食信機	〃	1,300
	避難口誘導灯	床上〜下端	1,500以上	機器収容箱	〃	800〜1,500
	廊下通路誘導灯	床上〜上端	1,000以下	発信機	〃	800〜1,500
				火 表示灯	床上〜中心	2,100
				災 ベル	〃	2,300
				報 液化石油ガス用検知器	床上〜上端	250
				知 都市ガス用検知器（軽貨）	天井〜上端	150
				器 〃（重貨）	床上〜上端	250
動力	壁掛形制御盤	床上〜中心	1,500(上端2,000以下)			
	開閉器箱	〃	1,500			
電磁開閉器用ボタン		〃	1,300			
非常ボタン(便所用)		床上〜中心	900			
身障者用	壁付インターホン(親機)	〃	1,300			
	〃（玄関子機）	〃	1,100			
	廊下表示灯(復旧ボタン付)	〃	1,300			
	身障表示ランプ	〃	1,500			
	スイッチ	〃	1,100			

「完成書類」関係

※　見開きＡ３（製本Ａ４判）　竣工図、施工図　2部
※　完成図面電子データ（JWW形式及びPDF形式）　1式
※　本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類　1式
※　建築物等の維持・保全に関する資料　1式
※　その他監督職員が指示したもの　1式

工事写真

※　作成する　・　作成しない

工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。

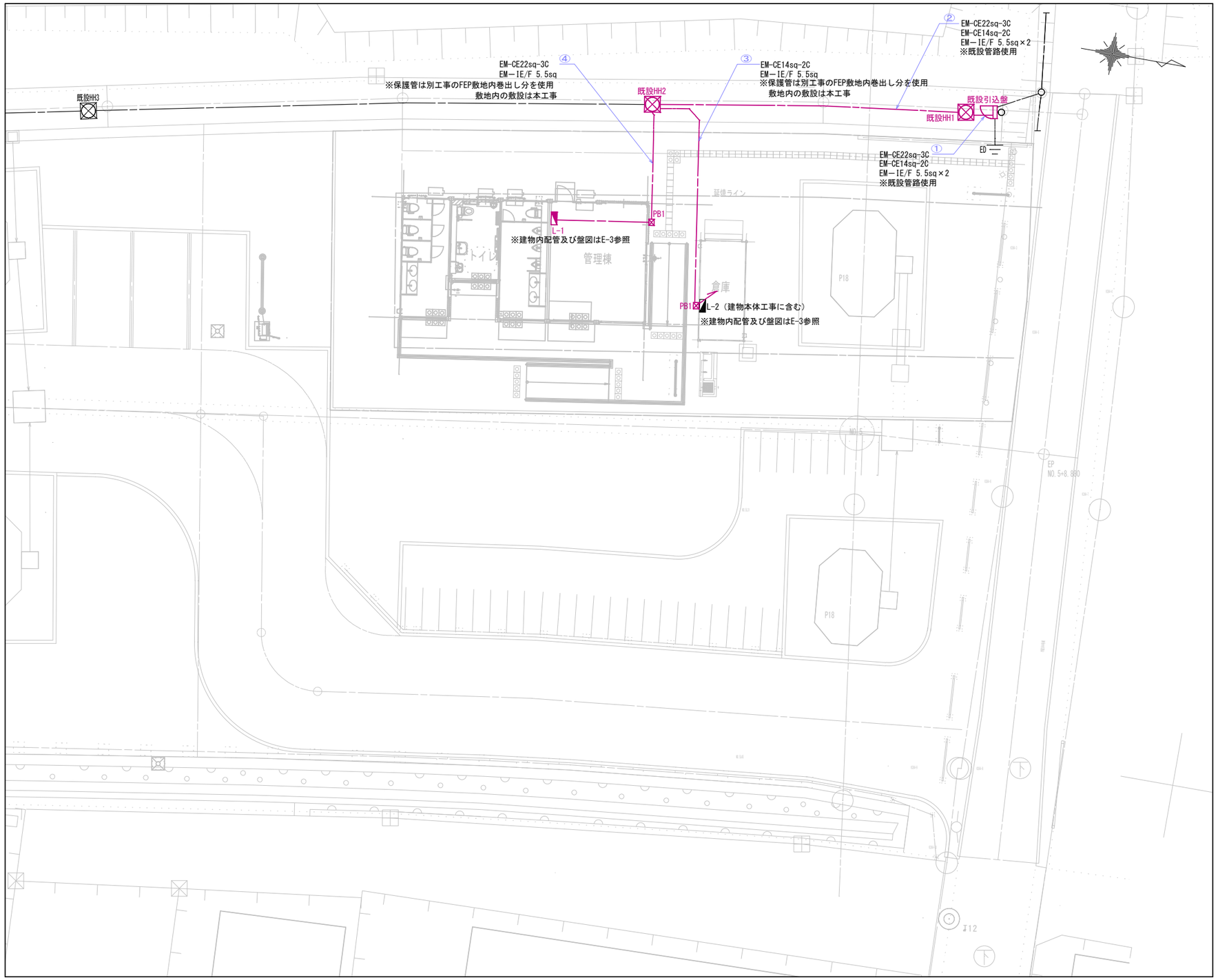
注記：機器及びシステム参考図について

本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

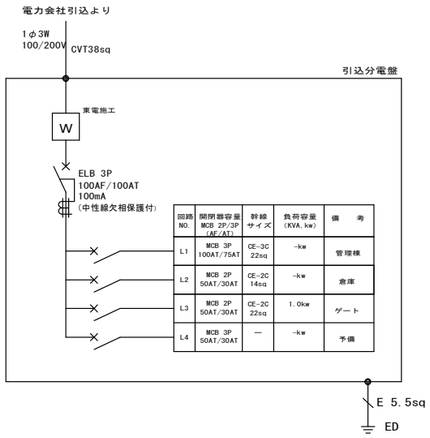
海老名市
Ebina City

図面名称	電気設備工事特記仕様書
縮尺	N/S
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	E-1

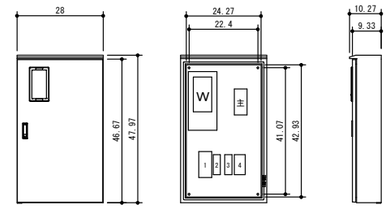
屋外電気設備平面図



電灯引込分電盤　盤結線図・姿図（別工事）



回路NO.	開閉器容量 MCB 2P/3P (AF/AT)	幹線サイズ	負荷容量 (KVA,kw)	備　考
L1	MCB 3P 100AT/75AT	CE-3C 22sq	-kw	管理棟
L2	MCB 2P 50AT/30AT	CE-2C 14sq	-kw	倉庫
L3	MCB 2P 50AT/30AT	CE-2C 22sq	1.0kw	ゲート
L4	MCB 3P 50AT/30AT	—	-kw	予備



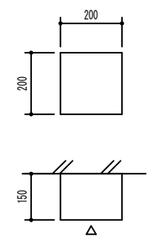
引込分電盤姿図

記号	名称	形状・寸法	備考
	電気設備工		
☒	プルボックス	(PB1)200×200×150	
	配管材	G３６	
———	ケーブル材	EM-CE22sq-3C	
		EM-CE14sq-2C	
		EM-IE/F 5.5sq	

＊引込盤からHH2までの管路については別工事で実施する。
本工事はHH2からの管路敷設及び引込盤からの配線を行う

プルボックス　S=1:10（20）

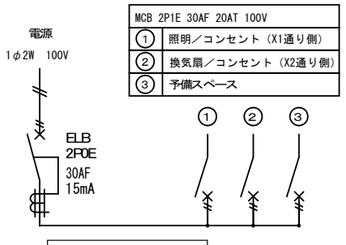
◎国土交通仕様、防水かぶせ型
※塗装の場合は外壁類似色とする



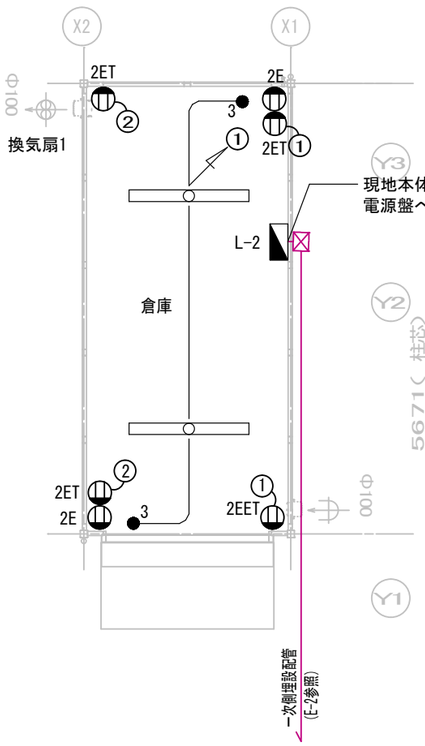
（ＰＢ１）
倉庫壁面

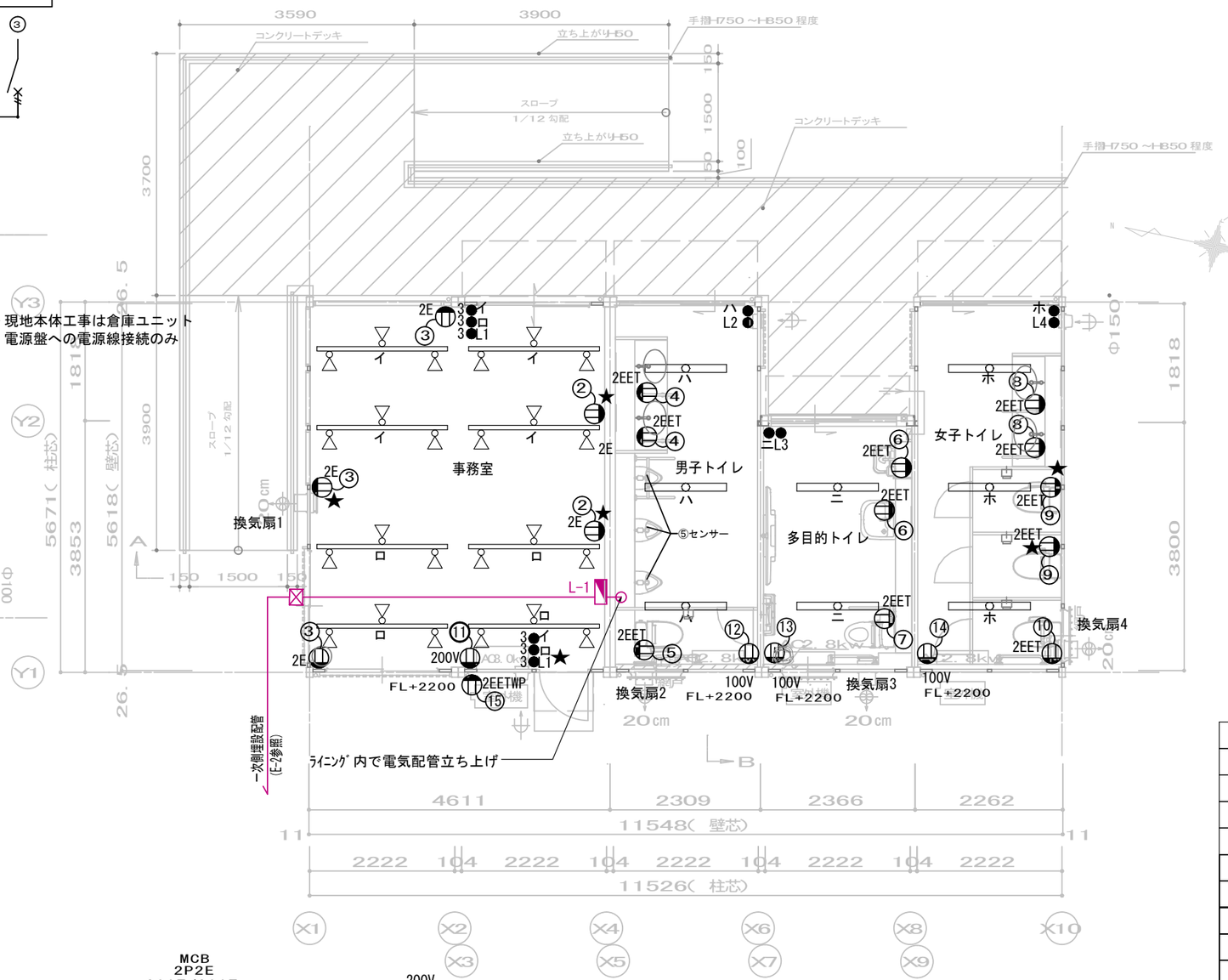
海老名市
Ebina City

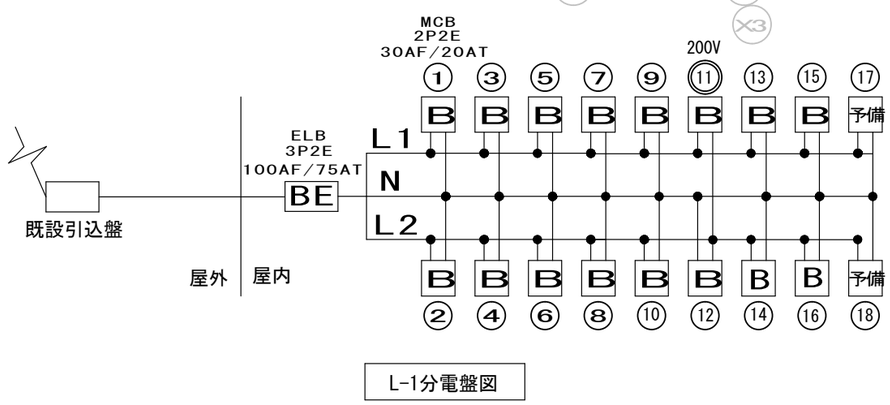
図面名称	屋外電気設備平面図
縮尺	A1:1/100　A3:1/200
図面番号	E-2
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)



L-2分電盤図







L-1分電盤図

凡例		
記号	名称	
	LEDﾍﾞｰｽﾗｲﾄ4000lm(直付)人感ｾﾝｻｰ式 XFX440ANNLE9	
	LED屋内ｽﾎﾟｯﾄﾗｲﾄ OS256463R 同等品	
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾚｰﾙ2000mm	
●	壁付片切ｽｲｯﾁ	15A 照明用
●L	壁付片切ﾊﾟｲﾛｯﾄｽｲｯﾁ	0.5A ｵﾋﾟｶ
●3	壁付3路ｽｲｯﾁ	15A 照明用
2E	壁付2口接地極付ｺﾝｾﾝﾄ	15A 125V×2
2EET	壁付２口接地極付 接地端子付ｺﾝｾﾝﾄ	15A 125V×2
2EETWP	壁付２口接地極付 接地端子付防水ｺﾝｾﾝﾄ	15A 125V×2
100V	ｴｱｺﾝ用ｺﾝｾﾝﾄ(100V)	15/20A共用 125V
200V	ｴｱｺﾝ用ｺﾝｾﾝﾄ(200V)	
	入線ｶﾊﾞｰ	
L	電灯分電盤	
	誘導灯	

スイッチ・コンセントの高さは特記なき限り下記とする。
スイッチ： FL+1200
コンセント： FL+300
防水コンセント：ハウス下端+700
※男子トイレ，多目的トイレ，女子トイレ，屋外 の スイッチ・コンセントは全て鍵付き
★‥露出ボックス

管理棟				
	①	照明・換気扇	⑩	コンセント
	②	コンセント	⑪	エアコン用200V
	③	コンセント	⑫	エアコン用100V
	④	コンセント（電気温水器用）	⑬	エアコン用100V
	⑤	コンセント（小便器センサー共）	⑭	エアコン用100V
	⑥	コンセント（電気温水器用）	⑮	屋外用防水コンセント
	⑦	コンセント	⑯	空き回路
	⑧	コンセント（電気温水器用）	⑰	予備
	⑨	コンセント	⑱	予備

海老名市
Ebina City

図面名称	屋内電気設備平面図・分電盤図	図面番号	E-3
縮尺	A1:1/40 A3:1/80		
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)		

機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

1．工事概要

1．工事名称　河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)

2．工事場所　海老名市河原口字河原272-1ほか

3．建物概要

建 物 名 称	構　造	階　数	延床面積(㎡)	建築面積(㎡)	消防法施行令別表第一による用途区分	備　考

4．工事種目（○印のついたものを適用する。）

工事種目 ＼ 建設別及び屋外	工　事　種　別								屋　外
○空気調和設備									
○換気設備									
・排煙設備									
・自動制御設備									
○給水器具設備									
○給水設備									
○排水設備									
・給湯設備									
・消火設備									
・厨房機器設備									
・ガス設備									
・さく井設備									
・浄化槽設備									
・昇降機設備									

5．指定部分　※ なし　・ あり　（工　期：平成　年　月　日）
（対象部分：　　）

6．設備概要　（○印のついたものは、主要方式を示す）

方　式	設　備　概　要	
空気調和方式等	・空気調和	・全空気方式　・ファンコイルユニット, ダクト併用方式　・パッケージ方式
	・温風暖房	・全空気方式　・ファンコンベクター, ダクト併用方式
	・直接暖房	・温水暖房　・
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御	
給水方式	・水道直結方式　・高置タンク方式　・タンクレスブースター方式　・	
排水方式	建物内の汚水及び雑排水（　分流式　・　合流式） 建物外の汚水及び雑排水（　分流式　・　合流式） 放流先　汚　水　（　・　下水道直放流　・　し尿浄化槽） 雑排水　（　・　下水道直放流　・　し尿浄化槽　・　側溝　・　別途興）	
給湯方式	・局所式　・中央式	
消火設備方式	・屋内消火栓　（・　湿式　・　乾式）　・連結送水管　・　屋外消火栓 ・スプリンクラー　（・　湿式　・　乾式）　・不活性ガス消火　・　泡消化 ・粉末消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火	
ガス設備方式	・都市ガス　種別（　　）　kJ/㎥N（kcal/㎥N）（供給圧力　Pa）　・　液化石油ガス	

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項　（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編、最新版）」（以下「標準仕様書」という。）、同監督編・環境調整編の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編、最新版）」（以下「標準図という。）、及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「機械設備工事監理指針（最新版）」による。

（2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2．特記事項　（1）項目は番号に○印がついたものを適用する。

（2）特記事項は、○印のついたものを適用する。△印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

（▲印、▽印のついた場合は、共に適用するものとする。

章	項　目	特　記　事　項
一般共通事項	1．適用基準等	○ 工事写真の撮り方（建築設備編）（国土交通省大臣官房営繕部監修） ・
	2．機　材　等	※　本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。 ※　本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。 ※　使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。
	3．機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。 また、設備機材は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して、承諾を受ける。なお、標準仕様書に規定される試作品、試験成績書等を含む。
	4．保　険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで、火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出のこと。
	5．施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書および施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。
	6．工事実績情報の登録	請負額が５００万円以上の場合は、ＣＯＲＩＮＳに登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。
	7．手続	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。 なお、当該手続きに係わる費用は、請負者の負担とする。
	8．事故報告	施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に連絡するとともに、任意様式にもとづき「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	9．電気保安技術者	※　適用する　・　適用しない
	10．技能士の適用	本工事に下記の主該職種技能士（・１級・２級）を適用させる。（資格証の写しを提出する） ・配管（配管工事）　・建築板金（ダクト製作及び取付け）　・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（チリングユニット、パッケージ形空気調和機の据付及び調整）
	11．足場等	※　別契約の関係該負者が変更したものの工事限で使用できる。　・　本工事で設置 仲組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省）」によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。
	12．工事表示板	※　設置する　・　設置しない 海老名市公共工事共通事項書による
	13．監督員事務所	※　設けない　・　設ける
	14．工事用電力 水，その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続などの費用はすべて引渡しまでに請負者の負担とする。
	15．工事用仮設物	構内に作ることが　※　できる　・　できない
	16．残土処理	・構外搬出　・　構内指示の場所に散き均し　・　構内指示の場所にたい積
	17．発生材の処理	（1）建設リサイクル法の規定に基づく通知書等の該当　・　なし　・　あり（　　） （2）フロン対策法回収破壊法の規定に基づく措置の該当　・　なし　・　あり（　　） （3）引渡しを要するもの　※　なし　・　あり（　　） （4）廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し、場外搬出の上、適切に処分すること。 （ア）特別管理産業廃棄物 ※　なし　・　あり　（　　） （イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設 ・コンクリート　（　　） ・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　　） ・木　　材　（　　） ・アスファルトコンクリート　（　　） （ウ）その他発生材の処分を行う施設 ・　コンクリート ガラ等の安定型の産業廃棄物（　　） ・　木くず等の管理型の産業廃棄物　（　　） 建設リサイクル法 ・ 対象工事 落札が決定した業者は、分別解体等省令で定める様式第１号別表１～３のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し、契約締結前に、契約担当者等に説明書を提出するものとする。また、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第１８条に基づいて書面により報告すること。 ・　対象外工事

⑲ 総合調整

※　本工事において下記の項目の総合調整を行い、報告書を提出する。（　部）　・　別途

総合調整の項目

・ 風量調整　・ 水量調整　・ 室内外空気の温湿度測定

・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定　◯ 始業運転状態の記録

・ 実施水段の持管理系運度の測定　・ L型浄化槽放流水質の測定

・ 機器の絶縁抵抗の測定　・ 水圧調整

測定箇所は、監督職員の指示による。

⑱ 容量等の表示

（1）機器類の能力、容量等は指示された数値以上とする。

（2）電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

20．耐震措置

機器、配管、ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け、取付け又は支持を行う。

耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課

２００５年版監修）による。

設置場所	設計用標準震度			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、屋上及び塔屋	2.0（2.0）	1.5（2.0）	1.5（2.0）	1.0（1.5）
中層階	1.5（1.5）	1.0（1.5）	1.0（1.5）	0.6（1.0）
一階及び地下階	1.0（1.0）	0.6（1.0）	0.6（1.0）	0.4（0.6）

注（1）設置場所の区分は標準仕様書による。 注（2）（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。

（1）本工事の施設は（・一般の施設　・特定の施設）とする。

（2）地域係数は1.0とする。

（3）100kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても耐震を考慮し、据付又は取付けを行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

（4）重要機器類（蓄熱タンク、空水タンクは機器表による。）

（5）昇降機のつり合おもりブロックの脱落防止は、十分な強度を有する方法で固定し、水平和直方向の地震力に対して、つり合おもりが枠から脱落しないようにした構造とすること。

㉑ 弁等のサイズ

特記されていない弁等のサイズは、機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。

㉒ 電線類

本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお、標準仕様書第６編通信・情報設備工事　第１章　機材　第１節　電線類等　1.1.1 電線類等　表1.1.1電線類に次の種類を追加する。

（ＥＭ－ＣＥＥＳ、ＥＭ－ＵＴＰ、ＥＭ－ＭＥＥＳ、ＥＭ－ＥＢＴ）

23．溶接部の非破壊検査

対象配管系統　・ 冷温水　・ 冷却水　・ 消火（水用）　・ 油　・ ガス

検査の種類　・ 浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）　・ 放射線浸透検査（ＲＴ）

24．はつり

既存のコンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴明けは、原則超音波検査後にダイヤモンドカッターによる。

㉕ 支持金物・固定金具

（1）　ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし、ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。

（2）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

（3）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は、合成樹脂製の支持管とする。

㉖ 埋戻し土・盛土

図面に特記のない場合は下記によるほか共通仕様書第２編による。ただし、各工事種目で別に指定されたものは除く。

・ 根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の間）　・ 山砂の間

㉗ 地中埋設標及び埋設表示用テープ

地中埋設標及び埋設用テープは、下記により屋外埋設部分に布設する。なお、地中埋設標の設置場所は図示による

ほか、屋外埋管等の分岐及び曲がり部に設置する。

（1）給水管　地中埋設標　・埋設用表示テープ　（2）ガス管　地中埋設標　・埋設用表示テープ

（3）油　管　地中埋設標　・埋設用表示テープ　（4）消火管　地中埋設標　・埋設用表示テープ

㉘ 保　温

・ 主機械室は下記の定とし、他は各階機械室とする。

主機械室：

給排水衛生設備工事の保温の種別

区　分		施　工　箇　所	国土交通省記号
管（継手及び弁類を含む）	給　水　管	屋内露出（一般居室、廊下）	・a・（ロ）・Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫、共用廊	・b・（ロ）・Ⅰ
		天井内、パイプシャフト内及び竪隠壁中	・c・（ロ）・Ⅰ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・d・（ハ）・Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・e・（ハ）・Ⅰ
	給湯管（断熱管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	・a・（ロ）・Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫、共用廊	・b・（ロ）・Ⅰ
		天井内、パイプシャフト内及び竪隠壁中	・c・（ロ）・Ⅰ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・d・（ロ）・Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・e・（ロ）・Ⅰ
機器	銅板製タンク	—	・f・（ロ）・Ⅶ
	貯湯タンク	—	・g・（ロ）・Ⅸ
	膨　気　筒	隠ぺい箇所	・h・（イ）・Ⅹ

空気調和設備工事の保温の種別

区　分		施　工　箇　所	国土交通省記号
管（継手及び弁類を含む）	温　水　管（断熱管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	・A・（ロ）・Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫、共用廊	・B・（ロ）・Ⅰ
		天井内、パイプシャフト内及び竪隠壁中	・C・（ロ）・Ⅰ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・D・（ロ）・Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・E・（ロ）・Ⅰ
	冷　媒　管	屋内露出（一般居室、廊下）	・保温付冷媒管
		機械室、書庫、倉庫、共用廊	・保温付冷媒管
		天井内、パイプシャフト内及び竪隠壁中	・保温付冷媒管
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・保温付冷媒管
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・化粧カバー＋保温付冷媒管
	冷水及び冷温水管（断熱管を含む）	屋内露出（一般居室、廊下）	・A・（ロ）・Ⅲ
		機械室、書庫、倉庫、共用廊	・B・（ロ）・Ⅲ
		天井内、パイプシャフト内及び竪隠壁中	・C・（ロ）・Ⅲ
		床下、暗渠内（ピット内を含む）	・D・（ロ）・Ⅲ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房などの多湿箇所（厨房の天井内は含まない）	・E・（ロ）・Ⅲ
機器	タンク　冷水タンク　冷温水タンク	—	・F・（ロ）・Ⅸ
	タンク　温水タンク　温水タンク　熱交換器	—	・G・（ロ）・Ⅸ
	タンク　膨張タンク	—	・G・（ロ）・Ⅶ
	ヘッダ　冷水ヘッダー　冷温水ヘッダー	—	・F・（ロ）・Ⅸ
	ヘッダ　温水ヘッダー　蒸気ヘッダー	—	・G・（ロ）・Ⅸ
一般ダクト	矩形ダクト	屋内露出　一般居室、廊下	・J・（ロ）・Ⅹ　Ⅰ
		機械室、書庫、倉庫	・I・（ロ）・Ⅹ　Ⅰ
		屋内隠ぺい、ダクトシャフト内	・I・（ロ）・Ⅹ　Ⅰ
		屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）	・K・（ロ）・Ⅹ　Ⅰ

一般共通事項

29．塗　装　下記部位に使用する、外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。

※　屋外露出　※　厨室

30．防食処理　土中埋設の調管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（給水装弁・継手を含む）にはペトロタラム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として、防食処理不要の管材とする。）

31．山留め　切取り面にその施所の土質に見合った勾配を保って掘削するが場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。

32．舗装工事　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

33．他工事との取り合い　図面に特記なき場合は、別途「工事区分表」による。

34．施工条件　別添の本工事内容説明事項書による。

空気調和・冷房・暖房設備

1．設計温湿度

	外　気				屋内（調整目標値）			
	一　般　系　統				一　般　系　統			
	温度（SB）	湿度（RH）	温度（SB）	湿度（RH）	温度（SB）	湿度（RH）	温度（SB）	湿度（RH）
夏期	℃	%	℃	%	2.6℃	50%	℃	%
冬季	℃	%	℃	%	22℃	40%	℃	%

2．ばい煙濃度計　取付箇所は図示による。

3．煙　突　※　別途　・　本工事（鋼板厚　mm、高さ　m以上）

4．煙　道　※　煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。　・　図示による。

（煙道径が400mmを超えるものには、排熱口に標番を取り付ける。）

5．ダクトの区分　低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）

・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法　（　・　共板　・　スライド）

6．長方形ダクトの工法

7．風量測定口　取付け箇所は図示による。

※　別途　・　本工事

※　煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm、300mmを超えるものは4.5mmとする。　・　図示による。

（煙道径が400mmを超えるものには、排熱口に標番を取り付ける。）

低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。）

・ アングルフランジ工法　・ コーナーボルト工法　（　・　共板　・　スライド）

取付け箇所は図示による。

・ 図示した位置　・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト　・ 外気取入れダクト

・ 風量調整ダンパーの上流又は下流　・ 空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト

8．チャンバ　（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法寸法を示す。

（2）空気調和機に取付けるサプライチャンバーと及びリタンチャンバーで消毒内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。

（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバーは周点の溶接のないように注意する。

9．防煙ダンパ　（1）復帰方式　※　連続式（電気式（定格入力DC24V、0.5A以下）

（2）復帰動作　※　順送り　・　同時

10．配管材料　（1）冷温水管　※　配管用炭素鋼管（白）　・

（2）冷却水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・

（3）蒸気管（給気管）　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）

（還水管）　※　圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）　・　配管用炭素鋼鋼管（黒）

（4）油管、油用通気管　※　配管用炭素鋼鋼管（黒）　・

（5）膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラー室への水管

（6）空調用排水管　※　配管用炭素鋼鋼管（白）　・

（7）冷媒管　※　断熱材被覆銅管（製造者標準品）　・　銅管

（8）ドレン管　※　保温付硬質塩化ビニル管　・

※　ＪＩＳ又はＪＶＳＫ　・　ＪＩＳ又はＪＶＴＯＫ

11．弁　類　※　ベローズ形　・　スリーブ形

12．調管用伸縮管継手

13．温度計　※　共通仕様書、標準図による他、図示した箇所に取り付ける。（配管用はし形、ダクト用は円形）

・ 空気調和機、温風暖房機まわりの給気ダクト、還気ダクト及び外気ダクト

・ 冷温水ヘッダー（往）及び冷温ヘッダーの各送り管

・ バッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口

14．繊維流量計　※　差圧可動形（※　全数　・　図示による）

差圧可動形の場合、その指示部（・　40A用　個　・　100A用　個　・　250A用　個）を付属する。

・ 固定形（止水コック付）　・　測定用タッピング（32mピトー管流量計用）

15．オイルタンク　（1）オイルタンク本体は図示による。

（2）通気管は専用指示計　※　取付ける　・　取付けない

（3）計量尺は、青銅製、黄銅製又はアルミ製とし、100ttkk実測目盛刻印とする。計量口は蛇付とする。

16．積算流量計　図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。

17．注油口及び指示ｹﾞｼﾞ　標準図（機材　６　）による。

・ 単独形　・ 共用形（・ ローリーアース付）

18．消音内貼り　（1）施工箇所は図示による。

（2）内貼りチャンバー類の寸法表示は、外形寸法とする。

（3）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。

◎ 保　温　（1）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む）、仕様は冷温水管の項による。

（2）屋外露出配管の保温は、給水設備の項による。

（3）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温　※　要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・　不要

（4）排気ダクトの外壁開放部より１ｍ程度保温する。（チャンバーボックスを含む）

（5）冷媒管（断熱被覆銅管）の保温外装

屋内露出部　◎ 保温化粧ケース（樹脂製）　・　外装なし　・

屋外　◎ 保温化粧ケース（樹脂製）　・

（6）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　mmとする。

20．電気工事の範囲　（1）地震感知器の配管配線　※　別途　・　本工事

（2）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から個感知器迄の配線配管は

※　別途　・　本工事

21．塗装　（1）屋内露出横ダクトの塗装（厨室を除く）は　※　行わない　・　行う

（2）屋内露出冷却水配管の塗装（厨室は除く）は　※　行わない　・行う

換気設備

1．準拠事項　［　空気調和　・　冷房　・　暖房設備　］の当該事項に準ずる。

・ 5 ・ 6 ・ 7 ・ 8 ・ 16 ・ 17 ・ 18

2．関放形遠隔器操作ｽｲｯﾁ　※　別途　・　本工事

3．厨房用換気ダクト　※　亜鉛鋼板　・　ステンレス鋼板（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる）

4．厨房用排気ダクト工法　※　アングルフランジ工法　・　コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ）

5．厨房用排気フード　（1）フード周囲の天井（フード面から天井面まで）　※　取り付ける　・　取り付けない

（2）フードコック　※　取り付ける　・　取り付けない

（3）材質（天板とも）　※　ステンレス鋼板（SUS304）　・　亜鉛鋼板

6．多湿箇所の排気ﾀﾞｸﾄ　次の系統のダクトのシールは、標準図（施工４５、４６）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし、水抜き管を設ける。

（　　）

7．塗装　屋内露出横ダクトの塗装（厨室は除く）は　※　行わない　・　行う

排煙設備

1．ダクト　・ 亜鉛鋼板　・ 鋼板製（1.6mm以上）

2．排煙口の形式　・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル

3．排煙口解放装置　・ 可動羽根（スリット共）　・ 可動パネル

4．排煙風量測定方式　建築設定認定機検査業務指導書（（財）日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方式に準ずる。

自動制御設備

1．中央監視制御　中央監視制御装置の構成機能は別紙による。

2．計装工事の配線　（1）屋外・屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。

（2）天井内の隠ぺい配線は、図示に特記がなければケーブル配線とする。

衛生器具設備

1．大便器洗浄弁　不凍結節水弁付とする。

2．便器洗浄用タンク　※　手洗なし　・　手洗付

3．小便器節水装置　※　節水装置（機能は別図による）　・　押ボタン式（不凍結節水弁付）

4．小便器洗浄管　※　埋込　・　露出

5．付属水栓　吊りこま式（節水ご まん式）とする。

6．自動水栓　電源供給方式（　※　ＡＣ１００Ｖ）

7．大便器前火カバー　設ける（ピット内を除く）

16．完成写真

給水設備

1．量水器　（1）親メーター　※　使用　・　貸取り　（2）子メーターは　※　貸取り

2．量水器例　（1）親メーター用　※　水道事業者の指定品　・　標準図（機材５３）

（2）子メーター用　※　標準図（機材５７）　・　水道事業者の指定品

③ 配管材料　（1）一般用

・ ステンレス鋼管（拡管）

・ 塩ビライニング鋼管　（・SGP-VA　・SGP-VB）

・ ポリ粉体ライニング鋼管（・SGP-PA　・SGP-PB）

・ 硬質ポリ塩化ビニル管（・VP　◯ HIVP）

（2）土間配管用（厨房、浴室等のシンダー内含む）

・ ステンレス鋼管（SUS316）

・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）

・ ポリ粉体ライニング鋼管（SGP-PD）

・ 硬質ポリ塩化ビニル管（・VP　◯ HIVP）

（3）屋外土中用

・ ステンレス鋼管（SUS316拡管）

・ 塩ビライニング鋼管（SGP-VD）

・ ポリ粉体ライニング鋼管（SGP-PD）

・ 硬質ポリ塩化ビニル管（・VP　◯ HIVP）

・ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管

・ ポリエチレン管

4．不凍水栓柱　化粧ケーシング（　・　アルミ合金製　・　合成樹脂製　）

6．弁　類　（1）水道直結部分　※　ＪＩＳ又はＪＶＩＯＫ　・　水道事業所の規定による　Ｋ

（2）その他の部分　※　ＪＩＳ又はＪＶＳＫ　・　ＪＩＳ又はＪＶＩＯＫ

7．給水栓　（1）屋内（　※　一般水栓　・　副室水栓　）　（2）屋外（　※　副室水栓　・　一般水栓　）

湯沸室、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。

8．埋設深さ　（1）一般敷地内（　　m以上）　（2）敷地内車両道路（　　m以上）

（3）公道部分（　※　水道事業者及び道路管理者規定による　）

9．保　温　（1）量水器例内の保温を行う。

（2）屋外露出配管（伊フランジを含む）は、標準仕様書第２編（表2.3．６ «2・(ハ)）とし、厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は、40mmとする。

10．埋設弁開閉ハンドル　本工事に　※　含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・　含まない

⑪ 水道加入金等　水道加入金　※　要（　・　本工事　◯ 別途　）　・　不要

・ その他（　　）

12．その他　給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

排水設備

① 配管材料　（1）屋内汚水管

・ 排水用塩ビライニング鋼管

・ コーティング鋼管

・ 鉛管

・ ◯ 硬質ＶＰ塩ビ３号（ＶＰ）

・ ﾀｲﾌﾝ硬質ﾄﾘﾌﾟﾚｯｸｽ塩ビ三層管（RF-VP）

・ 耐火二層管

（2）屋内雨水管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・ 排水用塩ビライニング鋼管（厨房用排水管）

・ 排水用ターボエポキシ塗装鋼管（厨房用排水管）

・ ◯ 硬質ＶＰ塩ビ３号（ＶＰ）

・ ﾀｲﾌﾝ硬質ﾄﾘﾌﾟﾚｯｸｽ塩ビ三層管（RF-VP）

・ 耐火二層管

（3）屋外土中汚水、雨排水管

・ コンクリート管（１種B形）

・ 硬質ＶＰ塩ビ（ＶＰ）　◯ HIVP

・ ﾀｲﾌﾝ硬質ﾄﾘﾌﾟﾚｯｸｽ塩ビ三層管（RS-VP）

・

（4）土間配管用

・ 排水用塩ビライニング鋼管

・ コーティング鋼管

・ ◯ 硬質ＶＰ塩ビ３号（ＶＰ）

・ ﾀｲﾌﾝ硬質ﾄﾘﾌﾟﾚｯｸｽ塩ビ三層管（RF-VP）

・

（5）通気管

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・ 排水用塩ビライニング鋼管

・ 硬質ＶＰ塩ビ３号（ＶＰ）

・ ﾀｲﾌﾝ硬質ﾄﾘﾌﾟﾚｯｸｽ塩ビ三層管（RF-VP）

② 排水桝　・ 桝リストは図面番号（　　）

（1）材料　・ ＲＣ　◯ 硬質塩化ビニル　・ ポリプロピレン　・ ＳＣ

（2）ふた　◯ 樹脂製　・ 鋳鉄（・ ＭＨＡ　・ ＭＨＢ　・ ＴＳＡ　）

※ 製マーク、流体名入り及び樹脂製ふたは原則としてＳＵＳチェーン付

（3）規格　・ 下水道協会（ＪＳＷＡＳ）　・ 排水設備用樹脂製桝協会（ＨＭＳ）

・ 市町村別基準（・ 有　・ 無　）

3．グリース阻集器　・ ＦＲＰ製（　　Ｌ）・ＳＵＳ製（　　Ｌ）　詳細は図示。

4．満水試験継手　図示の箇所に取付け、満水試験を行うこと。

⑤ 試　験　◯ 衛生器具などの取付完了後、排水試験又は通水試験を行う。

・ 衛生器具などの取付完了後、標試験を行う。

6．放流負担金　・ 不要　・ 要（　・　別途工事　・　本工事　）

7．基礎材　※　再生クラッシャラン

給湯設備

1．配管材料　・ ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４拡管）　・ 耐熱性ライニング鋼管　・ 銅管　・ 被覆銅管

・ 保温付被覆銅管　＜断熱管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞

2．弁　類　給水設備の当該事項による。

3．湯沸器の排気筒　厚さ0.5mm以上のステンレス鋼板製とする。

4．保　温　湯沸器の給排気筒（二重管）のみ保温を行う。（h・(イ)・Ⅴ≡）

消火設備

1．配管材料　（1）一　般　（2）地中埋設部

・ 配管用炭素鋼鋼管（白）　・ 外面被覆鋼管（ＳＧＰ－ＴＥ）

・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ40）　・　〃　（ＳＧＰ－ＰＳ）

・　〃　（ＳＴＰＧ－３７０Ｖ Ｓ）

・　〃　（ＳＴＰＧ－３７０Ｐ Ｓ）

（3）二酸化炭素用

・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（継目無管）（Ｓｃｈ80）

2．消火栓開閉弁　・ ＪＩＳ10Ｋ　・ ＪＩＳ20Ｋ

3．保　温　（1）屋外露出管については給水管に準ずる。

（2）充水タンクの保温　・ 施工しない　・ 施工する

（3）消火配管の保温　屋内消火栓　・ 施工しない　・ 施工する

スプリンクラー　・ 施工しない　・ 施工する

4．消火器類　（1）消火器　種別　・　数量　（　　）

（2）消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量（　　）

厨房機器

1．厨房機器類　図示による（材質などは共通仕様書による）。ただし、寸法は参考とする。

2．付属制御盤　器具付属の制御盤は、製造者提供品とする。

ガス設備

① 配管材料　（1）一般　（2）地中埋設部

※ 配管用炭素鋼鋼管（白）　※ ポリエチレン被覆鋼管

・ 圧力配管用炭素鋼鋼管　・ 配管用炭素鋼鋼管（白）

・ 鉛管　・ 塩化ビニル被覆鋼管

・ コーティング鋼管　・ ガス用ポリエチレン管

2．都市ガス　（1）ガスメーター

親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事

（2）引込み負担金　・ 不要　・ 要（　・　別途工事　・　本工事　）

3．液化石油ガス　（1）ガスボンベ　※ 借用　・ 貸し取り　（　・10kg　・20kg　・50kg　本　）

（2）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置、子メーターは本工事とする。

（3）集合装置　・標準図（施工７１）による（　　本組）

（4）転倒防止等　・標準図（施工７２）（・（ａ）・（ｂ））・ﾎﾞﾙﾄ、ﾅｯﾄ等はSUS製とする。

4．ガス漏れ警報器　図示の場所に取付ける　（　・　分離形　・　一体形　）　・　別途電気工事

外部出力端子　（　・　あり　・　なし　）

5．埋設深さ　（1）一般敷地内（　　m以上）　（2）敷地内車両道路（　　m以上）

（3）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による）

6．その他　配管工事は、原則としてガス供給事業者の責任施工とする。　供給事業者名（　　）

「完成書類」関係

※ 見開きＡ３（製本Ａ４判）　竣工図、施工図　2部

※ 完成図面電子データ（JW形式及びPDF形式）　1式

※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類　1式

※ 建築物等の維持・保全に関する資料　1式

※ その他監督職員が指示したもの　1式

工事写真

※ 作成する　・ 作成しない

工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。

注記・機器及びシステム参考図について

本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の寸法形状、諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。

これらのものについては、その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

海老名市
Ebina City

図面名称	機械設備工事特記仕様書
縮尺	N/S
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	M-1

衛生機器表

室名	仕様	メーカー	品番	個数	消費電力
男子トイレ	洗面機	LIXIL	L-2295/BW1 同等品	2	-
	電気温水器3L+自動水栓	LIXIL	EHMN-CA3SC1-300C 同等品	2	700W
	小便器	LIXIL	U-A51AP 同等品	3	8W
	小便器用手摺	LIXIL	KF-701AEJ 同等品	1	-
	洋風便器	LIXIL	BC-110PTU 同等品	1	-
	洋風便器タンク	LIXIL	DT-5500BL 同等品	1	-
	シャワートイレ	LIXIL	CW-KB31 同等品	1	310W
	紙巻器	LIXIL	CF-AA22H 同等品	1	-
	洗面器用手摺	LIXIL	BB-DC3J/WA 同等品	1	-
	L型手摺	LIXIL	KF-920AE70D124J 同等品	1	-
女子トイレ	洗面機	LIXIL	L-2295/BW1 同等品	2	-
	電気温水器3L+自動水栓	LIXIL	EHMN-CA3SC1-300C 同等品	2	700W
	洋風便器	LIXIL	BC-110PTU 同等品	3	-
	洋風便器タンク	LIXIL	DT-5500BL 同等品	3	-
	シャワートイレ	LIXIL	CW-KB31 同等品	3	310W
	紙巻器	LIXIL	CF-AA22H 同等品	3	-
	洗面器用手摺	LIXIL	BB-DC3J/WA 同等品	1	-
	L型手摺	LIXIL	KF-920AE70D124J 同等品	1	-

室名	仕様	メーカー	品番	個数	消費電力
多目的トイレ	オストメイトパック	LIXIL	PTOM-B210W 同等品	1	700W
	車いす対応洗面器	LIXIL	L-365FCPR 同等品	1	-
	電気温水器3L+自動水栓	LIXIL	EHMN-CA3SC1-300C 同等品	1	700W
	洋風便器	LIXIL	BC-110PTU 同等品	1	-
	洋風便器タンク	LIXIL	DT-5500BL 同等品	1	-
	シャワートイレ	LIXIL	CW-KB31 同等品	1	310W
	紙巻器	LIXIL	CF-AA22H 同等品	1	-
	L型手摺	LIXIL	KF-920AE70D124J 同等品	1	-
	はね上げ式手摺	LIXIL	KF-471EH70JU 同等品	1	-
	おむつ交換台	LIXIL	AC-OK-F11 同等品	1	-
	ベビーチェア	LIXIL	AC-BK-F62 同等品	1	-
	ユニバーサルシート	LIXIL	AC-US-41 同等品	1	-

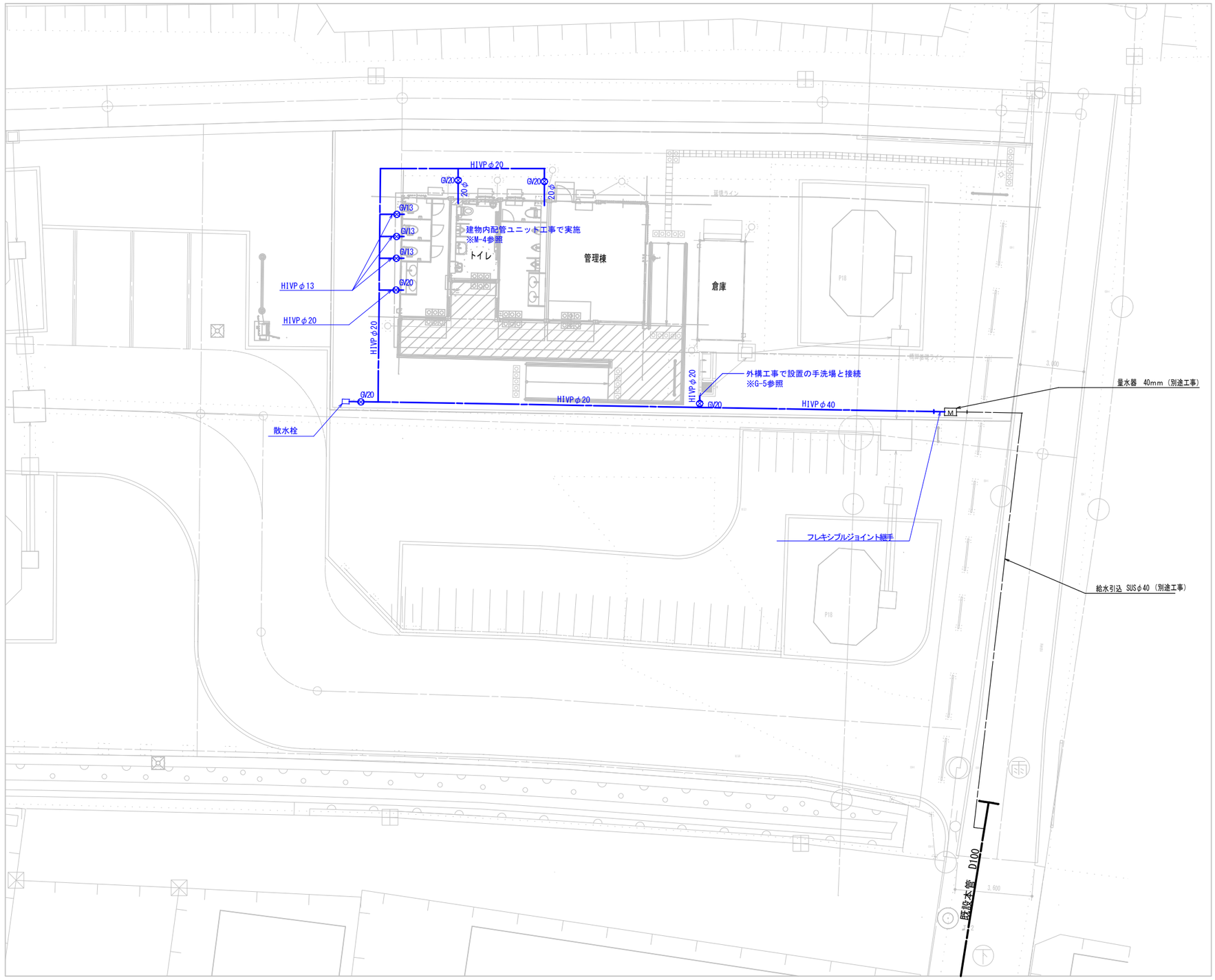
空調機器表

室名	仕様	メーカー	品番	個数	定格冷房能力	定格暖房能力	定格冷房消費電力	定格暖房消費電力
男子トイレ	AC 2.8kw	ゼネラル	AS-AH286T 同等品	1	2.8kW	3.6kW	0.69kW	0.87kW
女子トイレ	AC 2.8kw	ゼネラル	AS-AH286T 同等品	1	2.8kW	3.6kW	0.69kW	0.87kW
多目的トイレ	AC 2.8kw	ゼネラル	AS-AH286T 同等品	1	2.8kW	3.6kW	0.69kW	0.87kW
事務室	AC 8.0kw	ゼネラル	AS-Z806T2W 同等品	1	8.0kW	9.5kW	2.9kW	2.46kW

換気機器表

室名	仕様	メーカー	品番	個数	消費電力
男子トイレ	20cm換気扇	パナソニック	FY-20EEP6 同等品	1	11.5W
女子トイレ	20cm換気扇	パナソニック	FY-20EEP6 同等品	1	11.5W
多目的トイレ	20cm換気扇	パナソニック	FY-20EEP6 同等品	1	11.5W
事務室	20cm換気扇	パナソニック	FY-20EEP6 同等品	1	11.5W

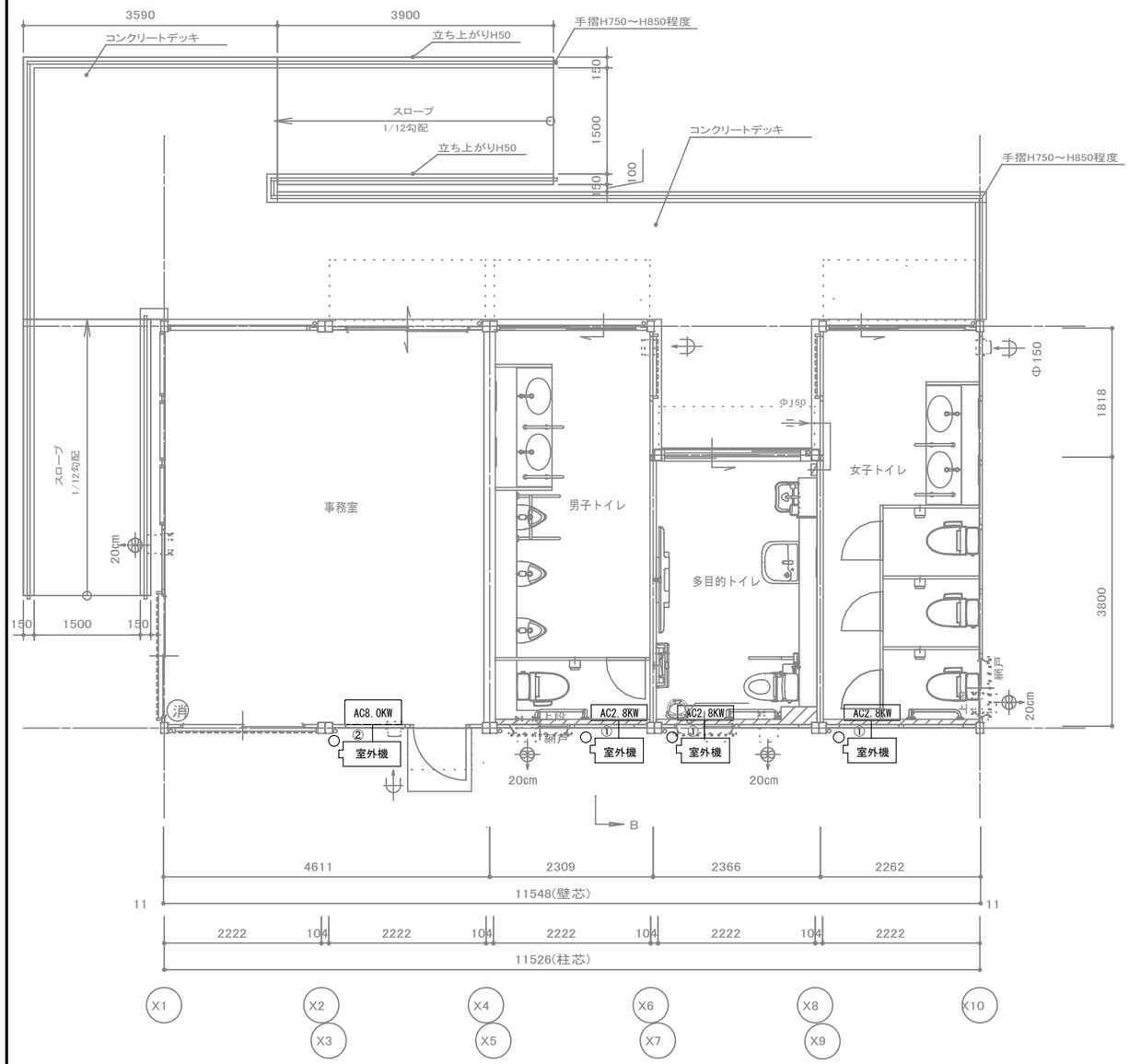
屋外給水設備平面図

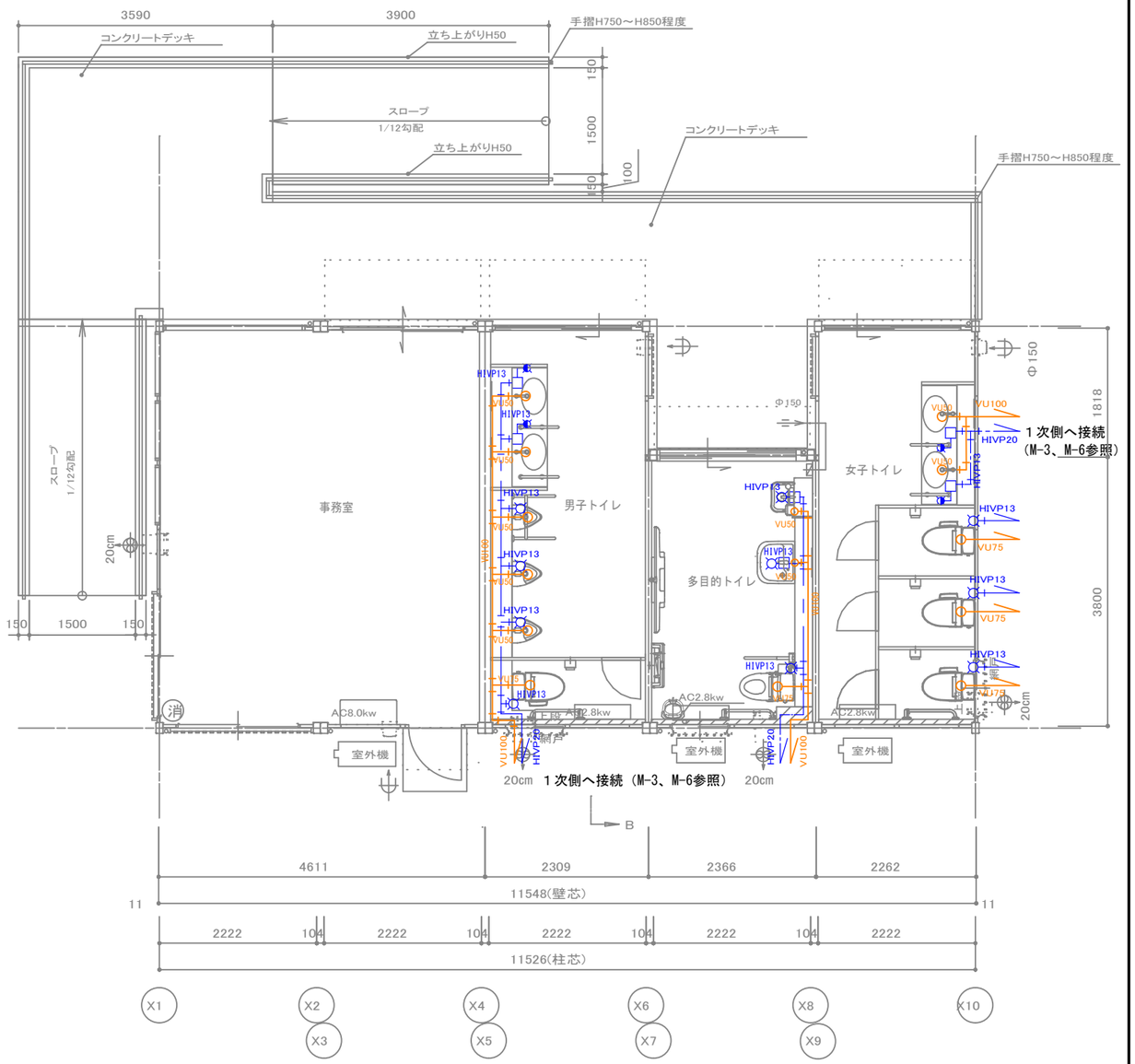


記号	名称	形状・寸法	備考
	給水設備工		
M	量水器	40A用ボックス共	別途工事
□	散水栓	20A 樹脂蓋	
⊗	仕切弁	GV13 樹脂蓋	
⊗	仕切弁	GV20 樹脂蓋	
———	給水管	HIVPφ13	
———	給水管	HIVPφ20	
———	給水管	HIVPφ40	
⊠	水栓	手洗い	
	給水管引込	ステンレス鋼管SUS-TPDφ40	別途工事

海老名市
Ebina City

図面名称	屋外給水設備平面図	図面番号 M-3
縮尺	A1:1/100　A3:1/200	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	





空調設備　管種凡例

記　号	種　別
①	冷媒管6.35φ/9.52φ、EM-EEF2.0-3C、ﾄﾞﾚﾝﾎｰｽ16φ、屋外樹脂カバー共
②	冷媒管6.35φ/12.7φ、EM-EEF2.0-3C、ﾄﾞﾚﾝﾎｰｽ16φ、屋外樹脂カバー共
◯	浸透桝（塩ビ150φ）　開口蓋、管内砕石充填程度

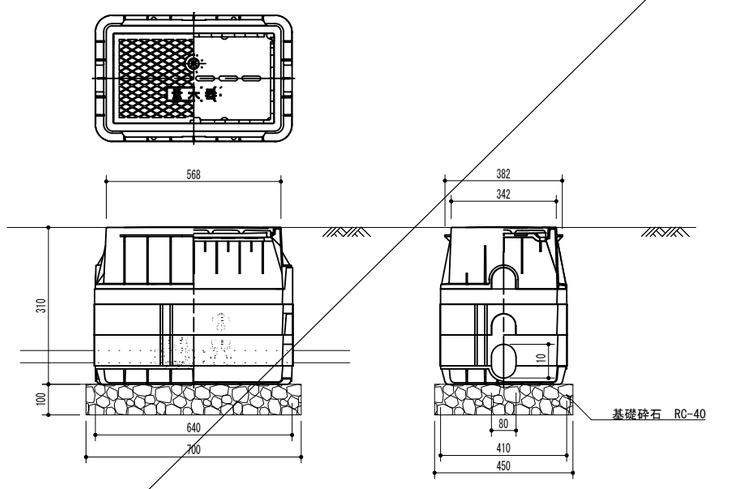
給排水設備　管種凡例

記　号	種　別	記　号	種　別
VU	塩ビ肉薄管	HIVP	耐衝撃性ポリ塩ビ管
	排水口	HTVP	耐熱衝撃性ポリ塩ビ管
			給水栓
			給湯栓
			混合水栓
		□	電気温水器

海老名市
Ebina City

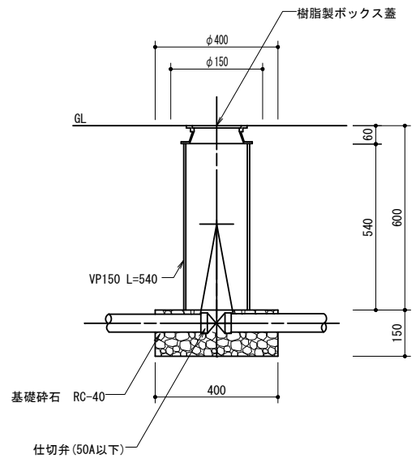
図面名称	屋内空調設備・給排水設備平面図【管理棟】
縮尺	A1:1/40　A3:1/80
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	M-4

量水器（別途工事）　S=1/10(20)

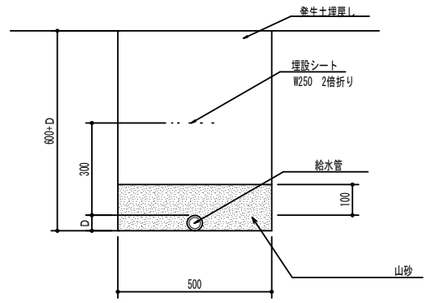


※本体材質ABS、蓋材質FCD
※メーター・止水栓は水道局支給

仕切弁　S=1/10(20)

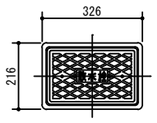


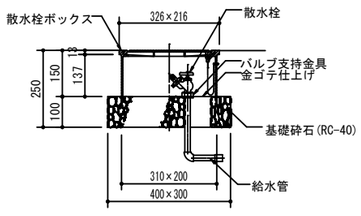
給水管埋設図　S=1/10(20)



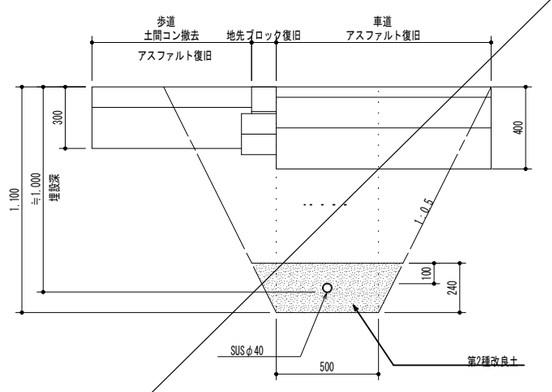
呼び径	外径(D)
HIVP13	18
HIVP20	26
HIVP30	38
HIVP40	48
HIVP50	60
HIVP65	76
HIVP100	114
HIVP125	140
HIVP200	216

散水栓　S=1/10(20)





給水管引込埋設図（別途工事）　S=1/15(30)

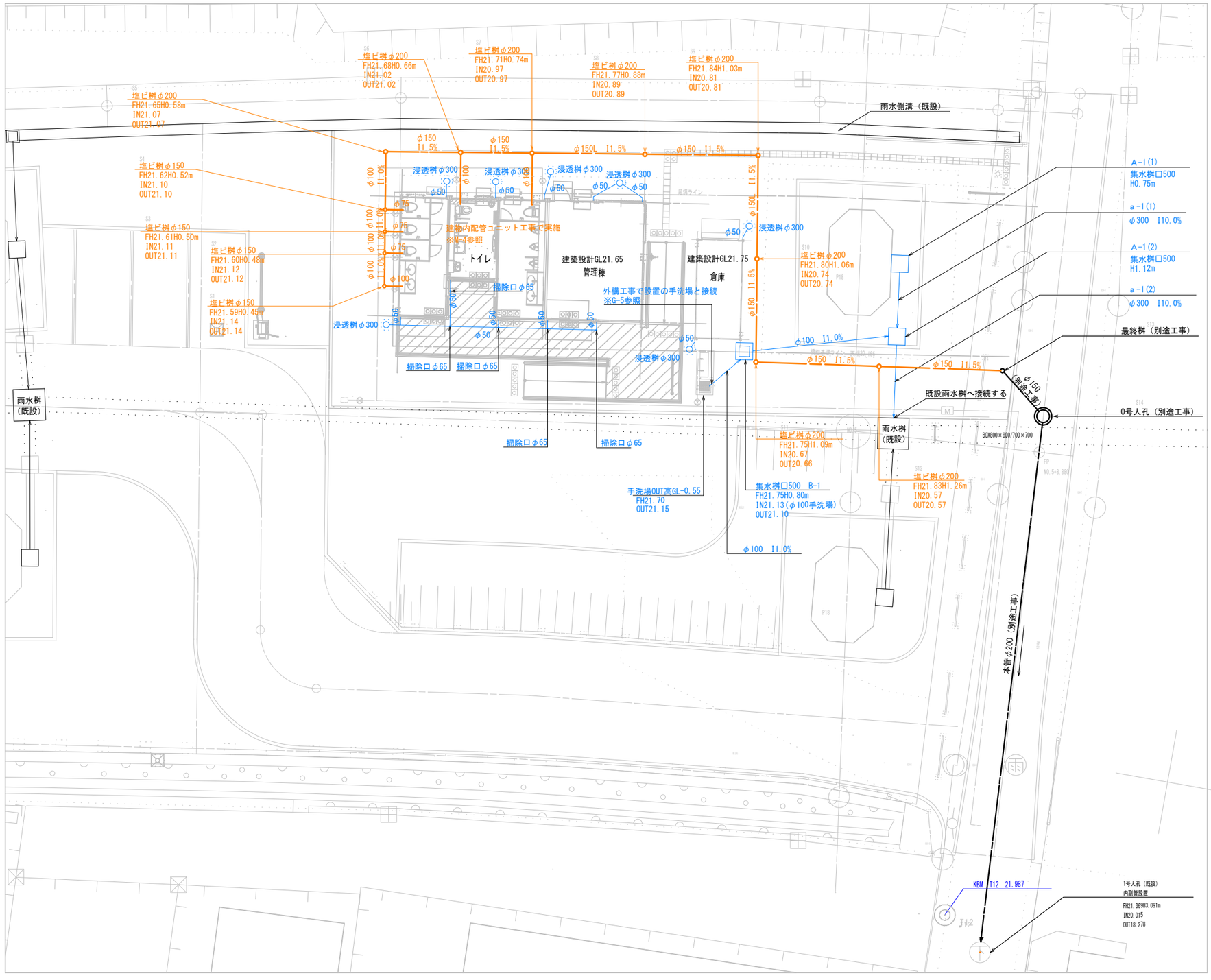


呼び径	外径(D)
SUS40	42.7

海老名市
Ebina City

図面名称	給水設備構造図
縮尺	図示
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	M-5

屋外排水設備平面図

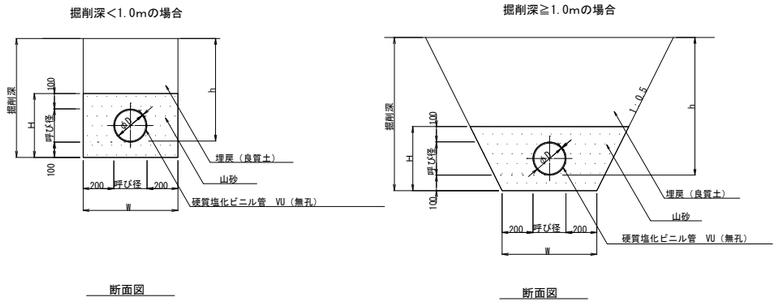


記号	名称	形状・寸法	備考
	雨水設備工		
□	集水桝	□500グレーチング蓋 T-2	
▣	集水桝	□500グレーチング蓋 細目ノンスリップ T-6	
◌	浸透桝	ｺﾝ桝φ300	
○	掃除口	塩ビ桝φ65	
→	排水管	VU（管径図示）	
	汚水設備工		
○	汚水桝	塩ビ桝（桝径図示）	
●	0号人孔	φ750	別途工事
—	排水管	VU（管径図示）	

海老名市
Ebina City

図面名称	屋外排水設備平面図	図面番号 M-6
縮尺	A1:1/100 A3:1/200	
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)	

排水管埋設図　S=1/20(40)



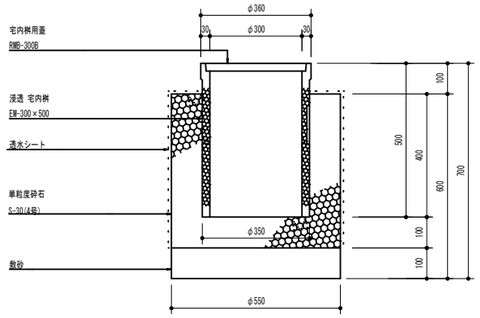
断面図　　断面図

断面図

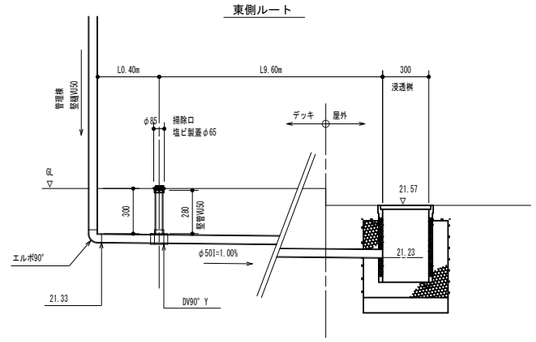
寸法表　(mm)

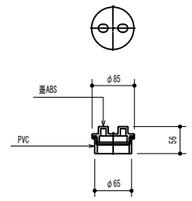
名称	呼び径	外径	t	W	H
塩ビ管50	φ50	60	1.8	450	250
塩ビ管75	φ75	89	2.7	475	275
塩ビ管100	φ100	114	3.1	500	300
塩ビ管150	φ150	165	5.1	550	350
塩ビ管200	φ200	216	6.5	600	400
塩ビ管250	φ250	267	7.8	650	450
塩ビ管300	φ300	318	9.2	700	500

浸透桝　S=1/10(20)



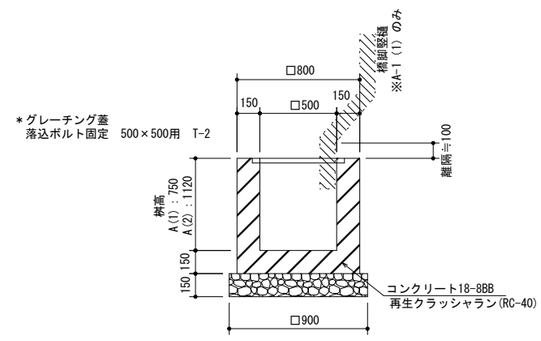
掃除口　S=1/20(40)



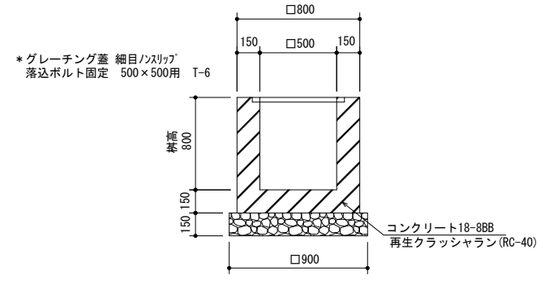


掃除口蓋 S=1/5(10)

集水桝　500□　A－１（1）、A－1（2）　S=1/20(40)



集水桝　500□　B-1　S=1/20(40)



海老名市
Ebina City

図面名称	排水設備構造図
縮尺	図示
件名	河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事(第三工区)
図面番号	M-7